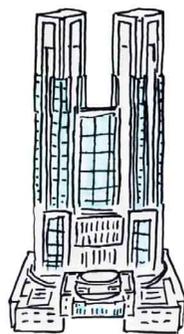


SPORTS PROMOTION COMPANY



問合せ先: 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03-5320-7847

令和2年度 東京都 スポーツ推進企業取組事例集



東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020 Preparation

はじめに

東京都では、仕事や家事・育児で忙しい働き盛り世代のスポーツ活動を推進するため、「東京都スポーツ推進企業認定制度」を平成27（2015）年度に創設いたしました。本制度は、社内外でスポーツの取組を積極的に行っている企業を都が「スポーツ推進企業」として認定し、その取組を都民に紹介することで企業の取組を促していくものです。

認定企業数は年々増え、令和元（2019）年度は374社を認定したところですが、令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発出されるなど、スポーツの実施や観戦が難しい状況が続きました。

そうした中、ウイズ・コロナ時代にもスポーツに取組んでいただくため、「新しい日常」においても、工夫してスポーツに取組んでいる企業の事例を収集し、積極的に紹介を行ってきました。その結果、今年度（令和2（2020）年度）は319社をスポーツ推進企業として認定することができました。

本事例集には、認定企業319社の取組事例を掲載しておりますが、3密を回避した取組、オンラインやアプリなどICTも活用した取組など、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎながらスポーツを行うための様々な工夫を紹介しています。

また、特に先進的で波及効果のある取組をしている企業を「東京都スポーツ推進モデル企業」として選定しています。社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している「スポーツの実践」部門と、アスリートの雇用や社有スポーツ施設の地域開放などスポーツを支援している「スポーツの支援」部門の2つの部門に分けて選定し、その取組内容を詳しく紹介しております。さらに、モデル企業に累計5回選定され昨年度殿堂入りした企業の取組も掲載しております。

いよいよ本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会を契機に、スポーツを「する」、競技会場等でスポーツを「みる」、スポーツボランティア等でスポーツを「支える」といった様々な形で都民のスポーツに触れる機会が増え、健康増進、人と人のつながり、地域の活性化などにつながっていくことが期待されます。より多くの企業にスポーツの実践・支援に取組んでいただくことで、そうした「スポーツの力による好循環」が生まれることを願っています。本事例集がその一助になれば幸いです。

令和3（2021）年3月

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

東京都が考えるスポーツの範囲・・・・・・・・・・・・・・・・ 003

令和2年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要・・・・・・・・ 004

新しい日常のスポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・ 005

令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業取組事例

○殿堂入り

① あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・・・・・・・・ 006

○実践（50音順）

① アクサ生命保険株式会社・・・・・・・・ 008

② 大塚製薬株式会社・・・・・・・・ 010

③ 株式会社タニタヘルスリンク・・・・・・・・ 012

④ 東急株式会社・・・・・・・・ 014

⑤ 株式会社丸井グループ・・・・・・・・ 016

⑥ 明治安田生命保険相互会社・・・・・・・・ 018

○支援（50音順）

① 株式会社CAC Holdings・・・・・・・・ 020

② 損害保険ジャパン株式会社・・・・・・・・ 022

③ 株式会社立飛ホールディングス・・・・・・・・ 024

④ 日本生命保険相互会社・・・・・・・・ 026

令和2年度東京都スポーツ推進企業取組事例（50音順）・・・・・・・・ 028

令和2年度東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）・・・・・・・・ 106

令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会・・・・・・・・ 108

スポーツの範囲

スポーツには「遊びや楽しみなどを目的に行う身体活動」も

東京都は「スポーツ」の範囲を、野球やサッカーなどの運動競技だけでなく、健康を目的に行う身体活動、遊びや楽しみなどを目的に行う身体活動まで、幅広く含むものと定義しています。

「身体活動」を「スポーツ」に、キーワードは「計画性」と「継続性」

また、ルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、気晴らしのための散歩や、通勤途中に歩いて階段を昇るといったものまで、計画的に、継続的に実施している身体活動を幅広く「スポーツ」として捉えていきます。



出典：「東京都スポーツ推進総合計画」〔TOKYO style 2019〕

令和2(2020)年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要

事業概要

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、動き盛り時代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等のうち東京都が認定したもの

認定された企業には

- 認定証・認定ステッカーの交付
- 都ホームページ等において社名等の公表
- 交流会への参加
- マスメディア等に積極的に取組内容の情報提供 等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に先進的な取組や波及効果のある取組を行っている企業等(学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定)

選定された企業には

- 表彰
- 都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表 等

「東京都スポーツ推進殿堂入り企業」とは

累計5回「東京都スポーツ推進モデル企業」に選定された企業

募集対象

都内に本社、事業所を置く企業、社団法人、財団法人、NPO法人等

認定期間

1年間(更新可)

スケジュール(令和2(2020)年度)

令和2年	9月30日~10月30日	東京都スポーツ推進企業募集
	12月	東京都スポーツ推進企業認定
令和3年	1月	東京都スポーツ推進モデル企業候補選定
	2月	東京都スポーツ推進企業交流会
	3月	東京都スポーツ推進モデル企業決定
		東京都スポーツ推進モデル企業表彰式

令和2年度東京都スポーツ推進企業認定数	319社
令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業数	うち10社
東京都スポーツ推進殿堂入り企業	1社

関連ホームページ

■ スポーツTOKYOインフォメーション「東京都スポーツ推進企業認定制度ホームページ」
<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company/>

テレワークでの取組

株式会社 協和



平成23年から実施している朝のエクササイズを、コロナ禍でテレワークが増えたため、いち早くオンライン化。ウォーキング動画の配信も開始。テレワーク導入後、会えないことの不安や孤独感、コミュニケーション不足が課題となったが、お互いの顔が見える安心感や、同僚と繋がる取組となった。令和元年6月より一般にも公開しお客様と従業員が繋がっている。



「新しい日常」のスポーツ

今年度は、ウィズ・コロナ時代における「新しい日常」において、密を避ける等の工夫をしてスポーツに取組んでいる事例を令和元年度の推進企業から募集し、都のHPで紹介しました。その一例をご紹介します。

凸版印刷株式会社

当社では、JOCをはじめとする各団体と連携しながら、車いす陸上、女子ラグビー、車いすテニス、陸上競技(短距離)の各種目の選手をスポーツ専従社員として採用している。

今年度は、雇用アスリートの提案で、在宅勤務を始めた社員に運動不足解消のため、ストレッチや筋トレ等の動画を配信した。

身近なアスリートからの指導により、運動意欲やスポーツへの参加意欲を高めることができた。今後、SNSを活用して、様々な情報発信をしていく。アスリートとしての社会的意義など彼らが考えていることを少しずつ形にできればと考えている。



雇用アスリートによる取組

職場での取組

日本交通株式会社 赤羽営業所



平成28年にモデル企業に選定された取組の一つである「ウォーキングを兼ねた清掃ボランティア」を継続して実施している。新型コロナウイルス感染症拡大により、限られた人数での実施となっているが、これは創設以来から継続している取組で、職員各自が自由に参加し、健康増進と社会貢献につながっている。



株式会社 THINK フィットネス

社員として働きながら競技を続けている「ビジネスアスリート」を支援している。感染症拡大の影響により、しばらくの間、活動は休止していたが、令和2年6月から感染防止対策を徹底した上で「東京ヴェルディGold'sバスケットボールチーム」と「ゴールドジムベースボールクラブ」の活動を再開した。バスケットボールチームでは、体育館に入る前の検温等の体調管理を徹底し、ベースボールクラブでは、使用する球場へ体調管理表を提出する等の対策を徹底した。今後も選手が長く競技を続けるための環境づくりを提供していく。



その他の取組

上記を含む20事例を紹介していますので、ぜひご覧ください。

スポーツTOKYOインフォメーション◆「新しい日常」のスポーツ スポーツ推進企業の取組
https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/sports_in_newdailylife/sportspromotioncompany.html



あいおいニッセイ同和損害保険

MS&AD INSURANCE GROUP

東京都
スポーツ推進殿堂入り企業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

We are in this together! Beat covid-19



川内優輝選手 マラソンサブ20・100回達成！（2020.12.20防府読売マラソン）

上智大学と共同で『多文化共生社会研究所』を設立

当社と上智大学などを運営する学校法人上智学院は2018年より包括連携協定を締結している。これまでの両者の知見や取組をレガシーとして残すとともに、共生社会のあり方を学術的に深めることにより、共生社会の構築に向けた人財育成と社会への指針を示すことを目指し、「上智大学多文化共生社会研究所」の新設に至り、障害者スポーツの普及支援を行っている。これにより、産学連携の新たなカタチを創造していく。

名称	上智大学多文化共生社会研究所
所在地	東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学3号館内
設置年月	2020年8月
代表者	研究部長 久田 満 総合人間科学部心理学科 教授（上智大学副学長）
研究員	上智大学：久田 満 教授 ほか教員6名 あいおいニッセイ同和損保：倉田秀道（経営企画部）
研究主題目	多文化共生社会の実現、共生社会の構築に向けた人財育成
研究の目的	① カトリック・イエズス会の課題である「社会から排除された人々と歩む」ことを通じて、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の根幹にある「誰一人取り残されない」社会の実現を目指すこと ② 共同研究、協働活動を通じて新たな産学連携モデルの構築を目指すこと
研究内容	① 障害者スポーツの普及支援に関すること ② 大災害の被災者支援に関すること ③ 日本に暮らす外国人とその家族の支援に関すること ④ 地域との関わりに関すること ⑤ その他

所属アスリートによる社会活動&川内優輝選手によるマラソンキャラバン



全国自治体主催による各種事業はコロナ禍で当面中止となっていた。10月以降少しずつ再開し始め、所属アスリートを派遣して地域貢献活動をコツコツと実施している。

また、川内優輝選手による「マラソンキャラバン」も10月以降再開。いずれも、コロナ感染対策に配慮しながら実施している。



あいおいニッセイ同和損保 MS&AD INSURANCE GROUP X 上智大学 SOPHIA UNIVERSITY X Sports

企業データ

所在地 渋谷区

業種 損害保険業

総従業員数 約16,100名

withコロナの取組

イントラ社内報・公式Facebookでの所属アスリートによる「応援バトンリレー」投稿

緊急事態宣言下の5月1日より7月初旬までの約2ヶ月間、「応援バトンリレー」と称して、イントラでの社内報ウェブサイトとスポーツ公式Facebookの2媒体を活用して所属アスリートによるリレー投稿を行った。

投稿では、選手がどのように工夫して練習しているかや、おうち生活を楽しむための工夫などを掲載した。これらは、在宅勤務かつステイホームで工夫しながら業務を行う全国の社員に元気を届けたり、社会の皆さまに少しでも自宅生活を楽しむために役立った。

【参考】スポーツ公式Facebook <https://www.facebook.com/adchallenge/>



コロナ禍でもアスリート採用は着実に継続

当社では、コロナ禍にあっても、アスリート支援を滞らせることなく採用活動を着実に継続している。

今年度はパラアスリート2名を採用、及び、マラソン選手1名と所属契約を締結、合計3名のアスリートを迎えた。入社式は時節柄それぞれの配属拠点で、職場社員が総出で感染対策をしながら設営し、リアル参加とオンライン参加に分かれてハイブリッドで実施した。通常の入社式と異なる温かみある手づくり入社式となった。



全国の自治体・関連団体等への寄贈活動を実施

当社では、自治体をはじめ地域の団体に対し、コロナ禍においても団体の事業を継続いただくため、寄付金等の寄贈活動を止めることなく継続している。具体的には、自治体、スペシャルオリンピクス日本、スポーツ関連団体、マラソン主催団体などに寄贈している（昨年度は約30団体に寄贈）。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社の活動は、スポーツメセナとコーポレートスポーツの融合型として「オンリーワンのスポーツ支援のスタイル」と評されています。これは、SDG'sと運動した持続可能性を追求した取組を展望している証左かもしれません。アスリートが主役であることを肝に銘じ、アスリートの活動に関わるあらゆる領域を支えるべく、「本気」で取組んでいます。



経営企画部 倉田秀道、水野真紀



アクサ生命保険株式会社

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

アクサ生命保険株式会社



CRWEEK2020

HAVE AN IMPACT EVERY DAY

From September 25th to October 2nd,
let's celebrate our commitment in action for the 10th consecutive year!



Know You Can

CRウィーク
「ウォーキングチャレンジ」

今年で10年目となる全社イベントCRウィーク（「ビジネスにおけるCR」、「ボランティア」、「健康経営」の3つをテーマに11種類のオンラインイベントを開催。CRを自分事として捉え、社会の課題を理解し、行動する一週間）において、ウォーキングとチャリティーを合わせた「ウォーキングチャレンジ」を実施した。「ウォーキングチャレンジ」は、歩くことで健康増進だけでなく社会的課題の解決にもつなげる施策であり、イベント期間中の歩数1万歩ごとに500円の寄付額を会社が拠出し、新型コロナウイルス感染症と闘う医療機関・医療従事者やコロナ禍で生活が困窮した家庭等を支援する5つのNPOや団体に寄付を行った。また、「ウォーキングチャレンジ」は、グローバルで展開するスポーツイベントに連動し、世界各国のアクサ各社と競いながら取組を推進した。



健康メールマガジンの定期配信

社内健康増進関連イベントや時節等に考慮し、統括産業医監修、当社保健師執筆による健康通信を作成し、週1回（毎週水曜日）、派遣社員等を含む全従業員を対象にメールを配信。当社では、外国人従業員も多く在籍するため、すべて英語を併記している。

2020年11月に実施した健康増進施策に関する従業員アンケートでは、回答者の82.5%が健康メールマガジンを「ほぼ毎号閲覧している」または「何度か閲覧したことがある」と回答しており、従業員のヘルスリテラシー向上、生活習慣改善等につながる啓発教材として根付いてきている。



企業データ

所在地 港区

業種 保険業

総従業員数 約8,600名

withコロナの取組

オンライン健康セミナー

2018年・2019年は全国の営業拠点へ出張型で実施していた健康セミナーを、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン配信に切り替え「オンライン Health KIOSK」と題して定期開催している。

緊急事態宣言下では、週1回（毎週木曜日）、6月以降は月1回（原則 第2木曜日）、昼休憩時間帯の15～20分間で開催し、2020年は、合計14回、延べ1,549人が参加している（2020年12月時点）。

テーマは、メンタルヘルスや肩こり・腰痛・眼精疲労等、在宅勤務推奨や外出自粛によって生じやすい不調を優先的に選定。そのほか、脳トレ、統括産業医と役員との対談（役員へのインタビュー形式で元気の秘訣を紹介）等、健康を主軸に各回趣向を変えて配信した。

講師が全体に向けて健康クイズを出題し、参加者がチャットで回答する等の双方向コミュニケーションを行ったり、座ったまま実施できるストレッチを参加者と一緒に実践したりと楽しく参加できる工夫を取入れている。



社内イントラでの
運動コンテンツの提供

ブラインドサッカー選手として活躍する当社従業員による自宅でできるトレーニング「宅トレ」や、トレーニングキットパートナーとして契約するリバプールFCコーチによる運動不足解消エクササイズ等の動画を社内イントラ上に配信している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社は、2015年4月に「健康宣言」を行い、従業員の健康づくりの推進と生産性向上を両立させるべく、経営改革に取組んでいます。2018年4月には、運動・食事・メンタルヘルス・がん対策の4項目を柱とした「アクサ・ウェルネス・プログラム」を制定し、従業員が主体的に健康増進に取組めるようサポートしています。



柿沼統括産業医（左）、
大前ウェルネス推進マネージャー（右）

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

大塚製薬株式会社



リフレッシュ体操 「ポカリフレッシュ」

「健康意識の向上、運動機会の提供・業務効率アップ」を目指し、オフィスや工場における週に1回8分間のリフレッシュ体操タイム「ポカリフレッシュ」を実施している。



オンライン限定 「自宅 de トレーニング」

自宅でも運動を継続してもらうための動画「自宅 de トレーニング」をオンラインで限定公開。リモートワーク中も社員や家族が自宅で実施し、日常の健康づくりに役立っている。



企業データ

所在地 千代田区 業種 医薬品等製造販売業 総従業員数 約5,660名

withコロナの取組

ポカリフレッシュ オンライン限定公開



リモートワーク中においても都合に合わせて自宅で運動を継続してもらうために、トレーニングやヨガ、ストレッチなどの動画をオンラインで限定公開。社員や家族が自宅でも実施している。

スマホアプリを用いたウォークラリー

歩数計アプリで歩数を記録・管理できるスマホウォークラリーを開催。期間中の歩数に応じて「健康ポイント」がたまり、賞品と引き換えができる企画を実施した。



職場での運動促進

職場内で階段利用を促すために、ポスターの掲示や、階段フロアへ消費カロリーの表示をした。また、動植物アートのウォールステッカーを使った装飾をすることで、階段フロアの雰囲気も改善し階段利用者が増加している。



STAFF'S VOICE

身体を動かすって 楽しいと思ってもらうために

スポーツは苦手な人もたくさんいると思いますが、ちゃんとしたスポーツでなくても「身体を動かすことは気持ちいい」と感じてもらうことが目的です。多くの人が少しずつでも健康で居続けて欲しいと思っています。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと



令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

株式会社タニタヘルスリンク



全社員へ活動量計を配布し 活動量を可視化

2017年から通信機能を搭載した活動量計と社員証を一体化させ、全社員に配布した。オフィスの入退室や個人認証に必須としたことで自然と携帯するようになり、職場の習慣として定着した。この取組により、日々の歩数や活動量を継続的に計測し、携帯率は平日100%を達成。活動量や体組成などの計測データは、健康管理サイト内で可視化することで、日々のデータを振り返り、自己管理を促している。

歩くことへの意欲向上の取組として、個人及びチーム別の歩数ランキングを社内設置のデジタルサイネージ上で掲示するとともに、個人のサイト内でも確認できるようにしている。このほか、サイト上でバーチャルウォーキングラリーの定期開催や歩数に応じたインセンティブ付与により、歩数の少ない層に対し、歩く動機付けを行っている。また、歩数を社内全体に可視化することで、歩数について同僚やチームメンバーと会話する機会が増え、コミュニケーション活性化にも役立っている。



定時的体操と社内環境の工夫で活動量アップ!

社内の共有スペースに設置しているデジタルサイネージから流れる映像と音楽に合わせて、全社員が定時（1日2回）にソフトエキスパンダーを用いたストレッチ体操を実施し、運動の機会を創出している。

また、社内にスタンディング会議用テーブルを常時設置するなど、活動量アップのための社内環境を整備している。



企業データ

所在地 文京区

業種 情報・通信業

総従業員数 約110名

withコロナの取組

テレワークに対応した定時的な体操や 健康障害解決への取組

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全社員を対象に2020年4月よりテレワーク（在宅勤務）や時差通勤を強く推奨し、業務を行っている。この就業環境の急激な変化が社員の心身にどのような影響を与えているのかについて、テレワーク開始直後に全社員に対し調査をしたところ、67%が運動不足であると回答し、85%がからだのこりや腰痛などの不調を感じるといった声が寄せられた。

これまで、社内で定時実施のストレッチ体操を在宅勤務でも参加できるように、WEB会議システムを通じて開催。特に、在宅勤務時は活動量が減少するため、通常開催（1日2回）に加え、より活動量アップにつながる体操を追加し、1日計3回運動の機会を提供している。定時的体操による気分転換の



家にあるものを使って環境を整える...自分の好みで!



効果も確認できた。さらに、家族の参加も呼びかけた「親子体操」も実施し、運動効果だけではなく、社員同士のコミュニケーションの場としても活用している。

また、在宅勤務となったことに起因する健康障害等の解決に向け、保健師、理学療法士などによるオンラインセミナーも実施した。在宅勤務時にもできる作業環境改善や立ったまま仕事をするための工夫などを紹介することで、つらい症状に対する対策や活動量の低下防止などに努めた。

家族も一緒に健康づくりに参加

社員の家族（配偶者）にも無償で活動量計を配布し、健康管理サイトを利用できるようにしている。家族も、サイト上でバーチャルウォーキングラリーや歩数に応じたインセンティブ付与といった各種イベントへの参加が可能である。家族が参加することにより、家族間での声掛けや休日は夫婦で歩くようになるなど、社員の歩く機会が増えるきっかけともなっている。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

弊社では、「はかる」ことから始まる健康づくりをコンセプトに、活動量計を社員証として全社員に配布し、活動の状態を「見える化」するとともに、職場で体組成や血圧を計測できる環境を整えてきました。これに加え、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しているテレワークにおいて、社員のヘルスリテラシー向上を図るため、保健師、理学療法士、管理栄養士によるオンラインセミナーを開催。また、通信機能を搭載した家庭用の体組成計や血圧計を全社員に配布し、自宅でも継続的にからだの状態を確認できる取組を行ってきました。今回認定をいただいたこれらの施策が、少しでも皆様の「健康経営」のご参考になれば幸いです。



健康経営推進プロジェクト
「へるすりんくらぶ」スタッフ一同



東急

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業
東急株式会社



従業員投稿型連載

コロナ禍、テレワークで直接対面できないなかでもチームメンバー、ひいては従業員全体のつながりをもち続けることができるよう、ポジティブに生きる従業員の事例や運動習慣等を従業員投稿型連載「ENJOY HOME」にて紹介。

現在は「Smart Choice New Normal」という連載に変更し、新しい日常でのいきいきとした暮らし方・働き方の事例紹介により、自律的な働き方選択の風土・マインド醸成を促す。



職場対抗ウォーキング選手権

コロナ禍で安全にウォーキングするポイントを案内のうえ、健康保険組合が推奨する健康応援サイト（KENPOS）の歩数計アプリを活用した職場対抗ウォーキング選手権を実施。

部署毎に参加人数と歩数の両方を評価軸にして、当社の最高健康責任者（Chief Health Officer ※）より表彰。※略称CHO：当社副社長



企業データ

所在地 渋谷区

業種 不動産賃貸業

総従業員数 約1,470名

withコロナの取組

企業立病院である東急病院と連携

企業立病院である東急病院と連携し、コロナ禍での運動不足やコミュニケーション不足に対する注意喚起やテレワーク時の運動方法を案内。専門家の意見を迅速に従業員に周知した。



毎日2回の体操実施

社内イントラネットで当社オリジナルの体操の動画を配信。テレワークをしても体操ができる環境を整備した。

Smart Choice

従来の働き方に捉われず、創造性の発揮や業務の効率化を考え、自律的に働き方を選択することを目的とし年間を通じて、自身の職務・環境に合わせたスタイルを自ら選択する取組。歩きやすい靴で通勤・勤務するウォーク・ビズも推進している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと



STAFF'S VOICE

小さなアクションですが、コツコツ積み上げてきたものが今回の選定に繋がりが大変光栄です。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴いイベントはすべて中止となりました。また、テレワーク率も常時5割以上で推移しコミュニケーションが希薄化するなか、チームメンバーのみならず従業員全体のつながりをもち続けることができるよう、ITツールを活用した従業員のコミュニケーション、人にスポットを当てた情報発信の継続に注力しました。今後も従業員が自律的に働き方を選択し行動できる風土・マインド醸成に努めてまいります！





令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

株式会社丸井グループ



全社と事業所ごとの「ウェルネス経営推進プロジェクト」

社員による主体的な健康の取組を実践するため「手挙げ式」で「ウェルネス経営（健康経営）推進プロジェクト」メンバーを公募し選任。全社プロジェクトメンバーは毎月1回全国から集まり、終日全社及び社外における健康の取組について話し合い、施策を企画・立案し実践。今年度は、コロナ禍の影響もありオンライン（ウェブ）とオフライン（集合）のハイブリットで活動を継続。また、事業所ごとのプロジェクトでは、階段上りや、始業前のヨガ・ラジオ体操やウォーキングなど社員やテナントさまが参加しやすいさまざまな企画を実施している。



丸井オリジナル「ラジオ体操OIOI」の制作・発信



全社の「ウェルネス経営推進プロジェクト」を通じて社員が自発的に制作。社内のアンケートにより、仕事での疲労や眠気を解消するため、誰もが知っているラジオ体操の動画制作を企画。全国各地の120名の社員をはじめ、役員・社長が動画撮影に参加。営業店では始業前に、デスクワーク部門では眠気の出やすい午後に実施して活力高い職場づくりに取り組んでいる。（東京都主催の「みんなでラジオ体操プロジェクト」動画コンクールで入賞兼特別賞を受賞）

※参考 2021年2月2日現在 YouTubeで4,600回再生

企業データ

所在地 中野区

業種 小売業

総従業員数 約5,130名

withコロナの取組

週末ウォーキング

昨年4月の緊急事態宣言までは週末ランニングを実施していたが、飛沫感染のリスクを考慮して、週末ウォーキングに変更。事業所メンバーがみんなで夜景を見ながらウォーキングすることで楽しく運動を取り入れることができ、コミュニケーションの向上にもつながっている。



階段利用で手軽に運動

営業店では、階段利用でエレベーターの3密回避と同時に運動不足も解消！社員はもちろんテナントさまにもご参加いただき、個人別・ショップ対抗のゲーム形式の取組を楽しみながら実践した。



活力UPストレッチ動画

テレワーク特有の疲労解消動画を、スポーツクラブ監修のもと社員が制作。肩こり、眠気覚ましなど、それぞれのケースに応じて実用的に使えるように工夫している。この動画は社内イントラネットを通じて配信し、各事業所で活用されている。



STAFF'S VOICE

丸井グループは2007年からは独自の純粋持株会社制を採用し、社員すべてにグループ共通の人事制度を適用しています。これにより、当社独自のグループ会社間人事異動「職種変更」や、自ら手を挙げる公募制の「グループ横断プロジェクト」などが実現。この誰もがチャレンジしやすい風土こそが、さまざまな取組の原点となっています。今後も、社内外問わず、スポーツの取組を発信してまいります。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

明治安田生命

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

明治安田生命保険相互会社



「ひとに健康を、まちに元気を。」 スポーツ・健活を通じてとことん！ 健康づくりを楽しく継続

2019年度から本格展開した「みんなの健活プロジェクト（健康づくり支援）」では、「健康を、いっしょに育てよう」をコンセプトに、誰もが実践しやすい運動の機会を提供し、お客さま・地域社会・働く仲間「みんな」で「健活」に取り組む、「人に一番やさしい生命保険会社」の実現をめざしている。

また、2020年度からは「地域の元気プロジェクト（豊かな地域づくりへの貢献）」として、人と人があたたかくながる地域社会の実現をめざし、自治体との協働による健康増進セミナーや当社独自のスポーツイベントの開催等、「社会的なつながり」の提供に注力している。

ひとに健康を、まちに元気を。



従業員自ら率先して「健活」に取り組む

当社では、お客さま・地域社会の健康づくりに寄り添い、継続的に応援していくために、従業員の健康づくりを推進しており、特にウォーキングを積極的に取り組んでいる。当社従業員専用ウォーキングアプリ「明治安田生命健活ウォーキングログ」で日々の歩数を管理し、所属対抗戦や健康情報が入手できる動画を配信する等、楽しみながらウォーキングに取り組めるコンテンツを複数設けている。また、定期的に好事例を社内共有し、所属ごと一体感をもった取り組みを後押ししている。2020年度から全社において就業時のスニーカー着用を可能とする「MY Style」を運用開始し、ウォーキングに取り組みややすい風土、歩く習慣づくりの醸成にも尽力している。



企業データ

所在地 千代田区

業種 保険業

総従業員数 約46,000名

withコロナの取組

コロナに負けない！ 「新しい生活様式」をふまえた健康増進の取組

コロナ禍でも当社従業員が健康を維持・増進し、活き活きと仕事に取り組めるよう、全社でウォーキングの継続を推進しており、従来より社内イントラで定期的に発信している健康維持に役立つ情報においても、コロナ禍におけるストレスや運動をテーマとした内容を積極的に提供している。さらに、「新しい生活様式」をふまえた新たな取組として、在宅勤務や自宅で過ごす際の工夫「おうち時間の過ごし方」を公募し、社内でも共有している。



「おうちで健活」 「とことん！地元応援キャンペーン with J」

従来のJリーグウォーキングやゴルフ・ヨガ等のイベントに加え、自宅で実施可能なエクササイズ等の動画をオンラインで配信する「おうちで健活」を社内外に発信・共有している。

また、Jリーグと新型コロナウイルス感染症拡大の影響を乗り越え、地域社会を後押しするための取組として「とことん！地元応援キャンペーン with J」を本格展開し、「おうちで健活」へのJリーグ選手・選手OBの出演や、Jリーグ選手が地域の魅力を紹介する「地域の元気つなげるサイト」を通じて、地域社会の活性化に貢献している。



健康を、いっしょに育てよう。 まちを、みんなで盛り上げよう。

全国1,159箇所に点在する所属がJリーグや地方自治体と協働し、地域社会に健康と元気を届ける活動を展開している。

各地でJリーグウォーキングやスポーツ関連イベント、社内運動部によるスポーツ教室等、開催している。

また、スポーツ文化の発展を後押しするため、「地元アスリート応援プログラム」を通じ、若手アスリートを応援している。



STAFF'S VOICE

当社では「健康を、みんなでもっと楽しく、続けやすいものにする」ため、全国各地で「健活」に取り組んでいます。

スポーツには「人を元気にする力」、「人を集める力」、「人を結びつける力」があることを再認識し、これまでさまざまな応援活動を行ってきました。今後もスポーツ支援を通じたスポーツ文化の発展に加え、地域社会の活性化をいっそう後押しし、企業ビジョンに掲げる「人に一番やさしい生命保険会社」の実現に向けて取り組んでまいります。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと



株式会社 CAC Holdings

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

株式会社CAC Holdings



社員自ら本気でポッチャを楽しみ、魅力を伝える

障害者スポーツ「ポッチャ」の普及・支援を、2016年より社会貢献活動としてグループを挙げて取組んでいる。各地で開催されるポッチャの大会やイベントに社員がボランティアで赴くほか、時には体験会の企画運営から実施までを請け負う。アスリート社員と連れ立っての体験会では、技術指導やトークショーも実施。オンラインで実施することもある。



社員のポッチャサークルメンバーのうち、15名が日本ポッチャ協会公認資格「ポッチャサポーター」を取得。そのうち8名が同協会公認資格「JBoA登録審判員」を取得。協会からの要請を受けて公式審判員としてコートに立つ。日本選手権本大会の審判に招聘される者もある。

オリジナルツールでポッチャの楽しさと魅力を、より多くの方に伝える

ポッチャの的玉であるジャックボールとカラーボール間の距離を測定し、勝敗の判定を補助する画像やデータを表示するAndroidアプリ「ポッチャメジャー」を開発。無料配信している。また、ボールの配置を真上から撮影するための移動架台&ハイアングルカメラの装置「ポッカム」を開発。これらのオリジナルツールを主催するポッチャ大会会場で使用し、観客に臨場感をもって戦況を見せながら、ポッチャの楽しさと魅力を伝える。



社屋1階常設のポッチャコートを一般に無料貸し出し

「ポッチャ」普及・支援の活動拠点として本社1階に設置したポッチャコートを、競技者やレクリエーションとして楽しむ方々に無料で開放。主要国際大会で採用されているスポーツ用床材を使用した公式サイズのコート周辺には十数台のカメラを設置しており、「ポッチャメジャー」や映像分析ソフトなどを組み合わせ、戦況や投球者の様子などを大型スクリーンに投影することができ、アスリートのレベルアップに貢献するとともに、ポッチャの楽しさを伝えるために活用している。



企業データ

所在地 中央区

業種 情報・通信業

総従業員数 約5,000名

withコロナの取組

コロナも乗り越えて、ポッチャを楽しむ



社内ポッチャサークルの練習会では練習前の検温・手の消毒はもちろん、コートを除菌シートで消毒し、自動ドアを開放して換気にも気を使っている。練習中、投球チーム以外は投球ボックスから外に出る。作戦会議をする時はボール周辺に集まらず、大型スクリーンに映し出す映像を見ながら…など、ルールを超えた対策を実施。ナイスショットのハイタッチもエアーでしている。

リアルイベントができずとも、創意工夫でポッチャの魅力を伝える

コロナ禍でアスリート社員が体験会会場に向かえない時はオンライン会議で参加し、ポッチャの魅力を伝える活動を継続的に実施。

また、オンライン会議用のバーチャル背景の提供や、練習会の様子を動画で流すなどFacebookなどのSNSを使ったポッチャの普及・支援活動を行っている。



その他の取組

一人でも多くの人にポッチャを楽しんでもらうために、用具購入がハードルとなっている非営利団体・法人へ向けて、ポッチャ用具を寄贈するプロジェクトを毎年実施。要望に応じて講習会もしている。

また、都内の特別支援学校の生徒を招き、グループ社員自らの企画・運営による、当社主催のポッチャ大会（CACカップ）を毎年開催している。

ポッチャ観戦を楽しむオリジナルツールの導入や、社員のアイデアによる様々な演出も



STAFF'S VOICE

CACグループは、主に企業のお客様を対象として、IT&ヘルスケアサービスを国内外で展開している企業グループです。50周年を迎えた2016年より、社会の皆様へ感謝の気持ちをお伝えする一つの形として、障害者スポーツであるポッチャの普及・支援活動をグループを挙げて開始しました。誰もが一緒になつてすぐに競技を楽しむことができるポッチャは、ダイバーシティやインクルージョンの必要性がますます高まるこれからの時代にふさわしいスポーツであり、これからも普及活動に取組んでいきたいと思っています。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと





損保ジャパン

SOMPO 保険の先へ、挑む。

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

損害保険ジャパン株式会社



SOMPOボールゲームフェスタへ冠協賛 (SOMPOグループで支援)

日本トップリーグ連携機構が主催する地域密着型のスポーツイベントで、小学生を対象に、さまざまな団体ボール競技を体験するプログラム。

日本の将来を担う子どもたちをスポーツを通じて応援したいという想いから2016年度から冠協賛を実施。イベントの合間には、子どもたちとその保護者を対象に、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的とした「防災ジャパンプロジェクト」も実施している。



日本ホッケー協会のパートナー契約

幅広い世代に夢と希望を届けたいという想いから、2017年から日本ホッケー協会のトップパートナーとしてホッケーの普及やホッケー日本代表チームを応援している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で国際試合が中止になる等困難もあったが、オンラインを中心にホッケー応援イベントを実施した。



企業データ

所在地 新宿区

業種 保険業

総従業員数 約24,690名

withコロナの取組

ロッチ中岡の高校ホッケー全力応援! Supported by 損保ジャパン

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でインターハイが中止になるなど、困難な状況にある高校ホッケー部員にポジティブな応援メッセージを発信したいという想いから、ホッケー協会公認アンバサダーのロッチ中岡創一氏、日本代表候補選手の協力のもと高校生たちとのYouTubeライブ配信番組を放映。イベント後、当社から全国の高校3年生ホッケー部員約1,000名へ「高校ホッケー全力応援オリジナルタオル」を贈呈した。



SOMPOダンスプロジェクト ～おうちで「足が速くなるダンス」リレー～

緊急事態宣言中に「おうちによう!」を呼びかけるとともに、お子さまからお年寄りまでが自宅で楽しみながら運動不足の解消ができる時間を提供したいという想いから、SOMPOダンスプロジェクトの「足が速くなるダンス」をおうちで踊った動画をSNSに投稿し、次の人にバトンをつなぐリレーをSNS上で展開。幅広い世代の方々に楽しんでいただき、ダンスリレーの様子はテレビ番組でも紹介されて話題となった。



SOMPOパラリンアート カップへの冠協賛

障害者の社会参加や経済的自立支援につなげることを目指した本コンテストは、すべてのスポーツをテーマに全国各地の方から、計778作品の応募があった。当社は「損保ジャパン賞」として全国47都道府県ごとに入賞作品を選定した。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなかでも、スポーツの力で幅広い世代に夢と希望を与えたいという想いから、オンラインを中心に自宅で楽しめる企画をしました。

今年度はスポーツ推進にあたり試行錯誤しながらの実施となりましたが、毎日がコロナ色で暗い状況下だからこそ、改めてスポーツのもつ力や価値に気づかされました。引き続き、スポーツを通じて、明るい話題を提供し、社会に貢献していきます。



令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

株式会社立飛ホールディングス



「アリーナ立川立飛」、「ドーム立川立飛」、「タチヒビーチ」等を 中心とした地域スポーツの振興

2017年10月、地域住民の健康増進やスポーツ観戦機会を創出することを目的に観客3,275名を取容可能な「アリーナ立川立飛」を建設。Bリーグ アルバルク東京のホームゲーム開催及びFリーグ 立川・府中アスレティックFCのホームアリーナとしての活用、Tリーグの試合開催等の他、地域の方々を対象としたバスケットボール教室等が行われ、立川における新たなスポーツ拠点として様々な用途で使用されている。

当初、バーベキュー設備のある写真撮影スポットとして、2017年7月にオープンした「タチヒビーチ」では、ビーチスポーツの聖地にしたいとの声があり、ビーチスポーツ専用コートエリアを増設。ビーチバレーボール公式戦を含む各種ビーチスポーツの試合会場として使用されているほか、当社が協賛・支援している東京ヴェルディビーチサッカーチームの練習会場としても使用されている。

「ドーム立川立飛」は、2018年9月に開催された「東レPOPテニス大会」誘致を目的に、「アリーナ立川立飛」横に建設。同大会終了後も、3×3バスケの公式戦やフェンシング教室の会場等、幅広い用途で使用されている。

当社では、上記施設を拠点とするスポーツチームを中心に協賛・支援を実施し、地域スポーツの振興を目指している。



[当社所有地に所在する他のスポーツ関連施設]
・MIFA Football Park 立川 (フットサルコート)
・TACHIKAWA STAGE GARDEN (多機能ホール)
・金田スイミングクラブ立川立飛 (本年2月運用開始)

企業データ

所在地 立川市

業種 不動産業

総従業員数 約400名

withコロナの取組

スポーツチーム支援の一環として、社員採用

当社が協賛・支援している「府中アスレティックFCレディース」の櫻庭里沙選手を、昨年4月、当社グループ社員として採用。当社では引き続き、アスリートが選手活動と仕事を両立できるような支援体制作りに取り組んでいく。



『タチヒビーチCUP』(リモートマッチ)への協賛・支援

当社が2018年より継続して協賛・支援しているビーチサッカー大会「タチヒビーチCUP」について、昨年9月19日・20日「タチヒビーチ」にて開催。



コロナ禍ということもあり、入場者を制限する運営としたが、例年1,000名程の方が来場される大会であることに鑑み、ファンの観戦需要に応えるため、初の試みとして、リモートマッチ(オンライン配信)が実施された。

『MY CUJOO』にて、全6試合が無料配信され、2日間で約1,500名の方が視聴。コロナ禍における、スポーツの観戦機会創出につながった。

部活動の推進

従業員の健康増進を目的に、部活動の推進を行っている。60年以上の歴史を有し、「2020年 第16回立川市軟式野球連盟 特Aリーグ」にて、優勝をおさめた野球部のほか、「アリーナ立川立飛」開業後に立ち上げたバスケ部等、老若男女問わず、世代を超えて活動を行っている。

コロナ禍において、各部活共に一時活動を休止していたが、昨年7月頃より、対策を講じながら徐々に活動を再開。フットボール部では、三密を避けることができる屋外での活動を実施する等、工夫をしながら、活動を継続している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社は、立川市に約98万㎡の土地を所有するデベロッパーとして、その社会的責任を自覚し、地域住民の健康増進に資する取組として、順次、スポーツ関連施設を開発するとともに、施設を拠点とするスポーツチーム等への協賛・支援を行ってきております。

今後につきましても、当社所有地に「金田スイミングクラブ立川立飛」が運用開始されるほか、昨年スポーツディレクターとして当社に招聘した、元NHKスポーツアナウンサー兼解説委員の刈屋富士雄のネットワーク等を活用し、様々な活動に取り組んでいく計画です。

引き続き、地域スポーツのハード面・ソフト面での貢献を目指し、スポーツチームへの協賛・支援及び地域の方々に楽しんでいただけるようなスポーツイベントの開催・誘致、並びに地域のスポーツイベント(立川シティハーフマラソン等)への協賛・ボランティアとしての協力等を通じて、地域スポーツ振興に貢献してまいります。



日本生命

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

日本生命保険相互会社



体験者2万人の想いが詰まった「特製応援ボール」を、全国の車いすバスケットボール選手768名全員に贈呈!

当社は、オリンピックとパラリンピックのムーブメントを日本全国に広げることが目的に、2018年9月から約2年間かけて、「日本生命 みんなの2020全国キャラバン」を全国・各地域で開催。その中で、車いすバスケットボールの体験ブースを展開するとともに、体験者数に応じて、車いすバスケットボール選手に応援ボールを贈呈する企画を実施。

結果として、全国で延べ2万人の方に体験いただき、日本全国の車いすバスケットボール選手768名全員に対して、2020年7月より、順次ボールを贈呈。

選手からは、「感謝とともに、「応援してくださる皆さんの想いを胸に、勇気や希望を与えられるよう、より一層練習に励んでいきたい」という、力強いお言葉もいただいた。



オンライン贈呈式の様子



日本代表候補選手

企業データ

所在地 千代田区

業種 保険業

総従業員数 約74,560名

withコロナの取組

コロナ禍で、大会中止等により悔しい思いをした学生に向けて、応援企画を実施!



日本生命 高校陸上ウイズ・アスリッツ・プロジェクト

当社所属の陸上・桐生祥秀選手等による、オンライン上のコミュニケーションイベントを計4回実施し、延べ約120万人の方にご視聴いただいた。

日本生命 未来応援プロジェクトTリーグ 選抜対高校3年生卓球ドリームマッチ

高校3年生の思い出となる試合を開催する企画を実施。当社所属の卓球・早田ひな選手もTリーグ選抜として出場。



BIG5があなたの道場に個別指導にやってくる!! Presented by 日本生命

当社サポート選手による、オンライン特別指導イベントを計5回実施。



コロナ禍での運動不足解消に向けて、「美カラテFit」体験動画を配信

空手の動きを取入れたエクササイズ「美カラテFit」体験動画を制作し、2020年6月から全5回シリーズで展開。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

様々な企画を通じて、コロナ禍でも前向きに取り組む選手の姿勢に、担当者としても大変勇気づけられ、明るさや希望をもたらす「スポーツの力」を改めて実感しました! 今後も選手と選手を支える全ての人々を応援してまいります!



オリンピック・パラリンピック推進部 相澤主任(左) 荻野課長(右)

株式会社IHIエスキューブ

株式会社 IHIエスキューブ



オリジナル体操の継続とアプリを用いたウォーキングイベントで活動量UP(アッ歩)

仕事の合間にできるストレッチを組み合わせたオリジナルの「グッドコンディショニング体操」を導入し、毎日、各職場で一斉実施している。
在宅勤務者が増えた今年度は、社内サイトにオリジナル体操の動画を掲載し、在宅勤務中に各自が必要なタイミングで実施できるようにした。在宅勤務者と同じモードで繋いで体操を一斉実施する職場のほか、体操動画を見ながら家族とストレッチする習慣を作った例もある。
また、在宅勤務による運動不足が懸念されたため、歩数をセルフモニタリングし、参加者同士で歩数や順位が確認できるアプリを用いたウォーキングイベントを開催している。参加者同士がアプリ上でつながり、活動量を高め合う機会になっている。

Achilles

アキレス株式会社



ウォーキングの推奨/ラジオ体操の実施/アスリートの支援

毎年10月から11月までの2か月間でウォーキングキャンペーンを実施して、50万歩達成者には賞品を贈呈している。年々参加者が増えていく取組となっている。
また、毎朝ラジオ体操を全従業員で取組んでいるが、今年度はコロナ禍のなかオフィス出社が減ったため結果的に密を避けてのラジオ体操の実施が適い、継続することが出来た。
さらに今年度より活動再開した野球部を含めた社内運動サークル(サッカー・テニス)への費用補助をアスリートの支援と合わせ実施し、健康の保持増進に役立っている。

朝日新聞

株式会社朝日新聞社



新聞社特有の勤務の中で運動不足の解消や健康増進のために様々な運動メニューを実施

インストラクターが本社内のほぼ全ての職場を巡り、10分間のオリジナル体操を実施している。
社内のフィットネスルームには各種トレーニングマシンを設置し、フィットネスイベントを実施するなど年間をとおして様々な運動メニューを提供。今年度はコロナ禍で職場体操を含め多くの取組を中止したため、代わりに体操やストレッチの動画を配信。
またRIZAP社と提携しウェルネスプログラムをLIVE配信するなど、運動不足解消の機会を提供した。
年2回実施してきた、スマホアプリ「aruku & (あると)」を活用したウォーキングプログラムは、春は中止したものの、秋は各自感染対策をしながら実施した。60日間で36万歩を歩く達成賞を贈呈した。

朝日信用金庫

朝日信用金庫



感染防止対策を徹底して行っている職員のスポーツ活動に対する支援

コロナ禍によりスポーツ活動の制限が余儀なくされている中、感染防止対策を徹底して行っている職員のスポーツ活動を支援している。
また、朝礼時にはソーシャルディスタンスを保ちながらストレッチ体操「信ちゃんストレッチ」を実施している。

ASAHO

株式会社浅野製版所



毎週変わるストレッチメニュー&オリジナルラジオ体操動画で社員それぞれの目的にあった運動を促す

職業柄、肩こりや腰痛で悩む社員が多いため、毎週効果の違うストレッチメニューを実施。2020年からは在宅勤務者が増えたため、オンライン体操に切り替え、それぞれの目的にあった知識を得ることができるよう週替わりのストレッチメニューのほか、良い体操と悪い体操を比較しながらラジオ体操ができるオリジナル動画を撮影し、メニューに追加した。
また、社内のフリースペースにはストレッチボールやバランスボールなど業務中でも簡単なストレッチができる環境を整えるなど、社員の定期的な運動推進とストレッチ知識向上を促している。

Asahi

アサヒ飲料株式会社



新しい日常の生活リズムを整え、健やかな毎日を生みだすことを目的にウォーキングキャンペーンや健康ポイントプログラムを実施

withコロナの環境下において、「新しい日常の生活リズムを整え、健やかな毎日を生みだす」笑顔」を広げていく」をコンセプトに健康施策を実施。その中で、健康増進を目的とし、社員間で歩数を競いあうウォーキングキャンペーンでは、室内での足踏みやストレッチなども歩数に換算して参加できる工夫を取入れている。
そのほか、社内SNS機能を活用した在宅勤務中でのスポーツの取組や健康増進の工夫を社員が共有するほか、腰痛予防体操やストレッチ動画を紹介するなど自宅でもできる運動を呼びかけている。
また、全社での取組のほか、それぞれの事業所でもスポーツインストラクターによる体操やストレッチ教室など運動機会を創出している。

朝日生命

朝日生命保険相互会社



就業前の職場体操の実施・健康アプリによるお客様及び職員の健康支援、体操事業への協賛

職場体操として全社員が毎日「おはよう体操」、「リラクゼーションエクササイズ」を実施し、健康アプリを活用したウォーキングイベント開催や運動不足解消に向けたニュースの配信等を実施。お客様及び職員の運動促進に力を入れている。
また、体操競技の普及及び、少年少女の健全な育成を目的として、「朝日生命体操クラブ」、「朝日生命体操教室」を通じた体操事業への協賛を行っている。

aspo

株式会社アスポ



！動くヒトを元気に！元気プロデュースカンパニー

コロナ禍において、「テレワーク体操」や様々な運動コンテンツを企業向けに開発。
ニューノーマル時代の就業環境の中でも、身体活動量を増加し、働くヒトのWORK CONDITIONING®(ワークコンディショニング)を整えることができるよう、コロナ禍でも様々なチャレンジを続けている。
また、スポーツの普及に向けて、アスリート支援として、NFLへ挑戦する日本トップクラスのアメフトプレイヤーを2名、女子ラクロス日本代表等を支援している。

Build Value, Build Bonds



株式会社アセットリード



**日本ブラインドサッカー協会への協賛及び
ブラインドサッカーにおける普及・促進活動**

体験型研修「OFF TIME BIZ」では、ブラインドサッカー体験を通じ、障害者理解のみならず、コミュニケーション、チームビルディング、ダイバーシティ理解など、日常生活にも活かせる新たな発見をコンセプトに、社内外の方にも積極的に案内している。
2020年はコロナの影響で対面での体験会を中止し、オンライン上で「OFF TIME オンライン」を実施し、その普及活動を行った。



THE ADECCO GROUP

アデコ株式会社



**運動したあとは専用アプリに登録、
その時間数に応じた金額を寄付し
世界中の子どもたちを支援**

社員の健康維持を目的に、ランニング、ウォーキング、ヨガ等の全社イベントを定期的実施。運動後、専用アプリに実施内容・時間を登録することで、世界の子どもたちに寄付金が贈られる「Win 4 Youthプロジェクト」に2010年から取組んでいる。
コロナ禍では、従来オフィスで行われていたイベントを全てオンラインに切り替え、在宅勤務の社員が家族と一緒に運動する機会を増やした。「肩こり・腰痛に効くストレッチ」、「ざっくり腰を防ぐ筋トレ」、「大人も子ども楽しめるリズムダンス」など、多様なラインナップを展開し、週1~2回ライブで配信。後日録画を共有し、当日参加できなかった社員にも視聴を促進している。



アビームコンサルティング株式会社



**ビジネス界のアスリート[Business Athlete]の
コンディション作り@リモート**

弊社では Well-Being Initiatives (WBI) という心身の健康維持・増進とパフォーマンスUPを推進する社内横断チームが、脳科学的アプローチで社員の食事・運動・睡眠習慣の改善に取り組んでいる。
緊急事態宣言直後は、自宅でする運動動画の導入や肩こり・腰痛などの症状別効果があるYouTube動画をもとに、ホームページに掲載。
また、コロナ禍での運動における工夫の仕方調査して、月に1回、運動に関するTipsを全社員向けに配信するなど運動習慣維持をサポート。
そのほかにも、今まで社内内で実施していたストレッチセミナーはオンラインで再開し、毎年実施している駅伝大会はオンラインでの実施を検討している。



アフラック生命保険株式会社



**ウォーキングキャンペーン等で、
運動不足解消+所属内の
コミュニケーションを活性化!**

緊急事態宣言中、運動等の生活習慣上の個人目標を設定し、グループで共有しながら取り組むプログラム (beyond 2020とのコラボ企画) を全社で実施。約1,700名が参加した。
また、社員アンケートでの「運動不足」という声を受け、少しでも体を動かす機会創出のため、自宅でするストレッチなどのライブセミナーを1ヶ月間毎週オンラインで実施。延べ約250名の社員が参加した。
そのほかにも、全社員を対象として数年前からウォーキングキャンペーンを実施。2020年秋は、全社員の約6割の2,932名が参加した。今年在宅勤務者が多い中、運動不足、所属内コミュニケーション不足の解消にも役立つという声も多かった。

Advance Soft



アドバンスソフト株式会社

【チーム戦】アドバンスソフトの状況		【チーム戦】アドバンスソフトの状況	
チーム1	チームメンバーの総歩数	チーム1	チームの順位
	総計 3,068,594 歩		34 位/560チーム
	平均 48,371 歩/人		
	平均 14,812 歩/1人/日あたり		
チーム2	チームメンバーの総歩数	チーム2	チームの順位
	総計 2,276,436 歩		72 位/560チーム
	平均 37,946 歩/人		
	平均 12,647 歩/1人/日あたり		

**通勤を利用した運動や
在宅勤務時のストレッチを推奨、
またウォーキングイベントへの参加を推進**

通勤電車・エレベーター等の出社時における3密の回避と健康促進を考えた、時差通勤を実施。無理のない範囲で徒歩通勤を実施したり、エスカレーターやエレベーターを使用するのではなく階段を利用するなどの工夫を各自行っている。
在宅勤務期間中には「自己管理能力」を高めるべく、自宅や近所でする運動や散歩などを推奨。
また、関東ITソフトウェア健康保険組合のイベント「MY HEALTH WEB スマ歩ウォーク」アプリを使って日常の歩数をカウントするイベントでは、毎日6,000歩以上は歩いて、みんな健康になろうという主旨のもので、今年は2チームが参加し、2チーム平均(1日1人につき)13,629歩を達成した。

企業に未来基準の元気を!



株式会社アドバンテッジリスクマネジメント



**ウォーキングイベント「あゆみ」の開催
~コロナ禍でも、からだを動かす工夫と習慣を!~**

歩行習慣推進のため、2017年度より取組んでいる大好評のウォーキングイベント。1日の平均歩数目標「8,000歩」を達成することを奨励している。参加者には活動量計を貸与し、専用アプリを使って歩数データを集計。目標達成者(個人及びチーム)には、健康増進関連グッズをプレゼントするなど、目標の達成に向けて社員のモチベーションが維持向上するよう工夫している。今期は、地域貢献活動をしながら参加者同士のコミュニケーション活性化を図るイベント「ナイトウォーク×地域のお掃除」を企画し、中目黒本社ビル周辺と目黒川沿いを歩きながら清掃するといった活動を実施した。



アポロメディカルホールディングス株式会社



**自社トレーナー作成の動画配信による
在宅勤務中の運動推進や
スポーツイベント支援の実施**

コロナ禍の新しい取組として、自社パーソナルジムトレーナーが、在宅勤務時に簡単に出来る動画を配信。社員の在宅勤務時の運動不足や、肩凝り等の体の不調の解消に役立っている。
また、従業員が業務終了後や休日にも、自社のパーソナルジムでトレーナーの指導の下でストレッチや筋力トレーニングを実施し、健康増進やメタボ改善等に取り組んでいる。
さらに、例年同様、プロ野球チームの年間シーズンチケットを確保。従業員のスポーツ観戦を促進している。



株式会社アミックグループ



**スポーツ大会・イベントへの協賛、
全社員対象のウォーキングの推進**

一人倍過密環境下にあるアスリートのために開発したスポーツ化粧品「AthleteX」を活用し、コロナの影響によりイベント等の機会は減少したが、今年度も商品提供による支援を行った。
また現役アスリートの大会協賛や支援活動は継続できた。
そのほか、社員の健康維持のため、平日にトータル30分のウォーキングを実施している。



株式会社アメディア



3分間ストレッチの実施

デスクワークで寝り固まった、首・肩・腰を軽くするため、午後に声かけをし、社員が各自で「3分間ストレッチ」を実施している。在宅勤務で声掛けが届かない者へは、朝のネット会議で1時間から1時間半おきにカラダを動かすよう動いている。

また、これまで取組んできた視覚障害者マラソンの参加と視覚障害者柔道の応援については、大会の再開を期待している。



株式会社ALIGHT



ヨガイベント等に積極的に参加し、健康であることの重要性を社員と共有します

社員からの要望により、健康に仕事に取組むことを重視。日々の健康増進のため、起床後の軽い運動を推奨して、ヨガマットの支給・フィットネスウェアの支給を実施した。

また、弊社顧客であるフィットネスクラブやジムにおけるヨガイベントなど、参加可能なイベントに対して、極力積極参加することを推奨した。そのほか、ラグビーワールドカップなど、注目度の高いスポーツ観戦においては公休を採用し、コロナにより、時差出勤・フレックスの採用とともに、近距離従業員に対しては、自転車通勤の推奨を実施した。



株式会社アロー



エクササイズ動画を社員向けに無料配信、自宅でできる体力テストをオンラインで実施

社内でのエクササイズや健康チェックをこれまでは会社内で実施していたが、これまでの対面での実施を変更し、YouTubeやZoomを使用し非対面でも実施。当社所属のトレーナーが考案したエクササイズを動画配信し運動意欲の向上を図るとともに、「全身持久力、筋力、バランス、柔軟性、俊敏性」などの体力チェックなども実施し、それぞれが自身の身体に目を向ける取組を実施している。



株式会社ANSIN-LINK



所属プロ選手・スポーツ経験者の指導に基づく社員参加型体験プログラムの導入及びプロアスリートの活動支援

従業員の運動不足を解消しリフレッシュする事で、生産性の向上と健康促進を同時に確保する事を目的とし、フットサル・野球・ゴルフ・フェニス・スノーボード等の社内経験者が中心となり、従業員が参加出来る機会を企画・実施している。

また、弊社所属のアスリートが大会に出場する際には従業員対象の応援ツアーを実施し、会社が一丸となって選手を応援する体制を作っている。

普段からマスク着用及びソーシャルディスタンスを意識し、競技前後の手洗い消毒の徹底(競技中も可能な限り実施)している。



アルケア株式会社



社内SNSやWeb会議システムを活用し、社員の健康増進やパラアスリート社員との一体感を醸成!

社員の運動促進や健康増進については、パラアスリートによる動画を社内SNSで配信し、みんなでストレッチを行った。

また、部活動の支援を長年行っているが、マラソン部は、新しい日常により、2020年7月より1回マラソン大会専用アプリ「TATTA」を使用しオンラインで出場している。練習で走った場所の写真共有や、社内SNSへの投稿をして、走った距離が仲間にもリアルタイムで分かり、走るの一人でも、みんなで参加しているような工夫をしている。パラアスリートの講演については、小中学校・高校で、「夢をあきらめずにかねてきたこと」、「限界にチャレンジしてきたこと」を伝えているが、リアル開催が難しい場合はオンライン講演を開始した。



アルフレッサ株式会社



歩数計アプリの利用やZoomによるヨガの実施で社員の運動不足を解消!

コロナ禍で運動不足やストレスを抱えている状況の中、「身体」と「心」をケアできる、ヨガをZoomで実施。

また、歩数計アプリを利用し、部署別の対抗戦を行い、上位部署を表彰するなど、モチベーションの継続、コミュニケーションの活性化ができるよう支援、推進している。



株式会社イーウェル



健康経営を推進し、自社の健康管理アプリで運動習慣化のためのイベントを実施

健康に関する情報の提供や、体重・歩数・日々の健康活動を記録するWEBサービス「KENPOS」(自社開発サービス)を利用している。登録した歩数を元に、WEB上のアバターがウォーキングし、日本全国を旅できるゲーミフィケーション機能や、ランキング機能もついており、期間限定で部署ごとのウォーキングイベントを実施する等、従業員の日々のウォーキング活動を促進している。

また、体組成・筋力・柔軟性・平衡性・敏捷性を測定できる体力測定を全5拠点で実施。参加者には、結果をお渡しして日々の生活習慣の改善に役立てられるようにした。



イーオクト株式会社



持ち運び可能なスタンディングデスクで、テレワークでもスタンディングワークを推奨

持ち運び可能なスタンディングデスクの購入をサポートして、テレワークでもスタンディングワークを推奨した。2018年より全社で導入済のスタンディングデスクだが、テレワーク、外出自粛による運動不足回避のため、自宅用のスタンディングデスク購入費用の一部を会社がサポートし、テレワークでもスタンディングワークの実施を促進して運動不足解消に繋げた。

また、年に一度創立記念イベントを実施して、街歩きオリエンテーリングと屋内での体育イベントを実施していたが、今年は屋内イベントは自粛し、野外の街歩きオリエンテーリングのみ実施した。

AEON SIGNA SPORTS UNITED

イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社



スポーツレクリエーションの実施、ストレッチタイムの導入による社員の健康増進

社員自らが当社が事業運営するスポーツ(テニススポーツバイク、サッカー・フットサル)を体験、実践していくことで、社員の健康増進を図るとともに、アスリートの気持ちを理解して、スポーツ業界を発展させていく。

コロナ禍でオフィス内やテレワーク勤務時のデスクワーク時間が長くなったため、ストレッチタイムを導入した。

サステナブルインフラ いちご

いちご株式会社



アスリートの社員雇用やスポンサーとしての協会・リーグ支援及び社員による応援観戦の実施

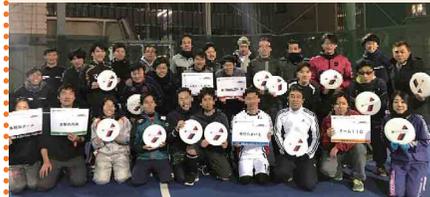
ウエイトリフティング・ライフル射撃・陸上部を創部し、メダリストを含む各選手を社員として雇用している。

また、リーグをトップパートナーとして支援し、ロゴマークやエンブレムを活用したクールタオルの作成、リーグオンラインサロン、DAZNギフトコード、選手のサイン入りグッズなどを株主様に抽選でお配りし、自宅で楽しめる安全なスポーツ観戦とスポーツの振興に寄与している。

社内では、朝礼で、オフィスで出来る健康豆知識等の紹介や、リモートワークによる運動不足や健康障害などの予防として、健康に関するYouTube動画を選定し、全社員に定期的にメールで配信し、在宅で楽しめる運動やストレッチを紹介している。

伊藤忠エネクス株式会社

伊藤忠エネクス株式会社



社内スポーツ活動支援制度による健康増進やNPO法人や各スポーツへの協賛

部署の垣根を越えて同好会として各種スポーツ活動を行う団体に対し、活動費用の一部を会社で補助することでさらなる活性化を図り、社員の健康推進の一助となっている。

また、スポーツ「アルティメット」の国内外の大会への協賛や、日本フライングディスク協会との協働による次世代教育活動を実施している。

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



自宅でできる運動やストレッチ等の推進活動/障害者雇用とトップアスリートへの支援

社員の健康維持を目指し、コロナ禍で在宅で勤務をする機会が増えた状況を踏まえ、自宅で行えるストレッチや運動に関わる情報のメール配信や社内イントラ掲載を実施。

また、障害のあるアスリートの雇用とトップアスリート社員に対して強化合宿等の参加費用の支援も継続的に行っている。

本年はコロナ禍でイベントの中止が相次いでいるが、例年は社会貢献スポーツイベントへの協賛、被災地支援のスポーツイベントで利用できるボランティア休暇制度ならびに活動費補助により、積極的な活動も促進している。

いちよしビジネスサービス

いちよしビジネスサービス株式会社



就業時にラジオ体操の実施

社員の健康が生産性の向上に繋がるとの趣旨で、短時間で全員が参加できることから、平成29年4月から就業時にラジオ体操を実施している。本年度はコロナ禍で出社人数が少ない日もあったが、継続的に毎朝実施した。

出光ユニテック株式会社 Idemitsu Unitech Co.,Ltd.

出光ユニテック株式会社

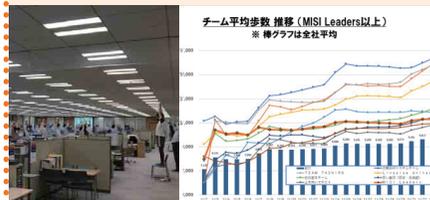


スポーツを通じた心身の鍛錬とコミュニケーションの円滑化

心身の鍛錬と社員相互の親睦を目的として社内スポーツクラブ活動に補助金を出している。特にサッカー部は、社内のみならず出光グループ、取引先企業や異業種との対外試合にも活発に取組み、一企業の枠を超えた活躍をしている。新型コロナの影響で活動回数は減少したものの、他事業所の支部設立等を通じてコミュニケーションの円滑化に重要な役割を果たしている。

MARUBENI ITOCHU STEEL

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社



Withコロナに応じた健康経営施策を実施

緊急事態宣言期間前後で中断していた「オフィスでストレッチ」を、在宅勤務中にも参加できるようにリモートでのライブ配信も導入・活用する形で再開。

また、3密を回避しながら取組めるイベントとして2020年11月の1か月間で全社ウォーキングイベントを、海外駐在員を含む全社を対象に開催。オンラインで随時、途中経過速報や結果発表を実施。期間中の参加者平均歩数は、約9,400歩/日。

ITO JAPAN

株式会社イトー



1日10,000歩を目標に「シドニー〜カンガルー島を踏破せよ!」を実施

全社員に万歩計を配布し、1日10,000歩を目標に1年間でシドニー〜カンガルー島1,856km・310万歩の踏破を目指すイベントを実施した。想定するコースにある5都市(シドニー、キャンベラ、メルボルン、アデレード、カンガルー島)の名所・歴史の紹介と、1カ月毎に集計結果の累積・棒グラフを掲示して、活動に対する社員の意識向上に努めている。



株式会社イトーキ



**オフィスでのコロナ対策も、
心身の健康を保つ「次世代のWork Style」
オフィス空間を実践**

日本橋本社オフィスでは、ウィズコロナ期の「働く場の基準」に基づいた感染防止対策を取入れ、ワーカーの多様なストレスを軽減させるオフィス空間を実現した。

また、全従業員向けの健康プログラムの導入やスタンディングワークの配備、コピーや打合せでの移動や中階段の活用といった、業務に必要なオフィスでの日常行動が歩数アップにつながる仕掛けなど、各所に健康活動につながる工夫がちりばめられている。

さらに、テレワーク下でのWEBを活用した健康増進と運動機会提案の情報発信も並行して展開中だ。



INSIGHT LAB株式会社



**社内コミュニケーションツールを活用した
スポーツ促進と健康意識の醸成、
部活動の推進**

運動好きコミュニティの設置・コロナウイルスの影響により、管理部門を除く全従業員が在宅勤務推奨となり、通勤の歩行など日常の運動機会が減っていたため、従業員の体調管理及び運動の機会創出を目的として、社内のコミュニケーションツール内に運動を楽しむための情報共有チャンネルを用意し、運動に関する情報共有や日常で出来るトレーニングなどの意見交換が出来るコミュニティを設けた。

また、健康に関するお知らせの配信や部活動等を以前より継続的に実施している。



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社



**在宅勤務でも気軽に運動できるよう
フィットネス動画等の情報を社内共有/
定時1時間前に退社し、運動を行う制度を推進**

新型コロナ流行により在宅勤務となった期間にも気軽に運動できるよう、フィットネス動画等の運動に関する情報を社内共有し、社員の健康維持・増進を図っている。

また、運動機会創出と習慣化・残業時間削減の同時達成のために、週1回定時前退社しその時間を運動に充てることを許可する制度を継続して推進している。

そのほか、入力業務が多い部門では15時・15時半に分けて社員全員がラジオ体操を行う取組を継続して実施している。



株式会社ウェルネスファームひょうたん島



**全社員による八丈島をスポーツ・体操で
元気にする活動、コロナ禍でも
運動を止めない取組**

例年の取組として国家資格者である全社員が、地元八丈島の島内スポーツイベント、学校スポーツ、観光スポーツ合宿や障害者や高齢者向けの体操教室等の救護係やトレーナーとして年間を通して活動していたが、今年はコロナ感染予防の観点より医療体制の脆弱な離島においては行政の判断によりほとんどのイベントが中止。

コロナ禍での新たな試みとして、社員一人一人が勤務の時間内に、対面や集団での運動ではなく、各人の空いた時間、ペースで運動を行い、来たその日を楽しみにして活動継続中。



株式会社インテック



**スポーツで「和」を深め、
スポーツを応援**

トランポリン日本代表のオフィシャルトップスポンサーとして、競技の普及に貢献し、選手の活躍を応援。

また、社員の親睦会としての「計和(けいわ)会」が全国各地拠点で野球、ソフトボール、テニス、バドミントンなど各種クラブ活動を支援しスポーツを推進している。

さらに「和」を図るために、年に1度はこれらのクラブによる「全国大会」を開催している。



株式会社ヴィクトリア



**スポーツを愛するお客様に、
健康増進・上達するための最適な商品を
提案するスポーツナビゲーターを育成**

従業員を「スポーツナビゲーター」と呼び、年2回まで個人・団体各種スポーツの負担費用をサポートしている。今年はコロナ禍で「ゴルフ」「トレッキング」「キャンプ」がキーワードとなり体験支援を実施し、自らのスポーツ体験・経験を豊かにしている。

また、日本代表クラスのアスリート社員を雇用し、スポーツナビゲーターへの教育、店頭ではトップアスリート視点での接客アドバイスを行っている。

そのほか、毎朝の朝礼で実施している執務室内でのラジオ体操は控え、フロア移動を段階で移動するよう推奨している。



一般社団法人A-wear協会



**公立小学校でのスポーツ指導ボランティア、
アスリートへの運動器具の提供
トレーニング支援**

東京都教育委員会が設立した、都内公立小学校を多角的に支援する財団、一般財団法人東京都学校支援機構に団体登録し、公立小学校におけるスポーツ指導ボランティアを6月から月一回のペースで実施。

また、高齢化が進む在籍する地元消防団での訓練実施前には、安全対策としての準備体操を実施した。

さらに7人制サッカーの日本代表選手や所属チーム、社会人アメリカンフットボール選手、ユース世代の格闘技のチャンピオンへ、コロナ対策のため、オンラインでの運動指導を競技力向上のためのサポートと運動用品の提供を行った。



ANAテレマート株式会社



**グループ社員対抗!
健康増進アプリでウォーキング大会開催**

健康増進アプリを使った「ANAグループWEBウォーキング大会」を開催。約1ヵ月半の期間中、毎日の歩数を測定し順位を競うことで、モチベーション維持に繋げ、習慣化を目指した。社員同士が声を掛け合い参加を奨励し、コミュニケーションの増進にもつながっている。

また、社員有志で結成されている部活動(野球部・バレー部・バスケット部)では、密を避ける工夫をし、少人数での練習を実施。マスクを着用し、ボールなどの道具類は除菌を徹底。安心してスポーツができる環境整備に取組んだ。



AGC株式会社



**オンラインヨガ講座の開催、
職場や単身寮内に運動室を
設置、任意参加の朝体操を実施**

新型コロナウイルス問題を受けて、外出や運動の機会が減っていることにより、在宅勤務を行う従業員も多く、心身のコンディションづくりが一層重要であることから、「オンラインヨガ講座」を開催した。
また、周辺にスポーツジム施設の少ない地域で働く従業員向けに、職場や社有寮内に運動室を設置し、日常的な運動を促進している。
そのほか、始業前には、身体を動かすことで1日を健康に過ごせるよう、任意参加の朝体操を実施している。



エムサービス株式会社



**スポーツを通した
従業員間の交流を促進**

事業部門を超えた従業員のコミュニケーションの機会創出と絆を育ぐことを目的として、テニス部、サッカー部、野球部の3部が活動している。各部の大会結果やイベントなどの活動状況を社内イントラネットや社内報に掲載したり、女子テニス部によるテニスイベントやサッカー部によるフットサルイベントなどを毎年従業員向けに開催したりすることで、全社間のさらなる交流を図っている。
今年度は感染症拡大の影響でイベントの実施には至っていないが、コロナ禍だからこそできる取組や活動状況を社内外に定期的に発信することを心掛け、コミュニケーションの維持に努めた。



SMBC日興証券株式会社



**障がい者アスリート社員による健康促進及び
健康ポイント倶楽部導入による
健康への意識醸成**

コロナ禍で、自宅待機やテレワークなどによる運動不足に悩む社員向けに、障がい者アスリート社員が「自宅でできるトレーニング」の動画を配信。13名のアスリートが、腰痛や肩こり解消、家族でできる運動などバラエティに富んだトレーニングを解説付きで実演。併せて月1回発行される社内報(イントラネット)にも「アスリート社員コラム」として、食生活や睡眠、身体のメンテナンスなどについて、アスリート目線で情報発信を行った。
また、ウォーキングなど健康促進につながる行動でポイントを獲得し、サイトで好きな商品と交換できるポイント制度も導入、楽しく健康促進に取り組むプログラムを揃え運動機会の提供を行っている。



SMBCファイナンスサービス株式会社



**健康経営の推進を掲げ、
ウォーキングやラジオ体操の実施による
運動習慣の定着を支援!**

全従業員が改めて自身の「健康」を見つめ直す、「家族との時間」を大切にす期間として新たに10~11月を「いきいきライフ月間」とする強化月間を新設し、従業員のヘルスリテラシーの向上を図った。
また、健康づくり支援アプリを活用し、コロナ対策支援を目的に10,000歩につき5円を「中央共同募金」(赤い羽根共同募金)へ寄付を行う「社会貢献型チャリティーウォーク」や、始業前の館内放送に合わせて全身運動を行い、体と頭を活性化させるラジオ体操を実施。
そのほか、スポーツ大会(マラソン・水泳等)への協賛を通して従業員だけでなく、地域の方々を含めた運動習慣の定着やスポーツを通じた健康づくりを支援している。



エムサービスジャパン株式会社



**社員のウォーキング
励行イベントの実施**

従業員が心身ともに健康的にいきいきと働ける職場づくりを目指し「歩こう会」を実施。個人のペースで無理なく取組むことができ、ウォーラーの目標数を達成すると応募できる参加型のイベントだ。
また、2020年度「歩こう会」については、コロナ禍において外出の機会が減ることを想定し、参加者が提出する歩数カード内にて、「健康チャレンジ」と称し、自宅で簡単にできるエクササイズを紹介。実践したらチェックを入れるスタンブラー形式を採用し、ウォーキング以外にも自宅で体を動かすきっかけづくりを行っている。



株式会社エコ・プラン
豊かな環境を創造する

株式会社エコ・プラン



**— クラブ同士の交流 —
社員間のコミュニケーションを活性化**

部活やサークル間の交流を実施。交流を通じて得られる相乗効果に期待し、新たな取組にチャレンジした。コロナ禍での企画であったため、活動前後での手洗い・うがい・マスクの着用を実施。トレーニング中は人と人の距離を保った状態で、全員が楽しく、安心して参加できる環境に最大限配慮して交流を深めた。



株式会社エスクリ



**3回回すスポーツとして、
ウォーキング大会参加や
オンラインエクササイズを実施**

リュック・スニーカー通勤や階段利用の促進を行っており、継続してついに3年目となった。
そして今年は、発展的な取組として、所属する健保組合が主催するウォーキング大会に参加した。例年実施してきた部署交流の駅伝大会は、縮小せざるを得ず、それでも小規模でも継続したいと、対象者を絞り感染対策を行った上で実施した。
また、コロナ禍におけるスポーツとして、オンラインエクササイズを初めて実施。自宅休業の社員も多いため、運動不足の社員に向けた、新しい取組になった。



SGホールディングス株式会社



**オフィシャルスポーツチームにおける
アスリート雇用/
全国高校駅伝競走大会への特別協賛**

オフィシャルスポーツチームである陸上競技部(男子)とソフトボール部(女子)の運営を通じて、アスリートの雇用と競技活動支援を行っている。両チーム共に選手は従業員として雇用し、現役期間中は競技に集中できる環境づくりをサポート。引退後は社業に専念する選手も多く存在する。
また、2016年から全国高校駅伝競走大会に特別協賛を行っており、大会運営への支援を通じて、幅広い世代へのスポーツ振興にも取り組んでいる。



株式会社NSD



自社アプリを活用したリモートでのウォーキングイベント「都道府県選手権2020」を開催

コロナ禍の下、恒例の運動会等は自粛としたが、自社開発の遠隔健康支援サービスCAReNAを活用し、9/7(月)～9/27(日)にリモートでウォーキングイベントを開催した。これは各社員が出身地等思い入れの強い都道府県のチームに分かれてエントリーし、団体戦、個人戦で歩数を競うイベントだ。約800名の社員が参加し期間中の平均歩数は優勝した徳島県の14,316歩/日を筆頭に、第2位島根県11,253歩/日、第3位岩手県10,547歩/日など、多くの社員が日頃の歩数を大幅に上回る結果となり、テレワークで直接会う機会が減少する中、社員同士の絆を深める有意義なイベントとなった。

株式会社NTT東日本一南関東 東京事業部

株式会社NTT東日本一南関東 東京事業部



オンライン・オフラインそれぞれの良さを活かし、ニューノーマルならではの新たな価値を創造

ストレッチ動画の一斉配信等を利用した体操の実施により、短時間の運動ではあるが身体とともに気分もリフレッシュされ、業務効率の向上が図られている(NTT東日本シンボルスポーツ選手が講師となって実施する運動も展開)。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年実施してきた「集合型イベント」(運動会等)は開催できないが、リモート環境を活用したレクティブを積極的に展開すると同時にリモートのみに偏ることなく、オンライン・オフラインそれぞれの良さを活かし、ニューノーマルならではの新たな価値を創造していく。



NOK株式会社



アスリート社員の活躍と従業員との交流を掛け合わせた【リモートWorkout】を実施

在宅勤務を行う中で、従業員の運動不足や社内コミュニケーション頻度の低下が懸念される中、リモートにてアスリート社員によるトレーニング講習会を実施した。元々講習会は、アスリート社員と対面式で、本社在籍の従業員対象にストレッチ・トレーニング講習会を行ってきたが、今年はリモートであることから、弊社の全国の拠点と繋ぎ、計67人が参加した。リモートではあったものの、本社以外の多くの従業員が参加したことにより、アスリート社員との交流、また従業員同士の交流もでき、従業員の運動不足解消と共に社内のコミュニケーション向上にも繋がった。



NTTクラリティ株式会社



障害のあるアスリート社員の仕事と競技の両立を支援し、パラスポーツを通じて共生社会の実現に貢献

2017年度より障害のあるアスリート社員3名をシンボルアスリートとして認定し、安心して競技に取り組めるようなサポートを実施。コロナ禍においては、グループ企業のトレーニングルームを活用して、自粛期間中でもパフォーマンスを維持・向上できるよう、社員がシンボルアスリートの自主練習に同行しサポートした。
また、シンボルアスリートが講師となりストレッチ動画を公開。オンラインで配信し、自宅などでも出来る運動の機会を提供した。
2016年度より行っている小・中学校や高校でのパラスポーツ体験授業についても、コロナ対策を行った上で継続して実施。パラスポーツを楽しんで頂く機会を提供することを通じ共生社会の実現に貢献している。



株式会社エフピコ



ユニバーサルスポーツであるフロアホッケー活動をグループ企業あけて推進

フロアホッケーは障害・年齢・性別に関係なく一緒にプレイするユニバーサルスポーツであり、フロアホッケーのチームを全国9拠点で結成(14チーム、うち東京3チーム)。グループ社員約600名(障害のある社員約200名、障害のない社員約400名)がアスリートとして概ね月に一度集まり練習し、年1-2回の大会に参加しているほか、東京と広島との2つの大会でメインスポンサーとなり、多くの社員がボランティアとして運営に参画している。
コロナ禍でもフロアホッケーへの取組が絶えないよう、新入社員、中途入社社員を対象に説明会、体験会を開催。社員が密にならないよう、4日間に振り分け練習を行っている。



株式会社エムステージ



毎朝のオンライン体操や、ながらエクササイズ。日常生活の中で無理なく健康増進

企業の健康経営をサポートする立場から、社員の健康増進にも積極的に取り組んでいる。
オンラインとなった朝礼でも、引き続きストレッチを実施。オフィスにスタンディング席を設けて、ながらエクササイズを推奨するなど、日常生活の中で無理なく健康増進へ取り組めるようサポートしている。
また、近距離手当を支給して、徒歩運動による運動不足の解消を推奨したり、本年はコロナ禍で実施できないが、スポーツ活動推進手当を支給して、社員のスポーツ交流を促進する制度を設けている。



MS&ADインターリスク総研株式会社



「運動チャレンジアクション」及び「チャリティウォーキングイベント」を実施

継続実施している、スタンディングミーティングと階段利用促進のほか、コロナ禍の影響もあり、運動習慣の減少傾向がみられたことから、「イキキと高いパフォーマンスを発揮する」ことを目的として、適度な運動を推奨した。
また、「チャレンジアクションカレンダー」(自社作成)により、自身で取組項目を決定し、日々の実施状況を記入する「運動チャレンジアクション」を3週間実施。
そのほか、参加者の歩数に応じて、チャリティ団体へ寄付を行うウォーキングイベントを実施した。



株式会社エムティーアイ



オンラインクラブ活動支援や自社の健康管理アプリを使った歩数管理、健康クラブ「エム健」の運営等

全従業員を対象にクラブ活動の入り推奨と費用補助を行い、コロナ禍ではオンラインの活動も支援。
また、自社で開発を行っている健康管理アプリを全従業員に配布し、日々の歩数管理を実施。運動習慣の意識、習慣付けを管理職から働きかけている。
さらに、従業員だけでなく、誰でも参加ができる健康活動の記録サービスを開発、運営し、日々の運動の記録をポイント化。ポイントに応じたインセンティブを与える仕組みを構築し、全社で運動(スポーツ)活動を促進し、コミュニケーションの活性化を行っている。



株式会社MPandC



**アスリートと街(マチ)をつなぐ
アスマッチプロジェクト/コロナ禍に対応した
子どもたちの夢を応援するカタチ**

対面型イベントが減少する中、オンライン会議ツールを活用したオンラインイベントの実施により、子どもたちとの交流機会を創出。課題動向の提出と添削やオンライン面談の実施などで子どもたちが思い通りに練習ができない環境下でも夢や目標に向かってやる気を保っているよう、積極的なサポートに努めた。

「アスリートの方で街を元気にする」は、たとえ現地に行かなくても実現できると、アスリートの持つ力、影響力を改めて実感できる結果となった。大山加奈氏、マツク鈴木氏、相根遊氏の実体験に基づく子どもたちへのアドバイスは子どもたちの心にずっと残っていく「ほんもの体験」となった。



青梅信用金庫



**当金庫厚生施設を利用し、全国大会出場を
目指すスポーツクラブへの支援**

4月～6月末までは、主な大会の中止が相次いだため、各クラブとも自主練習を中心に行なった。

7月以降の主なクラブの取組では、野球部が天皇賜杯日本軟式野球大会予選ベスト4入賞、東京都軟式野球連盟夏・秋季大会出場。

なお、野球部は2016年9月に東京第一代表として天皇賜杯日本軟式野球大会出場を果たし、ソフトテニス部が全日本実業団選手権大会出場、全日本実業団リーグ8位入賞、東京都クラブ戦秋季大会4部優勝、青梅オープン・会長杯テニス大会優勝、準優勝を果たしている。

コロナ禍のもと、運動開始前の検温、手洗い・用具の消毒等徹底、3密を避け細心の注意を払ってクラブ活動を行っている。



株式会社オートバックスセブン



**コロナ禍においても
社員が自主的に健康管理に取組めるよう
社内ポータルを活用し健康促進の啓蒙を実施**

2020年度は、従来実施していた社内運動クラブ活動、コーポレートゲームズともに見送らざるを得ない状況下、社内情報共有サイトを活用し、健康に関する啓蒙活動を実施した。おもな取組事例は、自宅で可能な運動支援の案内、提携しているスポーツクラブ様からの動画などを案内し、自宅でも出来る身体を動かす施策を紹介。

また、昨年度までスポンサー協賛したマラソン大会が主催社が運営する、オンラインランニング&ウォーキングイベントへの参画を全社に発信した。



オリンパステルモバイオマテリアル株式会社



**社員のパラスポーツへの体験参加と
在宅オンライントレーニングの実施**

コロナ禍であるが、社員が安全にスポーツを通じて、コミュニケーションの活性化と健康維持・増進に取組む機会を提供している。

また、NPO法人パラキャン様の学校訪問に弊社の社員も参加させていただき、学生と共にパラスポーツの体験をしている。その際、衛生用品(フェイスシールド、消毒液等)を提供し、社員及び参加者のコロナへの罹患を防止している。

そのほか、例年であれば、駅伝大会等へ参加をしているが、スポーツイベントへの参加が難しくなっているため、社員が講師となり、Web会議システムを利用した「在宅勤務者でもできる筋トレ講座」を開設し、運動不足の解消促進を行っている。



株式会社オーエルシージャパン



**週1回のオンラインエクササイズでリモート
ワーク中も健康づくりへの取組を維持**

美尻トレーナー Kamoyuri さんによる週1回30分のエクササイズレッスンを実施。3月にリモートワークへ移行したあとも、Zoomでのレッスンに切り替え、継続して取り組んでいる。

オンラインになったことで、出張先から、ファミリーで、ビデオオフなどで、より自由なカタチで楽しめるようになった。エクササイズの内容も、美尻、ストレッチ、HIITなど、週によって内容を変え、スタッフの好みや体力の幅に沿うように工夫している。



株式会社オーエンス



**職場での
バランスボール活用の取組**

新型コロナウイルスの影響で社内ストレッチの開催が困難なため、代替案として、職務中でのバランスボールの使用を推進して、社員の健康促進に努めている。



オントフ株式会社



**コロナ禍の対応として、居住圏内の
山間部でのトレッキング・ハイキングを実施**

2020年度の新規取組として、コロナ禍において居住圏内の山間部でのトレッキング・ハイキングを行い、宿泊先でのテレワークも実施した。

また、社員の健康維持のため、自宅近辺の公園でのリモート朝体操を継続実施している。



The power to amaze yourself.®

株式会社カーブスジャパン



**全社員に対して「カーブスワークアウト」を
月8回以上実施することをルール化**

全社員が月8回以上のカーブスワークアウト実施をルール化し、(一般職、時短勤務のメンバーは、月に5回以上行う。) 勤怠シフトにて、実施回数を管理している。実施できない場合は、筋トレと有酸素運動を含む30分以上の運動をワークアウト1回分とした運動プログラムの実施を推奨している。

カーブスワークアウトは、マシンでの筋力トレーニング、ステップボードでの足踏みによる有酸素運動を30秒ずつ交互に24分実施し、最後にストレッチを6分実施する、合計30分のプログラムだ。



金井大道具株式会社



毎日のウォーキング歩数を集計・公表/
全員で日本一周を達成し、
現在は世界一周を目指す

コロナ禍での休業期間中、健康・体力維持のため、社員のウォーキング成果を記録・集計し、社内でも共有することで、参加者の連帯感による運動継続、また参加していない社員への運動意欲促進、総じて健康への意識の向上を期待し、楽しみながら、運動不足を解消させて、社員の健康的な生活を促すことを目的として、「コロナに負けるな!日本一周チャレンジウォーキング!」を企画した。

約2か月間で日本一周を歩き切り、現在は世界一周を目指している。世界一周では、参加者を増やすため、社長賞・取締役賞などを設け、歩数だけでなく、定期健康診断の結果が改善した人なども表彰する予定だ。



管清工業株式会社



コロナ感染防止に伴い、在宅勤務制度を
実行。
出社組は朝礼後、ラジオ体操を
全支店、営業所で実施

スポーツ活動は毎年、健保野球大会、全国実業団相撲大会、自転車部はツールド三陸大会などに参加していたが、今年はコロナの影響により中止となった。

全社の取組としては、社員の健康維持のため在宅勤務以外の出社組は毎朝ラジオ体操を、本社・支店・営業所で実施している。

安心も、快適も、感動も。



株式会社協栄



トップアスリートの雇用、
カヌー体験イベントの実施/
日常的な運動機会の提供

トップアスリートを雇用し、安心して競技で活躍できるような環境を創出。

また、カヌー体験イベントを実施のほか、日常的な運動機会として階段利用の促進や、バランスボールミーティングの実施、スポーツゴミ拾いなどを実施している。



株式会社ぎょうせい



自転車通勤の推奨、階段利用促進を通じて
3密を避けた運動機会の提供

会社敷地内に無料駐輪場を設置して、使用距離に応じた手当を支給するなど、出社時の3密を避けることと、社員の健康維持との両立を考え、自転車通勤を推奨している。

また、階段利用した場合の消費カロリーを記載したポスターを掲示し、階段利用を促進している。

平成29年からは、障害者アスリートの活躍を見たり、応援することを通じて、社員自身の振り返りや、社員の一体感を促進し、組織力や社員の意欲を高めることを目的に、障害者アスリートの採用活動を開始した。さらに、競技会の成績を社内報で社員に知らせるなどしている。



株式会社キャプティ



野球部員による簡単ストレッチを
動画で発信し心も体もリフレッシュ

新型コロナウイルス感染防止対策で多くの社員が自宅待機やテレワークによる運動不足が問題になっている中、野球部員による簡単ストレッチを定期的に動画で発信し、積極的に体を動かして心も体もリフレッシュしている。



株式会社キャリアコンサルティング



"人づくりのキャリア"が
感染予防対策を徹底して「縄文ストレッチ」の
ワークショップと縄文タイムを実施

日本の伝統的な動きを取り入れた縄文ストレッチのワークショップは、マスク着用・ソーシャルディスタンス・アルコール手指消毒を徹底して開催。開催数を増やすことで、一回に参加する人数を制限した。コロナ禍での新様式に対応し、免疫力や基礎体力の向上に繋がっている。

また、テレワークでも自宅でもストレッチが出来るように、オンラインシステムを活用し縄文ストレッチの音源を共有している。

そのほか、例年実施している、参加者を募ったチーム別で合計歩数を競う「歩け歩けコンテスト」は、感染対策を行い、今後も実施予定。



共同カイトック株式会社



新たに公認ランニングクラブが発足

以前より、毎日のラジオ体操、公認クラブの活動、プロ選手の雇用から試合観戦の補助まで、活動を実施している。

また、新たに公認ランニングクラブ「KYRC」が発足した。



株式会社 協和



歩数計の無償配布でウォーキングを
見える化、一日8,000歩以上を目指す

従業員に歩数計を無償配布し、毎日の歩数を見える化。

また、一日の平均歩数8,000歩以上を目指すキャンペーンを毎月実施している。テレワークが継続する中でも、従業員の約8割が達成している。

そのほか、毎年リアルで実施しているウォーキングイベントを新型コロナウイルス感染拡大防止の影響でオンラインで実施。社長を含め、地方在住の従業員も参加し、自宅近くの風景や観光スポットを紹介するなどちょっとした旅行気分にも。



株式会社きらぼし銀行



スポーツの普及・振興を通じた地域社会の発展への貢献

「リーグクラブ「FC東京」の応援イベントとして冠試合を開催する際に、未来ある子どもたちがスポーツを通して健全な心身の発達ができるように育成資金を贈呈。
本年度はコロナ禍で開催していないが、例年小学生バレーボール大会や少女サッカー大会等へ協賛し、スポーツの普及・振興、将来を担う子どもたちの成長支援に継続的に取り組んでいる。
また、コロナ禍にはアスリート社員が在宅勤務等による職員の運動不足解消のため、家でできるトレーニングを社内SNSで紹介した。



錦城護謨株式会社 東京支社



社内スポーツイベントの開催及びSNSを活用したパラスポーツの魅力発信

健康増進や社員同士の交流を目的に、全社的なゴルフ大会を開催しており、現場の社員から管理職・経営層まで幅広く参加し、社内コミュニケーションの活性化に一役買っている。
そのほか、自転車や草野球など、社員による自主的なスポーツサークルが存在し、各地点で活動を行っている。
また、昨年度に引き続き、障害者スポーツ大会を開催する施設で、受付やコート配置にあわせて屋内用の誘導マットを貸し出す共に設置協力を行っている。
本年はコロナ禍の影響によりイベントが中止となったが、協賛しているブランドテニスの競技PRをSNSアカウントで発信するなどして競技の周知活動を行った。



株式会社グッピーズ



自宅でできるエクササイズ動画の配信、健康管理アプリの活用、ウェアラブル端末の支給

自宅でできる5分程度のエクササイズ動画の配信を開始した。
また、健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」を活用して、健康活動で獲得したポイントをAmazonギフト券や現金に換えることができ、楽しみながら健康意識を高めている。特に歩数については「ランキング機能」を用いることで、カラダを動かす動機付けにつながった。
そのほか、Apple Watch等のウェアラブル端末の支給も行っており、社員の健康を後押ししている。



株式会社クボタ 東京本社



毎朝のラジオ体操やダーツ大会、健康マイレージの取組で従業員の健康づくりを支援

ジャパンラグビートップリーグに加盟するクボタスピアーズの強化、社内告知や応援ツアーを開催した。
また、社内の共有スペースにて、年1回ダーツ大会も開催。
そのほか、毎朝のラジオ体操や健康マイレージを実施することにより従業員の健康づくりを支援している。



クーリード株式会社



総合スポーツ部を設立し、従業員のスポーツ活動を奨励/リレーマラソン大会に定期参加等している

健康維持・増進や社内活性化等を目的に「総合スポーツ部」を設置。活動費補助等の支援を通じて従業員のスポーツ活動を奨励し、リレーマラソン大会への定期参加等を行っている。コロナ禍の本年度は、活動できない期間も多くあったがその中でも、オフィスに機材を設置しての筋トレ、在宅ワーク中に休憩&リフレッシュで筋トレ、気分転換にウォーキングなど、新しい働き方の中でも運動を取り入れる動きがスタートした。
また、秋には感染対策に留意しつつ、人数を絞ってのスポーツ大会への出場も果たすことができた。



株式会社 久慈設計東京支社



アスリート社員の広報誌発行による社内外への活動内容・近況等の周知とスポーツの推進活動

女子アイスホッケーの小西あかね選手を雇用しており、選手の近況や活動を報告する広報誌「あかねだより」の社内外への配布や、社員が練習の見学や試合への応援をするなど、社員一丸となって小西選手をサポートしている。
また、毎朝社内でのラジオ体操の実施や、パラリンピック競技の体験イベントへの参加など、積極的にスポーツの推進活動を行っている。



株式会社Criacao



サッカークラブに所属する社員の活動支援及び地域に向けての運動機会の提供

社員の半数がサッカークラブに所属しており、接骨院と提携することで社員が無料で診察を受けることができる体制を整えている。
また、新宿区サッカー協会と連携し、小中学生向けにサッカーに取組む機会の創出のため企画運営を実施。社員もコーチとして運営に参加することで、子どもと身体を動かし、運動の機会を創出している。



株式会社グリーンハウス



新たな働き方に即した様々なワーキングイベントの開催や働く環境に合わせた運動メニューの紹介

6年目となったアプリを活用した全社ワーキングイベントを予定通り実施した。今年は、従業員の感染症予防を目的に加え、免疫機能を働かせることをテーマに、「1日3食食べる」、「6,000歩以上歩く」を目指して競争する健康イベントとして開催した。特に歩数の減少が心配される在宅勤務者を対象に、新たに室内で安全にワーキングすることを推奨するイベントへの参加など働き方に即した運動機会を創出している。
また、在宅勤務者向けエクササイズを紹介を含めた健康情報「おうちで! Wellness Information」の自社ホームページでの連載を開始して、社外を含めた在宅勤務者の健康サポートを目指している。

GREEN HOUSE FOODS

株式会社グリーンハウスフーズ



ヘルスケアアプリの活用や情報発信強化で、運動イベントの継続開催や機会創出を推進

毎年開催のチーム対抗ウォーキングイベントを、個人戦にするなどコロナ禍に応じた運営方法の見直しにより、本年も継続開催。
また、朝礼や会議時に実施していたストレッチは自宅での実施奨励へ情報発信を強化した。
そのほか、ウォーキングイベントで活用しているグループ企業開発のヘルスケアアプリ「あすけん」が新たに開設した「#コロナ太りに負けない 自宅でできる運動・栄養プログラム」の活用を社員向けに広く展開し、テレワーク推奨下での運動機会の創出に注力している。

KEIAI

ケイアイスター不動産株式会社



「ケイアイチャレンジアスリートチーム」を発足し、パラスポーツ支援と地域のエンゲージメントを強化

2019年4月に当社所属の障害者アスリートによるケイアイチャレンジアスリートチームを発足した。現在は7名の所属アスリートの支援を行いながら、アスリート自身も社内のミーティング参加、研修講師や商品開発などの業務に関わるほか、イベントや体験会などの地域や教育機関と連携した活動を行い、パラスポーツ認知向上のために取り組んでいる。
さらに、障害者スポーツ団体のスポンサー支援なども積極的に行っている。
また、地域のマラソン大会やスポーツ大会に協賛し、社員が大会に参加するなどして社員の運動の機会促進に対する取組も積極的に行っている。

KSK マジメな未来を かたちにする We are Team KSK

株式会社KSK



「わくわく健康プラン」でコロナにも負けない健やかな健康づくりを支援

自由にテーマを決めて取組む健康活動「わくわく健康プラン」を中心に、希望者へ活動量計を配布し、運動習慣の定着を促進している。個人のみならず、仲間によるチーム参加(体操、ウォーキング、マラソン等)も可能で、スポーツを通じ絆を深めることにも繋がっている。
そのほかにも、コロナ禍でも可能なストレッチやヨガなどに取組む社員を好事例としてメルマガにて全社で紹介した。
また、本年はコロナ禍で実施できなかったが、毎年、ウォーキングキャンペーンや清掃活動をしながら歩数を競う家族参加型のイベントの開催等、健康を意識した生活をサポートしている。

Knt 仲間が広がる、旅が深まる 株式会社Knt クラブリズム

KNT-CTホールディングス株式会社



発達に障害や課題をもつ小中学生を対象に実施するサッカークリニックに社員がボランティアとして参加

発達に障害や課題をもつ小中学生を対象にサッカーを通じて「コミュニケーションの力を育てていく」ことを目的とした活動を実施した。当社グループの従業員が準備運動、ドリブルシュートの練習、ミニゲーム時に子ども達のサポート役として一緒にプレイしている。
2月から5月まではコロナの影響で中止していたが6月から再開した。コロナ感染防止対策として、ボランティアは活動開始前後に手洗い、消毒を徹底し、マスク着用のため、激しい運動は行わないなど、子ども達と1m以上の距離を保ち、ハイタッチやハグ、不必要な会話は避け実施している。

旅 京王観光

京王観光株式会社



補助金を支給した様々なスポーツアクティビティのクラブ活動/親睦を目的としたボウリング大会等を実施

コロナ感染防止対策の一環として、新たな社内コミュニケーションツールにオンラインを効果的に活用し、社内会議や社員研修を実施している。
さらに、社員の健康維持と親睦を目的として、ボウリング大会を例年実施。
また、今年は一部が活動が中止となったが、多様なスポーツとアクティビティのクラブ活動へ補助金を支給し、積極的に取組を行っている。



計機健康保険組合



万歩計歩数ランキング表彰/3密(密集、密閉、密接)を避けられるウォーキングイベントへの参加を推奨

職員の継続的な運動のために、3密(密集、密閉、密接)を避けられるウォーキングイベントを実施。
また、本年度はコロナ禍で中止となってしまったが、例年は野球大会、フットサル大会、ボウリング大会、テニス講習会等のスポーツイベントの開催やイベント参加を推奨している。

南東北グループ 医療法人財団 健真会 総合東京病院

医療法人財団 健真会 総合東京病院



エクササイズ動画を病院ホームページへ掲載

昨年度までグループの球技大会・運動会、病院の部活動(野球、サッカー・フットサル)を実施し、職員のスポーツ活動増進に向けて取組んでいたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は全ての活動を自粛しているなか、コロナ禍での運動不足の解消を目的に、職員・地域の方々へ向けて、エクササイズ動画を5種類作成して、病院ホームページへ掲載した。
また、院内の待合所においてエクササイズ動画を上映している。



医療法人社団 清泉会 山王リハビリ・クリニック



社内運動部の実施、マラソン大会への参加

2020年度の新規取組として、併設のメディカルフィットネスの協力でオンラインでのヨガ、ストレッチを提供している。
また、以前からの取組としては、山王リハビリ運動部の活動や、マラソン大会への出場を行っている。



高栄警備保障株式会社



**大会の開催に向けて、
少人数での練習を行う**

個々の大会の開催がなかったため、練習を行う日々ではあったが、2020年度の全日本空手道選手権大会では、日々の練習の成果を発揮し、個人3位入賞と実績を残せた。



公益財団法人 江東区健康スポーツ公社



**スポーツ振興・健康増進を
推進していく！**

職員の健康促進・コミュニケーションアップを目的とし、毎日の歩数を集計して「東海道五十三次徒歩」をセンター対抗で行っている。また、業務引継ぎのミーティングでは、効率性アップのためのスタンディングミーティングを実施して、ミーティング終了後はラジオ体操を行い、リフレッシュしている。



株式会社光和



**現役アスリートの採用を通じ競技支援/
スポーツ同好会支援/
免疫力向上ストレッチの講演・推奨**

アスナビを通じて新体操及び女子アイスホッケー競技のトップアスリートを雇用し、安心・安定して競技に打ち込めるように支援するとともに、所属アスリートを応援することにより社内の一体感を醸成している。また、安全衛生大会を通じ、「withコロナ社会での生活」として疲労回復・ストレス発散・集中力とリラックス効果をもたらすストレッチや運動に関する講演と実際に体験をし、日々実施することを推奨している。そのほか、本年度はコロナ禍で実施が出来なかったものの、社員の運動機会の提供のため社内スポーツ同好会活動を推奨し活動費用を支援することにより社員の健康増進と社員間の交流を深めている。



株式会社co-step



**法人と住人をスポーツで繋げた地域社会の構築/
完全在宅勤務移行に伴い福利厚生で
健康フィットネスアプリを全員配布**

福利厚生[co-sports制度]に健康スポーツアプリ使用の補助を認め、全員に支給し、完全在宅勤務中の健康管理を行った。5kg以上の減量に成功しコロナ前より健康になったスタッフも生まれた。また、町内活動コミュニティ「旭森モンマステニスクラブ」では、人との繋がりが増えたことにより、スポーツを通じた在勤・在住者の地域コミュニティの活性化を促し、地域と共に成長する企業のあり方、働き方を推進した。さらに、全社総括合宿にて、スポーツを恒例イベント化。チームに分れポイントを競い、優勝チームには1年間で貯まった会社フレカのポイントを使って体組成計などの健康グッズをプレゼントしている。



広友サービス株式会社



**オフィスで手軽な運動の実施など
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進**

デスクワークの合間でオフィスに設置した健康器具を使用し、リフレッシュ効果による作業効率アップとともに社員の健康促進を図っている。また、コロナ禍での在宅勤務者の増加により出社社員が少なくなる中、少人数で手軽にできるモルック競技をオフィス内で実施し、社員のコミュニケーションやスポーツへの参画意欲の増進を図っている。



広友物産株式会社



**昇降デスクの採用、朝礼前のラジオ体操や
サッカー観戦会など
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進**

昇降デスクを採用してリフレッシュ効果による作業効率のアップとともに座りすぎによる健康被害の防止など、社員の健康を維持している。創業時より実施している朝礼時のラジオ体操は、感染予防対策の在宅勤務者のリモート実施を含めて継続的に実施している。また、本年度はコロナ禍で実施が出来なかったが、会社が協賛する大分トリニータのウェイ戦(関東地区)が開催される際に、社員とその家族などによる観戦会を企画してスポーツへの参画意欲の増進を図っている。



株式会社ゴールドウイン



**私たちのミッションである
スポーツ・ファーストを実践し、人々の健やかで
楽しい、豊かな人生へとつなげていくこと**

従業員の健康維持のため、リモートでも出勤でもラジオ体操を実践。コロナ禍対応のため、3月より在宅勤務体制のシフトとなり、同時に毎朝恒例のラジオ体操を朝礼時に実施した。在宅・出勤者ともに継続中。緊急事態宣言の下、リモートワークにより外出や身体を動かす機会が減少、体重増加とストレス過剰の傾向にあると考えられるため、これを軽減するために朝のラジオ体操を実施することで、一日のリズムをキープ、健康維持を目的としている。また、社員専用健康サイト「ウェルネスポイント」を利用して、ダイエットチャレンジキャンペーン、ウォーキングキャンペーンを実施。運動不足、ストレス解消、生活習慣病の予防に努めた。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社



**『Sawayaka Style』
~100才でも元気な体を目指して~**

カンパニースポーツ(ラグビーとホッケー)や障害者アスリート社員の応援を通じて、スポーツにふれる機会を提供している。2020年はコロナ禍の影響により、運動の機会が減少し、コカ・コーラレッドスパークスラグビー部員による「自宅でも簡単に実践できるトレーニング」動画を配信している。そのほか、定期的なウォーキングイベント「SAWAYAKA WALK」の実施、どこでも誰でも出来る運動を奨励し、社員の健康増進、運動習慣の定着化を目指している。

KSW 国際ソフトウェア株式会社

国際ソフトウェア株式会社



楽しく歩くことを習慣づけるため 歩け歩け大会を実施

社員が個人別に歩数を競う「歩け歩け大会」を実施。健康診断の特定項目でC判定以下だった社員には特に参加を促し、2020年から在宅ワークを始めた社員も多かったため、運動不足の解消・気分のリフレッシュを呼び掛けた。

また、社内イントラで自重トレーニングを紹介し、室内でのトレーニングにもボーナスポイントを加算して、運動習慣の定着化に繋げた。

KONAMI SPORTS CLUB

コナミスポーツ株式会社



アスリートの社員雇用や運動・健康に関する 様々なノウハウを生かした スポーツ推進への取組

水泳競技部と体操競技部の活動を通じて、日本を代表するスポーツ選手の育成・輩出に取り組んだ。

また、次世代アスリートの育成やスポーツに取り組む子ども達の指導を行うなど、競技活動と就労の両立、アスリートのセカンドキャリアに対する環境整備を進めてきた。コロナ禍においては、外出自粛による運動不足解消のため、運動動画を無料で公開。ジュニア選手育成に向け、小学生から日本代表選手まで同じ舞台上で競うことができる「コナミオープン水泳競技大会」を開催し、ジュニアイマー達をサポート。さらに、従業員に対しては「FIFA全国スポーツクラブ駅伝」へ参加者を募るなど、積極的にスポーツ参加を促進した。

CS SPORTS

CSスポーツ ㈱コンディショニングサポートウイズ



毎月第一日曜日に社員全員で 【多摩湖月例マラソン大会】を開催し、 エチオピア孤児院に寄付を実施

参加費となる募金はNPO法人武蔵野倶楽部を通じて、エチオピアの孤児院に寄付をしている。弊社代表取締役社長がNPO法人武蔵野倶楽部として毎年エチオピアを訪問し、直接孤児院へ向かき手渡しして、子ども服・文具・生かすための資金を寄付。今年で18年目の活動となるが、今年はコロナウイルスの影響で行けなかった。

また、毎月第一日曜日に開催している多摩湖月例マラソンの開催を、3月からコロナの影響で控えていたが、10月より再開した。開催できなかった期間も、エチオピアのマラソンチームにアドバイスを送ったり、孤児院の子どもと定期的に電話で話をするなど活動を行っていた。

KOMPEITŌ

株式会社KOMPEITO



アスリート雇用や Y.S.C.C横浜スポンサー契約のほか、 オンラインでエクササイズを実施

F1リーグ所属「Y.S.C.C横浜」のプロフットサル選手や、ロードレーサー（自転車競技）などのアスリートを社員やアルバイトとして雇用。「Y.S.C.C横浜」とスポンサー契約を結んでいる。

そのほか、コロナ禍においてはフットサルの試合のオンライン観戦や、在宅勤務における従業員健康維持のため、オンラインでピラティスやエクササイズ等を実施。

また、自転車運動の推奨などを通して継続的な運動習慣の推進に取り組んでいる。

KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社



オンラインをベースとしたイベント開催を通じて 心身のリフレッシュを図り、 従業員の生産性・パフォーマンスの向上を目指す

専門インストラクターによるオンラインイベントの実施。筋力トレーニング&食習慣改善情報の「ウェルネスプログラム」(RIZAP社)や、ストレッチやエクササイズの「リフレッシュプログラム」(AW-Stage社)、それぞれの症状に適した「肩こり・腰痛・眼精疲労改善プログラム」(バックテック社)、ご自宅での作業環境の改善のための「作業環境オンライン相談会」(バックテック社)など配信。

そのほか、好みの場所や方法で参加できるバーチャルイベントを実施し、本格派やチャレンジ思考向けの「バーチャルマラソン」(ONETOKYO)や、気軽に自由な方法で参加できる「バーチャルウォーキング」(KONICA MINOLTA)を取組んだ。

コロプラ

株式会社コロプラ



パラアスリートの雇用と支援だけでなく、 社員が健康に働ける会社作りにも取り組む

2018年よりスタートしたパラアスリート採用は、2020年度に3名が加わり、全6名のパラアスリートの雇用を実現。練習内容や試合結果の情報共有や社員参加型の応援活動に加え、コロナ禍での在宅勤務で運動不足になる社員に対して、アスリート自らストレッチやトレーニングといった運動施策を提供。毎年行っているアスリートを交えたラジオ体操も、在宅勤務者を考慮に入れてオンライン開催を週2回継続的に行うことで、社員の心面での健康維持・向上を支援。

また、社員間コミュニケーションの活性化を目的に、ウォーキングイベントや自宅でも実施できる部活動制度を導入し、活用し、部活動では部員あたり月1,000円を補助。

SEARCH FIRM JAPAN

サーチファーム・ジャパン株式会社



従業員全員参加でラジオ体操を 実施するほか、アスリート社員の雇用及び 競技活動支援を実施

社内にて、朝礼時に従業員全員参加でラジオ体操を実施。社員の健康意識や活力向上を推進している。

また、100kmマラソンで世界選手権出場、世界記録更新を目指すランナーをアスリート社員として雇用している。選手の成績や取組の状況に応じて大会参加費や遠征費を補助するなど競技活動を支援。勤務体系については現役選手の間は競技活動を優先とし、仕事と競技の両立を応援している。大会の際には社内にて報告を行い、社員の競技に対する理解を深めている。

新しい日常下においても感染症対策を万全にし、従業員の健康とアスリートの雇用創出のため、取組を継続している。

SAISHO EX Cargo Service Transportation

サイショウ・エクスプレス株式会社



オンライン健康講習会/ オフィスヨガ

コロナ禍となってからは時差出勤で仕事の合間やランチの時間を活用してウォーキングを実施した。

また、10月にはオンラインでの健康講習会を実施。テーマは「缶コーヒーは悪魔の飲み物」として健康管理士より講話をいただいた。

さらに、以前よりオフィス内でヨガやラジオ体操を実施しており、今後はオンライン健康講習会として運動やストレッチなどを取り入れる予定。



サトーホールディングス株式会社



**オリジナルラジオ体操動画を活用した
オンライン会議体でのプレゼンテーション
対策とコミュニケーション施策**

2020年度のサトーグループ新規取組として、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底とプレゼンテーションの対策を推進するため、可能な限りのリモートワーク推奨・オンライン会議システムの活用徹底(多人数参加の重要会議含む)・サトーグループオリジナルのラジオ体操動画を複数作成し、全国事業所でのオンライン会議体等でリモートラジオ体操を推進している。

また、以前より継続的に行っている取組として、近年春季・秋季年2回実施するウォーキングイベントを今年は秋開催で1カ月間隔にわたり昨年比1.3倍の参加者で実施。身体活動の機会を安全対策を施しながら継続提供している。



株式会社サニーサイドアップグループ



**オンラインヨガ教室・ラジオ体操など、
離れていてもスポーツに取り組める施策を実施**

社内公認クラブ活動に対し、費用の一部を部費として補助している。現在公認クラブとして、フットサル部、野球部、ゴルフ部、東京ランナーズ(ランニング)部、テニス部などが、メンバーの健康管理に十分配慮した上で活動している。

また、毎月の月間平均歩数が「10,000歩」を超えた社員に、月間健康奨励金【3,200円】を支給している。

さらに、オンラインを活用し、外部トレーナーを招いた「オンラインヨガ教室」や、社員メンバーが自主的に「オンラインラジオ体操」などを実施。外出自粛によって、体を動かす機会や社員間のコミュニケーションの機会が不足していた中、メンバーの「スポーツをする機会」を創出している。



サンウィン株式会社



**自転車通勤・徒歩通勤を行い、
健康で新しい通勤方式への変換**

リモート業務が増えたことによる運動不足の解消と、通勤時の3密を避けることによる健康維持を目的として、自転車通勤と徒歩通勤を推奨する新制度を設立。

また、生活の一部に身近なスポーツを取り入れるため、「週末スポーツ観戦会」を企画している。



サンシン電気株式会社



**毎月オンラインにて「健康筋力養成コース」開講、
また、身近な運動として階段利用を推進**

2019年7月から毎月1回、プロのトレーナーによる「健康筋力養成コース」を開講していたが、コロナ禍で2020年4月～5月は開講できなかったものの、2020年度の新規取組として、6月よりオンラインにて再開。6月～11月の開講で、従業員34名中、延べ66名が受講した。

そして、継続的に行っている取組として、お客様とご一緒の時以外は、原則、全社員のエレベーター利用を禁止し、階段を利用している(身体的負担がある場合を除く)。

また、普段の生活の中でも、駅などのエスカレーターやエレベーターを利用せず、階段を利用することを推奨し、実践している。



株式会社サンアメニティ



**地域のスポーツイベント参加のほか、
様々な機会を活用した
小活動の積み重ねを推奨**

これまで、社員の勤務あるいは居住地域におけるスポーツイベントへの選手やボランティアスタッフとして自発的で積極的な参加を推奨してきた。しかし、今年はコロナ禍でイベント減少の中、個人での自主的な運動やトレーニングの継続のほか、少人数でのラジオ体操やアプリを利用したランニングやウォーキングの実施、階段の利用、自転車通勤などの地道な小活動の積み重ねを推奨してきた。そのほか、当社の委託や指定管理者として運営するスポーツ施設などの社員利用に対する補助金制度を設け意欲高揚に取組み、これらの様子を社内ネットワークで情報共有して、個人個人の健康増進の意識を高め、スポーツ振興に努めている。



医療法人社団 三医会



**健康増進のために
自転車及び徒歩の通勤を促しつつ、
感染予防のためマスクの着用の徹底**

なでこ2部リーグのサッカー試合を基本毎週行っており、職員通用口にて試合日を告知し、観戦の機会を設けるようにしている。

また、車通勤者や送迎バスを利用している職員に対して自転車並びに徒歩(駅から含め)にて通勤経路を変更(もともと自転車・徒歩の職員も同様)した場合、健康手当を支給。

本年はコロナ禍で行えていないが、例年だとフットサル、バドミントン、卓球など職員スポーツ活動を支援している。



株式会社GA technologies



**大学生サッカー選手のサポートプロジェクト
Football Assistへの支援**

Football Assistは、世界で活躍する現役プロサッカー選手の大津祐樹選手と酒井宏樹選手が発起人となり立ち上げた、大学サッカー部の活動を現在の部活動から将来のキャリア選択までと長期的に支援するプロジェクト。アスリート経験のある社員が多く存在するGAテクノロジーズでは、「スポーツで培った経験はビジネスにも活かす」と社員のスポーツ活動を支援するだけでなく、これから社会に出る未来のビジネスパーソンたちを応援するため、大学生の部活動とキャリア選択を共にサポートするFootball Assistの支援を行っている。



JKホールディングス株式会社



**社内スポーツ活動の奨励及び階段利用、
スタンディングミーティング等
健康増進のための活動を実施**

社内のスポーツ活動(フットサル、野球、ヨット、ゴルフ)に対して、活動の補助を目的として毎月一定の支援金を提出するとともに、活動結果を社内報に掲載する等、社内への浸透を図っている。コロナ禍においては、実施の際は会話を控えめにする・車の乗り合わせを避ける・手洗いを頻繁に行うなどの感染防止策を徹底した上で行っている。

また、徒歩通勤、1日歩行数の目標設定及び計測、階段利用、スタンディングミーティングを推奨し、社員の健康増進活動の推進を図っている。そのほか、東京6大学ヨット部秋季定期戦(JKHDKカップ)の協賛企業として大会費用の一部を支援している。



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB



アスリートの雇用や支援等を通じたスポーツ界への貢献

フェンシング男子フルール日本代表の松山恭助選手やパラアルペンスキーマの障害者アスリート小池岳太選手を雇用するなど、日々スポーツ界への貢献に取り組んでいる。



株式会社JPホールディングス 東京本部



部活動支援などにより社員の健康増進をサポート

社員の健康増進として、フィットネスクラブの利用促進、スポーツを楽しむ部活動支援などを実施している。



株式会社ジップス



障害者向けインラインスケート教室の開催及びオフィスヨガレッスンの実施

障害者向けインラインスケート教室を月1回、知的障害、発達障害、ダウン症の子どもを中心に実施。
また、コロナ禍で在宅勤務中の社員も多いため、オンライン配信によるオフィスヨガレッスンを実施している。



清水建設株式会社



パラスポーツの普及に貢献

パラスポーツのポッチャを気軽に楽しむことができるデジタル競技システム「CYBER BOCCIA S」の開発に協力。多言語での音声と画面表示によるナビゲーションシステム「マルチンガルナビ」を搭載し、より気軽に体験できるスポーツへと進化を遂げた。
今後も引き続きパラスポーツの普及に貢献するとともに、誰もが輝き続けられるインクルーシブな社会の実現を目指す。



ジェイレックス・コーポレーション株式会社



新たな運動習慣の推奨とアスリートのセカンドキャリア支援

コロナ禍でスポーツ研修で利用していたジムの利用を控え、代わりに社内でワークアウトアプリを使った筋トレを導入。さらに外出自粛による運動不足解消のため、全社員リモートで行うラジオ体操を導入した。
また、通勤時の感染リスクを回避するため、徒歩や自転車での通勤を推奨し新たな運動習慣の取入れを促すことにも繋がった。夏場のマスク着用による熱中症対策として、ポロシャツでの勤務を可とするにあたり自社公式ポロシャツを全社員に配布し、徒歩通勤時やスポーツ研修での利用も促した。
そのほか、アスリートのセカンドキャリア支援として、業界や業種未経験者の積極採用を行っている。



株式会社じげん



コロナ禍におけるリモートでの朝のラジオ体操で心身の健康を促進、休日は部活動支援

コロナ禍におけるリモートでの朝のラジオ体操の実施。参加は自由。緊急事態宣言発令に伴い、全社在宅勤務体制になったことを踏まえ、人事が主導となり全社向けに実施。在宅勤務に伴う運動不足解消を目的としてスタートしたが、新卒入社した社員同士、都道府県をまたいだ移動も自粛される中であったため、本社と拠点間(名古屋・大阪・福岡)のコミュニティの架け橋を担った。
また、「わくクラブ」という制度で社員のクラブ活動を支援。現在は少人数かつソーシャルディスタンス、感染防止を徹底しながら、ゴルフ、サバイバルゲームなどの運動部が積極的に活動を行っている。



株式会社シモン



新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、社員一人一人が楽しく健康づくり出来る環境を提供出来る様心がけを実施

毎週水曜日の朝にラジオ体操の音楽を本社ビルに流し全社員で行っている。室内の喚起・マスク着用・ソーシャルディスタンスを保ち感染予防対策をしっかり行った上でラジオ体操を継続している。
また、スポーツ補助金として、有志が集まってスポーツをする場合、申請の手続きを行うと1人につき1,000円を支給する。
今後も新型コロナウイルス感染予防対策をしっかり行い、開催出来るイベントの募集を行っていく。
そのほか、なるべく階段を使うように推奨している。10階ごとにカロリーと応援メッセージを表示。積極的に階段を利用する社員が増え、現在も継続し取組んでいる。



株式会社JALサンライト



職場のウェルネスリーダーを中心に従業員のスポーツ活動(Zoomによるラジオ体操、ヨガ教室)を促進

コロナ禍、運動不足に陥りがちな在宅勤務者が自宅から参加できるようにZoomにて「ラジオ体操」や「椅子ヨガ教室」を配信し、社員のスポーツ活動を推進。特例子会社として、障害のある社員が安心して参加できるように日本航空健康管理部と連携して、障害に配慮したオンラインでのスポーツ活動を積極的に実施している。



JAPAN AIRLINES

株式会社JALスカイ



オンライン利用の情報配信やフィットネス、ラジオ体操の開催等による
コロナ禍においても健康促進を継続

Wellnessリーダーを中心に職場単位での「本気の!ラジオ体操」やヨガセミナー、腰痛・肩こり予防セミナー、ウォーキングなどを通して社員がスポーツに触れる機会を積極的に企画・開催することで、航空機の運航にあわせたシフト勤務が多い中でも、社員がいつも健康で笑顔あふれる職場作りを推進している。

今年度は、コロナ禍の中で団体スポーツを実施することが難しくなったが、個人でも継続的に取り組めるアプリを活用し、部署対抗ウォーキング大会やアスリート社員との健康増進交流会を企画するなどオンラインで工夫しながら多くの社員が参加しやすい環境を設定し、実施した。



株式会社JALUX



スポーツイベント参加・
ウェルネスセミナー実施・文体会活動を推奨し、
健康増進を推進

コロナ禍で社員が運動不足にならないようストレッチ・運動動画の配信やオンラインと集合を併用し三密を回避したウェルネスセミナーを実施。社員の運動機会増進として隙間時間でのストレッチや階段利用の推奨を行い、活力や生産性向上による組織の活性化を図っている。

また、文体会活動の推奨・支援を行い社員同士のコミュニケーション促進し、スポーツを通して良好な関係を構築している。



出版健康保険組合



スポーツ大会等の実施と健康増進のため
スポーツ環境の提供

本年度は全大会が中止となったため、代替えとしてスマホウォーキングを実施。

また、手軽な運動として「自宅でできるストレッチ」などを機関誌・HP等で配信している。

なお、スポーツクラブと法人契約し、身近にスポーツが出来る環境作りを行っている。

さらに、自前のスポーツ施設である体育館等を都民に貸し出しを行っている。



城北信用金庫

城北信用金庫



講演会・運動教室を通じた地域の
スポーツ振興支援

競技種目や活動拠点の異なるアスリート職員たちが、ひとつのチームとして活動し、地域社会とのコミュニケーションを深めている。

例年は地元小中学校で講演会や運動教室を開催しているが、本年は対面での交流が難しくなったため、特設サイトの充実力を入れた。

特設サイトでは、アスリート職員がブログで近況報告や応援メッセージを発信するほか、「おうち de アスリート」と題した新コーナーにて自宅でできる簡単エクササイズや競技目標動画を公開するなど、コロナ禍でもアスリート職員を通じてスポーツを身近に感じてもらえるよう工夫している。



JAPAN AIRLINES

株式会社JALナビア



各事業所に所属するWellnessリーダーを
推進役に社員の健康増進に向けて
イベントを企画実施

Wellnessリーダーを中心に、コロナ禍でも安心して参加できる企画を考え実施し、社員の健康増進に努めている。

「正しい歩き方講座」では、何も考えずにダラダラ歩くのと正しい歩き方で歩くのでは疲れ方が違うため、歩くことから健康を考えようというのをテーマにWalking促進と運動不足解消を目指した。

また、「セルフマッサージ」、「快眠リラックスヨガ」のオンライン講座では、免疫力向上、肩こり・目の疲れ解消が期待でき、自分でできるマッサージを学び、健康維持のために睡眠が大切だということを学んだ。

そのほか、テレワークや日々の受電による疲労対策に活かせる様々な講座を実施した。



株式会社ジャルパック



社員の半数以上が在宅勤務の環境下においても、
オンラインによる一斉ラジオ体操を実施

朝礼や1カ所に多数人が集合しての講習等の実施が難しくなり、今まで実践できていた取組の一部は継続が困難となった。

また、社員の半数以上(約6~8割)が在宅勤務と、就労環境も大きく変わったが、厳しい環境下でも「スタンディングミーティングの実施」や「階段利用の奨励」など出来ることは継続するとともに、難しいと思われる取組についても試行錯誤しつつも、形を変えて実行できないか検討し一部の取組を実現することが出来た。

その中でもオンラインツール(Zoom)を使用した「Zoom de (で)ラジオ体操」は、毎週1回実施し開始から9ヵ月余り、現在に至るまで継続されている。



株式会社シンカーミクセル



新しい日常に際して、個人単位でできることを模索。
自動販売機と専用アプリでの
ウォーキング推奨、自宅での運動推奨を実施

本社移転を機に自動販売機の社内導入を実施。自動販売機と連携できる専用アプリにて、ウォーキングをするとポイントを取得・自動販売機で交換可能。ウォーキングの推奨に活用し運動不足の解消に役立てた。

そのほか、新しい日常に際して、ラジオ体操等の自宅での運動推奨やダイエット企画の検討実施を行った。

また、本年はコロナ禍で中止となってしまったが、例年では月に1~2回程度、フットサルから散歩など多様なスポーツイベントの開催を行っている。その中で、マラソン大会への積極的な参加も、社内的一大イベントとして盛り上がっている。



株式会社 シンク

株式会社シンク



"スポーツで育む防災力"をコンセプトとした
「防災スポーツ/防リけ」を
従業員及び家族向けに開催

当社サービス「防災スポーツ®」の体験プログラム「防リけ®」を従業員及び、その家族向けに会場の換気や備品の消毒を徹底し、感染症対策を行った上で開催した。

スポーツとして取組むこと(遊戯性、運動、競争性)で防災について身体で覚えることにつながり、昨今の災害の多い状況で防災意識向上及び家庭での災害への備えの行動につなげると共に、健康意識を高め、日常のスポーツ実施(体力の必要性の認識)につなげることを目的に開催した。



株式会社THINKフィットネス



モチベーションを上げるための工夫をこらした自宅でもできるトレーニング動画を紹介

自宅でも強度を変えてできるトレーニングとして「プッシュアップチャレンジ」の動画を配信。動画の出演者は全社員が対象で、選ばれた各部署の社員がゴールドジムの大澤直子トレーナーに挑んだ。
また、自宅でもできる筋トレ講座「ジムへ行けないあなたへ」をポディビルチャンネルの鈴木雅アドバンストレーナーが動画で徹底指導。社内外に発信した。本社では、日本フィットネス産業協会の「新型コロナウイルス感染拡大対応ガイドライン」に沿って、週に1度のフィットネスアワーを再開した。
また、感染拡大防止のためしばらく活動を休止していた当社クラブチームは、各種競技団体のガイドラインに沿って、6月から活動を再開した。厳しい状況下でも、トレーニングを継続することにより、社員同士が心を合わせて、モチベーションを高め維持することができた。



信号器材株式会社 東京支店



日本卓球リーグに参戦・卓球教室の実施

実業団連盟の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し日本卓球リーグに参戦した。
また、派遣選手の抗体検査を実施したうえで地域貢献活動として卓球教室を開催した。



株式会社スタイル・エッジ



グループ会社所属のプロトレーナーによるオンラインスポーツイベント実施等

新型コロナウイルス対策のため、2020年3月より原則的にリモートワークを継続しており、例年開催しているスポーツイベントについてはZoomを用いたオンラインでの実施とした。実施プログラムについてはグループ会社所属のプロトレーナーの協力のもと「自宅でもできる！運動不足解消～簡単体幹トレーニング～」とし、リモートワーク時における運動不足を継続的に解消できるものとした。
そのほかにも、リモートワークによる運動不足解消を目的に定期的にヨガイベントをオンラインにて開催している。



株式会社STEAM Sports Laboratory



スポーツを通じて生きる力を

アスリートのセカンドキャリアサポートとして、ラグビー人制元日本代表石川安彦選手を雇用している。

その人生と共にいつも。svenson GROUP

株式会社スヴェンソンホールディングス



卓球選手への支援・大会協賛/社員の運動不足解消への取組

日本卓球協会・日本肢体筋力者卓球協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、卓球男子日本代表・パラ卓球男女日本代表へのウェア提供を実施。日本代表 丹羽孝希選手・パラ卓球日本代表 茶田ゆきみ選手と所属契約。パラ卓球日本代表選手に対し練習場の提供・育成指導を行い、遠征や合宿にコーチとして同行。高齢者や身体に障害のある方向けのプレー方法の提案や健康卓球イベントを定期的に開催し、幅広い世代に卓球を浸透させる取組を実施。
また、コロナ禍の中でも運動不足を解消できるよう、自宅で行う健康法などを紹介する「STAY HEALTHY」を開始。



SK8INSOLL株式会社



Zoomや動画共有で、4月の自粛期間にインラインフィギュアスケートの練習を屋外で、9月はアイススケートリンクで実施

新規取組は、Zoomや動画を活用したスケート練習。スケートリンクが閉鎖し、練習を継続するモチベーションを維持するのが難しいため、企業内で動かし合い今出来る練習活動を継続した。
また、例年参加している軽井沢風越カップに向け社内で協力して練習活動を継続した。お互いどうしたら優勝できるかアドバイスしながら練習をしたため、工藤和彦氏と代表の名取良子の2名が各部門で優勝した。
そのほか、通常5月にドイツ、10月に北米で国際スケート連盟アダルトフィギュアスケート大会があり、弊社の社員は参戦しているが、今年は試合中止となってしまった。そのため、来年に向けての練習を実施している。



株式会社スパイス



オフィスに、バランスをとって、良い姿勢を意識できる椅子「ジェリーフィッシュチェア」を導入

社員の椅子に「ジェリーフィッシュチェア」を導入している。この椅子に座ってバランスをとろうとすると、無意識に普段使わない筋肉を使い自然に腹筋・背筋を鍛えられる要素がある。また、バランスをとろうとすることで自然に正しい姿勢に導かれる。楽しい座り心地なので無理なく継続できる。
今年度はコロナ禍により、在宅勤務の機会が増えた。テレワークでもジェリーフィッシュチェアを利用して無意識に良い姿勢を保つことにより集中力を高め仕事の効率アップにつながった。



株式会社スポーツインダストリー



ゴルフを中心としてスポーツ会社らしいゴルフコンペやスポーツ活動を推進

3年前より自社開催イベントとして、スクランブル競技大会(ダブルス戦・チーム戦)を主催している。社内コンペでもスクランブル方式を取り入れ、普段以上のコミュニケーションを図る場として利用。今年はコロナ禍で実施できなかったが、初心者～上級者まで幅広く楽しめるスクランブル方式は、ゴルフが上手くない人でも楽しんでゴルフができるため、これを機会に本格的にゴルフをはじめた人も多く、ゴルフだけでなく会社をあげて社員のスポーツ活動を推進する環境が整っている。



スポーツコミュニティ株式会社 東京支社



社内のスポーツ活動の奨励や活動に対する補助金の支給

スポーツに関わる部活動に対する推進を、毎日の朝礼や毎週の全体会議で促進している。
本年度は新型コロナウイルスの影響もあり、部活動支援の活動は制限をされる結果となったが、その分、オンラインを利用した運動方法や、自宅で作れる柔軟運動やからだ作りなど、新しいスポーツのかたちに取り組む活動が盛んにおこなわれた。
また、休業期間が明けた7月ごろから月に2回ほどのペースで話し合いや意見交換を行い、実際に身体を動かす機会が設けられた。



株式会社スポーツビズ



社員スポーツ活動への支援

社内スポーツ活動促進制度(テニス・野球・ゴルフ等)を実施。発起人が随伴ごとに全社員へメールで開催日時や内容を告知して参加者を募集したうえで、毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は部員がより多く参加できるように業務の調整を心がけている。
また、施設利用等の費用の一部を会社で負担するなどして、社員のスポーツ活動を支援している。
さらに、本年度は、利用する施設の感染予防対策を厳守、当日の参加者の体調確認の実施、屋外での活動を積極的に行なうなど、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながら本制度の運用を継続している。

あなたの未来を強くする



住友生命保険相互会社



ウォーキングイベントの継続実施と「parkrun」参加推奨/オンライン運動プログラム提供と親子スポーツイベント開催

各部署でチームを作り平均歩数を競い合うウォーキングイベントを継続実施。スマホアプリ健康増進サービス「kencom」を導入し、みんなの歩数を共有することで励ましあいながら楽しく取り組むほか、スニーカー通勤も推奨。
また、毎週土曜の朝、公園等で5キロのウォーキング、ジョギング、ランニングまたはボランティアができる参加費無料イベント「parkrun(パークラン)」に協賛し、職員の参加も推奨している(コロナ禍で中止していたが10月から再開)。
コロナ禍による運動機会減少等への対策として、有名アスリートや有名声優による運動動画・コンテンツを配信。例年開催の親子スポーツイベントはオンラインで実施している。



住友不動産エスフォルタ株式会社



社内部活動の自主トレーニングへの切替え/アスリート社員に対する活動支援

コロナ禍で、各スポーツ部の大会が中止となったため、感染防止を第一に考えながら各社員自主トレーニングに切替えて実施した。
アスリート社員に対しては、競技成績や取組に応じて、大会参加費や遠征費の補助を実施している。
また、勤務シフトの調整や担当業務の分担を工夫することで、練習機会の確保と大会参加を促進しており、お客様や若手社員のロールモデルにもなるため、支援制度を設けている。



株式会社スポーツフィールド



デュアルキャリアアスリートの雇用雇用創出の支援

自社社員の9割以上が体育会出身ないしは元アスリートの当社では、デュアルキャリアアスリート(スポーツと仕事の両立)が複数在籍するほか、デュアルキャリアアスリートの雇用促進を目指し、事業としても採用支援を行っている。
また、本年はコロナ禍で中止となってしまったが、毎年4月の入社式後には運動会を全社員で実施するほか、社内部活動の奨励など、企業活動の中で日常的にスポーツへの理解を深めている。

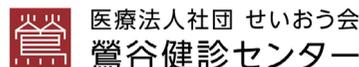


株式会社スマートスポーツエンターテイメント



地元の東京都板橋区出身の野球選手へのサポートや、選手主催のバレーボール大会への協賛支援などを実施

地元の東京都板橋区出身で独立リーグに所属する野球選手へのサポートや、選手主催のバレーボール大会への協賛支援などを行った。
またアスリートを招いた地域の子ども向けのスポーツ教室なども実施。スタッフやアスリート、取引先と共にランニング、スキーなどのスポーツを楽しんだり、観戦したりする機会を設けている。
スポーツ業界の横のつながりを作るための業界交流会を定期的に開催している。



医療法人社団 せいおう会



階段の利用を促進し、コロナ禍での運動不足を解消!

社員の健康維持のため、エレベーターの利用を控え、階段を積極的に利用するよう推奨している。全ての階に、階段昇降による消費カロリー表を掲示しており、活動量UPへの士気を高めている。
また、エレベーター利用による3密を防止することで感染予防にもなっている。
本年はコロナ禍で中止となっているが、例年は高尾山ハイキング・星居ラン・ボウリング大会を実施している。



セコム医療システム株式会社



アプリによる健康チャレンジキャンペーンで歩数・運動対決、立ち会議で活気ある職場作り

運動促進・健康支援として健康アプリによる「健康チャレンジキャンペーン」を開催し、「歩数」と「健康スコア」を競い合い、上位者を表彰している。
また、医師による「健康ミニ講座」を開催し、講義や瞑想、体操を実施している。
さらに、令和2年3月以降は健康アプリの「肩こり解消ストレッチ」動画で、健康体操の情報を提供している。
そのほか、年1〜3回、ボウリング大会やゴルフ大会などを開催している(令和2年はコロナ禍で中止)。職場環境改善としては、令和2年度からは立ち会議机を3台に増設し、デスクワーク中心による身体機能低下の防止・立ち歩きによる適度な運動を促進している。
また、階段へ昇降時の消費カロリーを表示している。

zetton®

株式会社ゼットン



スポーツを通じて、社員間のコミュニケーション促進や健康管理をサポート

毎月1回、神奈川県片瀬海岸西浜にてビーチクリーンを実施。地域への社会貢献や、清掃活動を兼ねたウォーキングによる健康促進や心のリフレッシュ、社員間でのコミュニケーションの場にもなっている。

また、社内SNS「TUNAG」を利用して、社員それぞれが部活を立ち上げ、活動に伴う活動費の申請や、練習等の活動報告を行っている。部活例として、バスケットボール部、ドッジボール部、フットサル部、卓球部、ランニング部など。新しい世の中に向けたガイドライン「zetton PROMISE」を設定。お客様だけでなく、全てのスタッフが安全安心に日々運営していくために、このガイドラインを店舗及びオフィスにおいて毎日徹底している。

守りの名手 セノン SENON

株式会社セノン



スポーツ活動を通じた社員の心と身体健康促進

社員の健康維持・向上を目的とし、ウォーキングやランニング、ラジオ体操を実施することにより、社員の運動不足解消に繋げている。

また、継続した運動を取り入れることによりBMI数値の軽減や、喫煙者に対しては健康意識の向上による禁煙推進に取り組んでいる。

そのほか、会社公認の部活である野球クラブ・剣道クラブは、コロナ禍に伴い活動を制限されたが、野球部は9月に区民総合体育大会へ参加。剣道部は10月に稽古を再開。なお、本年はコロナ禍で中止となってしまったが、毎年、支社対抗野球大会・全国ボウリング大会の開催や、プロ野球チームの当社冠試合に社員やその家族の招待をしている。

Cerrotorre

セロトーレ株式会社



オンライントレーニングの活用で、新しい日常下でもスポーツを楽しむ

ストレッチやインドアバイクトレーニングなど、オンラインを活用したトレーニングを実施。

テレワークが終われば、さっと着替えてトレーニングモードに。新しい日常だからこそ、新しいスタイルでスポーツに取り組んでいる。

CENTRAL CENTRAL SPORTS

セントラルスポーツ株式会社



アスリートの雇用と障害者水泳教室の開催、毎年夏季実施の着衣水泳教室は座学に切り替えて実施

世界を目指すアスリートを雇用し、社内におけるサポート体制を構築。パラスポーツの普及推進に向けて、障害者水泳教室を開催し、パラアスリートの育成・サポートも実施している。

毎年夏季には、子ども達の命を守る「着衣水泳教室」を全国の小学校で開催、今年度は新型コロナウイルスの影響でプールでの実技指導が不可能であったため、座学に切り替えて開催した。

BANK セブン銀行

株式会社セブン銀行



障害者スポーツの支援

視覚障害者に柔道の普及を図り、社会的自立をサポートする、NPO法人日本視覚障害者柔道連盟に2019年より協賛している。

※写真は平成31年に参加した駅伝大会の様子

セレスポ

株式会社セレスポ



「する・観る・支える」角度からのスポーツ推進

社内クラブ活動の支援制度を導入し、社員がスポーツを「する」環境を支援している。

また、本年はコロナ禍で実施が難しかったが、弊社の陸上部所属選手の大会応援やその他スポーツ大会へのボランティア参加などを呼びかけたり、見識を深めるきっかけとして定期的なパラスポーツ体験会や啓発セミナーの開催も行っている。

CSP

セントラル警備保障株式会社



社員の健康維持、増進を図るためスポーツ活動を支援

社員の健康増進及び心身リフレッシュのため、毎日15時から各職場でラジオ体操を実施。

また、剣道、柔道等への部活動支援や、本年度はコロナ禍で中止となってしまったが、例年、全社ボウリング大会や野球大会を開催してスポーツを通じて社員の融和を図っている。

ANA

全日本空輸株式会社



運動と笑顔は世界共通！グループ独自に制作した「ANAグループ体操」は世界各地に翼を広げています！

心身ともに健やかな社員の笑顔がお客様に満足いただけるサービスにつながるとの信念の下、独自に制作した体操動画「ANAグループ体操」を活用し継続的に社員の健康増進に取り組んでいる。

令和2年度は、海外支店社員からの「海外でも実践し、世界中のお客様に笑顔を届けたい」との声から「ANA Group Taisou (英語版)」を制作した。「ANA Group Taisou」を世界各地で実践するとともに、健康アプリを活用した「WEBウォーキング大会」の開催などを通じ、コロナ禍においてもオンライン環境の定着を最大限活かし、国内のみならず世界中でANAグループ社員が運動の習慣化に向けた取組を実践している。

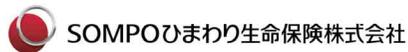


総合警備保障株式会社



**オリンピック等によるオンライン型スポーツ教室や
おうちでできるトレーニングを配信**

「オンライン型スポーツ教室の開催」として、ALSOKに所属するレスリング 伊調馨選手、柔道 中矢力選手、ウエイトリフティング 松本湖穂選手が9月26日に「オンライン型ALSOKスポーツ教室」を実施した。なお、当日の様子をALSOK公式YouTubeチャンネルで公開している。また、「YouTubeチャンネルでの情報配信」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛による運動不足の解消に役立てていただけよう、所属アスリートが出演する「おうちでできる! トレーニング」を、ALSOK公式YouTubeチャンネルにて公開をスタートした。



SOMPOひまわり生命保険株式会社



**健康応援企業としての
社内外の取組**

ウェアラブル端末を活用した部門間のウォーキング対抗戦やクアオルト(ドイツ語で療養地の意味)プログラムの導入により健康経営を推進している。また、オンラインフィットネスやオンラインウォーキングイベント「日本橋テレウォーク」などの情報発信を行い、自宅でもできる運動の取組を支援している。社外に向けては、障害者スポーツの普及・発展に向けた活動支援を目的とした障害者カヌー・パラサイクリングへの協賛や、お散歩アプリ等の健康管理アプリを提供しており、社内外に向けて、スポーツ実施・支援の取組を推進している。



株式会社第一テクノ



**部活動の積極支援及び毎日始業前に
ラジオ体操・午後3時にストレッチ体操を励行**

社員全員が毎日始業時にラジオ体操を、午後3時には館内放送される音楽に合わせてストレッチ体操を行っており、館内を移動する際には、上へは2階まで下へは3階まで階段を利用している。また、令和2年6月に野球部を発足。部活動の積極支援を行う事で社員のスポーツ推進・健康増進を図っており、週に1度の練習と2週に1回程度の試合出場をしている。社外においては、本社所在地である品川区が主宰する「団体 de しな助」に登録し、区が主催するスポーツ関連イベントにも積極的に参加している。



大樹生命保険株式会社



**各所属単位で独自のウォーキングイベントを
実施する等「歩くこと」が定着**

緊急事態宣言が発令された直後の社内報で、社内の看護師から在宅勤務時に役立つストレッチなど案内。各所属ごとに朝、15時など時間を決めてラジオ体操・当社独自のパワーアップ体操を実施。コロナ禍で休止している所属もあるが、営業部などではソーシャルディスタンスを確保して行っている。また、2019年10月にウォーキングアプリを導入し、昨年度は所属別の対抗戦を開催した。今年はコロナ禍で全社での対抗戦を実施できていないが、所属により部署内の大会を開催している。そのほか、今年度より、所属ごとに「健康プラン」を作成しており、多くの所属で歩くことを目標とし、当アプリを利用して実践している。



ダイヤモンドヘッド株式会社



**社員のスポーツ大会・イベントへの参加支援/
プロスポーツチームへの活動支援**

今年、感染対策を十分とり、唯一実施できた社内フットサルチームの自主的活動に対する支援を実施のほか、今年はコロナ禍で中止となったが、例年実施しているフットサルやマラソン大会への参加など、社内クラブ活動を積極的に支援し健康増進を図っている。また、サッカーJ1リーグ所属「北海道コンサドーレ札幌」のオフィシャルパートナーとして、スポーツの振興に貢献。試合には、社員はもちろん、その家族や友人など、会社ぐるみで応援している。今シーズンは、コロナ禍の影響で観客数限定の中だったが、会社のサングスマッチでは大勢が会場へ詰めかけた。

一生のパートナー
第一生命



第一生命保険株式会社



**「健康第一」アプリでQOL向上!
社員の健康増進と地域・社会への貢献に取組む**

健康保険組合とのコラボヘルスを積極的に実施している。「健康第一」アプリを活用し、ストレッチ動画の配信や歩数などの運動習慣を記録することでポイントが貯まり健康グッズに交換できる社員インセンティブ制度を推進している。また、「つながり・絆」を大切に考え、地域・社会への貢献を目的として社員の歩数(年間合計)に応じた寄付等を行う「QOLプロモート〜歩こう! 健康QOL!〜」を実施し、社員の運動習慣醸成と社会貢献に取り組んでいる。そのほか、例年参加のチャリティウォークは中止となったが、個人でもできるウォーキングに着目し、事業所単位でウォーキング対抗戦を開催するなど、コロナ禍においても継続して健康増進に力を入れている。

たてものを、いきものに
LIVZON

大成温調株式会社



**毎朝のラジオ体操で社員の健康増進、
社内スポーツサークルの活動支援、
毎年2回ウォーキングキャンペーン実施**

毎朝、全部署でラジオ体操を行い社員の健康増進に取り組んでいる。また、社内サークル制度を整備し、全国各拠点にてランニング、野球、ボウリングなどのサークル活動を展開している。さらに、毎年春・秋にウォーキングキャンペーンを実施し、3か月平均1日8,000歩以上歩いた従業員を表彰し、ポイントを付与している。



株式会社ダイテックス



**アスリートの雇用、競技支援及び両立応援、
競技普及活動、社内外サイトでの情報発信**

テコンドー選手2名と陸上選手(走り高跳び)1名の競技をサポートし、仕事と競技の両立を応援している。出場大会には社員が会場まで足を運び選手を応援しており、コロナ禍で直接会場に行けない場合は各オフィスでライブ配信による応援を実施。また、試合の速報や応援の様子、選手たちの日々の活動などは社内外サイトにて積極的にPRしている。



大東建設不動産株式会社

大東建設不動産株式会社



**新型コロナウイルス感染症対策を徹底し
クリケット競技を通して
体力づくり等の新しい取組を実施**

クリケット競技を実践している各学校での指導を感染拡大防止のため、リモート等での指導やアドバイスを加えるなど工夫を凝らし取組み方を提案。
また、社内の取組としては、運動不足にならないよう自転車通勤や弊社ビルや駅の階段利用を推進し、現在も実践している。



大東建託パートナーズ株式会社



**「健康経営」の一環として、コロナ禍でも
従業員がスポーツに親しめる環境づくりを工夫**

毎朝9時から全社でラジオ体操が定着しており、コロナ禍のテレワーク時でも出社時でもソーシャルディスタンスを保って実施している。
また、毎月ラジオ体操と肩こり・腰痛予防のためのストレッチを紹介し、社員の運動への意識付けを継続している。2020年度はコロナ禍の3密を避けるため個人参加のみの開催になったが、ウォーキングラリーへ参加した。
そのほか、2015年度からトップアスリート雇用として陸上競技の大宅楓選手の支援を継続している。今年度は陸上部応援ツアーを組めなかったが、大宅選手の活躍を社内報で共有することにより、社員のスポーツへの関心向上のための活動を開始した。



株式会社タクト・マシン・サービス



**通勤時やテレワーク時の運動を推奨し、
イベントへの参加を会社として推進**

関東17ソフトウェア健康保険組合が開催しているスマホアプリの「ヘルスケア」を活用したウォーキングイベント「MY HEALTH WEB スマ歩ウォーク 2020秋」の参加や、運動不足の解消を目的とした社内運動推奨期間などを実施している。
また、コロナ禍で中止となってしまったが、毎年「NIPPON IT チャリティ駅伝」など全国各地で開催されているイベントへの積極的な参加を推進している。



タツミ産業株式会社



**毎週水曜日の出社時に階段(3階)使用/
毎日15時に社内でストレッチ体操**

本部・関東事業部・家庭用品部が職場である全従業員が、毎週水曜日の出勤日に事務所のフロアである3階まで階段を使って出勤している。
また、全事業部従業員対象で協会けんぽが推奨するストレッチ体操を、毎日15時から5分間実施している。社長自ら率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。



大日本印刷株式会社



**ニューノーマルに対応したスポーツイベントや
啓発活動で、従業員の運動習慣獲得を支援**

「ウォーキングイベント」は、密を避けるためにこれまでの集合型をやめ、参加者が自由に日程を選んで参加できるよう、当社開発のスマホアプリ「YORIP」を活用したスタンプラリー形式に変更して実施した。
また、社内サイトでは、「疲労回復」や「免疫力向上」などコロナ対策に関する記事や、テレワーク拡大による運動不足を改善するための「簡単エクササイズ動画」を継続的に公開するなど、ニューノーマル時代に対応した取組を行った。



太陽生命保険株式会社



**クアオルト健康ウォーキングによる
健康寿命の延伸への取組と
スポーツ支援及びストレッチ動画の作成**

クアオルト(健康保養地)健康ウォーキングを活用した健康推進プログラムに従業員が参加し、健康づくりを行っているほか、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウォーキングを普及している。
また、競技環境の整備と普及・青少年の健全な育成を目的に、女子スポーツ(ラグビー、アイスホッケー)に協賛している。
そのほか、コロナ禍の取組として、当社従業員でありアイスホッケー女子日本代表の久保英恵選手のストレッチ動画をアイスホッケー連盟と作成し、当社ホームページに掲載している。



TANAKAホールディングス株式会社



**従業員の健康促進のためのスポーツ活動奨励や
オンライン観戦を中心としたパラスポーツ支援活動**

従業員の健康促進、従業員満足度の向上や社内コミュニケーションの活性化を目的としたスポーツ活動を支援・奨励。2012年から継続している障害者スポーツ・パラアスリートへの支援・応援活動について、新型コロナウイルスの感染拡大により求められる「新しい日常」下で、「オンライン観戦」での参加を従業員へ呼びかけた。これにより、これまで会場立地の問題で足を運べなかった従業員もオンラインで気軽に試合観戦ができた。
また、日本ブラインドサッカー協会主催の親子向けイベント「オンラインパラサッカー親子広場」に従業員家族が参加するなど、リモートでの活動に注力した。



株式会社丹青社



**アスリートの雇用、アスリート社員による
ストレッチ&エクササイズ教室開催**

当社社員である女子7人制ラグビー・原仁以奈(はらにいな)選手の現所属チーム・PEARLS(パールズ)のオフィシャルスポンサー兼オフィシャルパートナーとして全社的な支援を行っている。
また、原選手によるストレッチ&エクササイズ教室をオンラインで定期的に開催し、在宅勤務による運動不足解消や社内コミュニケーション活性化につなげるのと同時に、原選手を中心とした社内SNSにてスポーツ普及を支援する取組を行っている。

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ

中外製薬株式会社



障害者スポーツの応援活動を通じて、誰もがスポーツを楽しめる社会作りを目指す

実践部門では、在宅勤務の機会が増えている昨今の事情を踏まえ、多くの従業員が自宅内でも気軽に実施できるよう、ストレッチやリフレッシュ体操を従業員向けに社内のWEB環境を利用し発信、運動機会の創出を図った。

支援部門では、障害者アスリート雇用のほか、障害者スポーツの啓発ガイドブック発行支援や障害児への運動の機会提供として、車いすスポーツの定期運動クラス、野外活動イベントの支援を実施した。

そのほか、事業所所有の運動場の貸出も行った。

通信機器産業健康保険組合



三密を避けてのラジオ体操やウォーキングイベント「通さんぽ」の実施

健康保険組合として加入員の健康を維持・増進する上で、職員自らが健康であるべきという考えから、健康経営のひとつとして運動習慣の定着を掲げている。

マスク着用・オフィスの換気・職員同士の間隔を空ける等、感染防止対策に配慮した上で、毎朝ラジオ体操を実施。在宅勤務時にも活用できるトレーニングやストレッチ動画を周知する等、運動不足の解消や心身のリフレッシュに役立てている。

また、1日9,000歩を目標とした歩数表彰、職場から2~3kmの目的地を設定し就業後に徒歩で目的地を目指すウォーキングイベント通さんぽも実施。そのほか、本年はコロナ禍で中止となったが、年1回、ポウリング大会等を開催している。



Color & Comfort

DIC株式会社



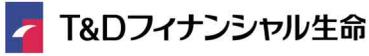
コロナ禍でも工夫をしながら身体を動かす

2020年は新型コロナウイルスの影響で例年行っていたスキー大会やソフトボール大会は軒並み中止を余儀なくされた。大きな大会は出来なかったが、日常の中に身体を動かす機会は増えたように感じている。

例えば、満員電車を避けた自転車通勤の推奨、エレベーターの密を避けた「2UP2DOWN活動(2フロアまでの移動にはエレベーターを使わずに歩く)」など、これまででも実施していたことだが、より意識して実行する人が増えた。

また、毎朝のラジオ体操、リフレッシュ体操も広い場所を探して、十分な距離を取って実施している。

そのほか、健康保険組合ではWEBでのwalkingイベントを開催した。



T&Dフィナンシャル生命

T&Dフィナンシャル生命保険株式会社



障害者スポーツ及び従業員の社内クラブ活動を支援

日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結し、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及をサポートしているほか、障害者アスリートを雇用し、競技活動を支援することで、従業員の障害者スポーツへの理解促進を図っている。

また、T&Dフィナンシャル生命健康保険組合が継続して社内クラブ活動にかかる費用の一部を補助するほか、コロナ禍において屋内で簡単にできる運動等を紹介するリーフレットを配布。社内コミュニケーションツールである「TDFギャザリア」(社内電子掲示板)においても、障害者アスリートが気軽にできるストレッチの方法を紹介する記事を発信するなど、従業員の健康増進を図っている。



TSUZUKI

Make New Value その先へ

都築電気株式会社



専門家監修「メソッド動画」で健康増進！在宅勤務者の運動機会増加に向け、セルフケアシステムを公開

在宅勤務が続く社員向け、健康な心身づくりを支援するシステムを社内で作成し公開。ノートPCの内部カメラを用いた「姿勢チェック機能」や、社員が自宅で実践できる運動やストレッチ等の「健康増進メソッド動画」の閲覧・実施が可能。整体師やパーソナルトレーナー等の専門家監修のもと、システム構築や、動画コンテンツの企画・撮影・出演・編集までを当社社員が行った。

また、本年はコロナ禍で中止となったが、復興支援サイクルイベント「ツール・ド・東北」や企業対抗スポーツイベント「コーポレートゲームズ」に例年積極的に協賛・参加している。



つなひろワールド

株式会社つなひろワールド



車椅子ソフトボールに社員が参加、オンラインで戦術会議を実施

昨年創部した、総合障害者スポーツクラブチーム「Glitters」での活動をする際は、「プレー中以外のマスクの着用・手指の消毒・検温・こまめな換気」を徹底して行っている。戦術会議などは対面では行わず、オンラインツールを使用して実施。チームに社員が所属し、障害者スポーツの魅力を知るため、実際に練習を行ったり、様々な競技の体験などを行っている。

また、本年度はコロナ禍で数々の障害者スポーツの大会が中止となったが、例年は車椅子ソフトボールの大会や車いすラグビーの大会に参加している。



T-GAIA

株式会社ティーガイア



オンライン等を活用した従業員への運動機会の提供、社内クラブ活動や障害者スポーツの推進を支援

令和2年4月より、在宅勤務を申請している従業員を対象に「アタマ」のリフレッシュや運動不足の解消等を目的として、毎日定刻に体操やエクササイズ動画を紹介するURL付きメールを送信している。

5月初旬から6月末までは、Zoomを利用したLIVE配信によるWEBエクササイズを毎日実施した。

また、従業員間の交流及び自主的な健康保持・増進、リフレッシュを目的に、スポーツクラブの活動費用の一部(上限1.5万円/1人)を会社から補助、大会参加費等を支援している。

そのほか、「JPSAオフィシャルサポーター」として、障害者スポーツの推進に取組むとともに、当社で働くパラアスリート社員の活動を休暇の付与等で支援している。



T-PEC

ティーパック株式会社



ウォーキング促進のための『T-PECウォークシリーズ』実施

従業員のここからだの健康づくりのため、楽しみながらウォーキングに取組めるよう「T-PECウォークシリーズ」という社内運動を実施している。希望者へはウェアラブルデバイスを配付し、日々の社内ランキングをアプリ上でチェック。平均歩数に応じた表彰を年2回行っている(2020年の表彰はオンラインで実施)。

また、個人ごとの表彰のほかにも、配偶者の参加や所属のランキング表示、参加者の総歩数に応じた金額が会社から患者団体へ寄付される仕組みを設けること等でモチベーション維持を図っている。

D Y M

株式会社DYM



社内部活動支援制度や階段利用の推奨など、「新しい日常」下でも従業員の健康増進のための様々な取組を実施

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の対策として、執務室入口に体温測定用サーマルカメラや消毒用アルコールの設置、執務室内ではマスクの着用やアクリルパーテーションの設置を徹底。エレベーター内での三密回避と、社員の健康増進の両立のため、階段利用も推進している。

また、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用で十分な換気を行いながら、ヨガ部などの社内部活動支援制度も継続。

そのほか、本年度はコロナ禍で実施できていないものの、部署や役職をまたいだチーム編成での社内運動会や、弊社がスポンサーを務めるFC東京の試合観戦も例年積極的に全社行事に取り入れている。

TEIJIN

帝人株式会社



社員の健康保持増進のため、ラジオ体操やウォーキング大会等のイベントを継続して実施

国内の主要拠点では、毎日、始業前や昼食後、15時のタイミングでラジオ体操の音楽を流し、ラジオ体操を実施している。

また、社員・家族の健康保持増進のために、ウォーキング大会などの健康キャンペーンを実施し、健康意識の向上と正しい生活習慣獲得のきっかけ作りに取り組んでいる。

TERUMO

テルモ株式会社



達成者には果物が届く、「WEBウォーキング大会」を実施。社員も家族も楽しみながら運動習慣改善へ!

歩いた歩数をWEBサイトに入力すると、ポイントに応じ画面上で果物が育っていき、達成者には育てた本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング大会」を、毎年実施している。コロナ禍で屋外の活動が制限される中、ウォーキングだけでなく、ストレッチやラジオ体操など、自主的な健康活動もポイント換算できるように工夫した。

また、在宅勤務の拡大など、働き方も大きく変化し、運動不足等の課題を感じる社員も多いが、同僚や家族と一緒に、気軽に楽しみながら活動することで、日々の運動習慣向上につなげている。

TENTIAL

株式会社TENTIAL



自転車通勤の推奨やスタンディングデスクの設置など、新しい生活様式での運動を実施

コロナ禍ということもあり、リモートでの作業が増え、オフィスを移転した。この移転に伴い、スタンディングデスクを導入し、コロナ禍における社員の健康維持のため、出社時のミーティングではスタンディングデスクを活用している。

また、電車での通勤のリスクや、社員の運動不足を考え、自転車通勤の推奨や、各部署の巨根を超えてオンラインヨガやトレーニングを行っている。出社時にはオフィスの屋上を活用し、休憩時間に実施。

DESCENTE



デサントジャパン株式会社



コロナ禍でも実施可能なスポーツ活動支援や運動教室を通じて、「スポーツを遊ぶ楽しさ」を提供

新型コロナの影響で、社員運動会や参加型スポーツイベント等が中止になり、テレワーク増加で体を動かす機会が減る中、密を避けつつ社員個々が気軽に継続的に運動を行えるよう、健康増進支援アプリを利用したウォーキングイベントを実施。同僚(2~10名)とチームを組み、アプリを通じてメンバー間でコミュニケーションをとりながら、日々の個人・チームの歩数や順位を把握してチーム対抗で歩数を競うことで、日常生活に「歩く」をプラスする活動。メタボや生活習慣病の予防だけでなく、健康の維持・増進に繋がる通勤時のひと駅歩きや階段の利用推奨等、運動習慣を楽しく身につける全社員参加型イベントである。



株式会社デュアルタップ



手軽に気軽にできるスタンディングミーティングの推奨 & リモートでのプチ運動推進

働く社員の健康状態を良好にし、生産性を高めることを目的としてスタンディングミーティングを推奨している。健康状態良好などの効果のほか、当施策の推奨により、コミュニケーションの活性化、時間の効率化や活発で創造性に富んだアイデアの創出などの付随効果も発生している。

また、ニューノーマル時代の新たな取組も実施しており、WEB会議システムを利用して、ヨガやストレッチを在宅勤務中の従業員同士で実施した。「運動してリフレッシュすることで業務の集中力が増した」、「対面で会うことができない中、メンバーとの交流の場となった」などの意見があった。

dentsu

株式会社 電通



リモートワーク下でも、同僚同士や個人でスポーツを楽しめる「リモスポ」を実施

リモートワークが続く中、オンライン上で集まり、講師とともに活動する「リモスポ」を実施。

新入社員研修やチーム会で導入し、リフレッシュやチームングに活用している。

また、社内イントラ内にも動画を保存し、在宅中の社員が活用している。



TOIRO株式会社



Jrユースサッカークラブと野への協賛、選手へのキャリアトレーニングを実施

埼玉を拠点として活動する「Jrユースサッカークラブと野へ協賛に加え、選手へのキャリアトレーニングを実施。アスリートのセカンドキャリア支援を行う中で感じた、アスリートの早期キャリアトレーニングの必要性を受け、スポーツキャリアトレーニングにおけるシラバスを設計。長期的な視点で自身のキャリアを考え行動できる自主自律型人材の育成を目指し選手120名に対し、月に1回2時間のキャリアトレーニング、選手・保護者向けの進路説明会を実施。コロナ禍においてはオンラインにて実施している。



東亜ディーケーケー株式会社



社員クラブ活動の支援、階段利用の促進、ラジオ体操動画などスポーツ情報の社内配信

野球部、テニス部、サッカー部、水泳部、スキー部といったクラブ活動に補助金を支給し、社員のスポーツ活動を支援している。
また、生活習慣病予防に向けた運動不足解消の取組として、階段利用を推進しており、本社及び事業所の各階に消費カロリーポスターを掲示して呼びかけている。
本年度より、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、日時や場所を指定せず各自で手軽に取り組めるスポーツ情報(ラジオ体操動画等)を配信することで、スポーツへの興味・関心の喚起に努めている。
そのほか、グループ会社が山形県に所在することから、J2サッカークラブ「モンテディオ山形」の正会員としてスポーツの振興に貢献している。



東亜道路工業株式会社



スポーツ施設づくりに携わり、スポーツ振興を促進する立場から、様々な団体・アスリートを支援

平成30年度よりアスリート(陸上短距離)を雇用している。
また、令和元年度より日本サッカー協会の「Youth&Development Partner」としてパートナーシップを締結し、サッカー振興と次世代を担う選手育成を応援中。
そのほか、令和元年度よりインクルーシブサッカースクールを展開しているNPO法人アクティブスポーツに協賛もしている。



東急電鉄株式会社



企業立病院である東急病院と連携し、運動不足の注意喚起やテレワーク時の運動方法を案内

東急(株)・東急電鉄(株)・東急労働組合をはじめ、東急連結各社・東急グループと連携し、運動習慣化に向け、運動会や駅伝大会、ウォーキング大会を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止。
また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、在宅勤務をはじめとするテレワークが急速に推進した。テレワークによる運動不足やコミュニケーション不足に対する注意喚起を定期的に社内イントラに掲出。さらに、企業立病院である東急病院と連携し、専門家の意見を迅速に従業員に周知した。



株式会社東京アスレティッククラブ



従業員の健康管理のための管理栄養士監修メールマガジン配信/バランスボール会議室の設置

「心と体の健康づくり」を提供する企業として、従業員の健康管理のために管理栄養士監修のもと、月1回のメールマガジンを配信。
また、椅子の代わりにバランスボールを会議室に設置することで会議時間の短縮に繋がり、生産性の向上に役立っている。

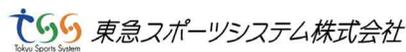


東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社



東海東京FG全役社員を対象にウォーキング促進活動やアスリート社員による健康運動動画配信を実施

コロナ禍における新たな取組として、歩数計アプリを利用した「ウォーキング促進活動」及び所属アスリート社員による「健康運動動画配信」を実施。ウォーキング促進活動は役員も率先して参加しており、社員の運動に対するモチベーションが向上したことで、自発的な運動習慣の促進につながっている。
また、本年は中止となってしまったが、例年は社内クラブへの支援を行い、共通の趣味や運動を通じて交流を深め、わくわくしながら健康づくりしていくことにも取り組んでいる。



東急スポーツシステム株式会社

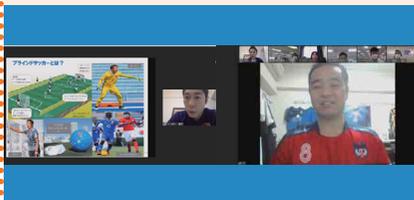


ミーティング時にラジオ体操の実施/在宅勤務中にできるエクササイズ動画の配信

従業員の健康維持になるように、定例ミーティングの際に参加者全員でラジオ体操を定期的実施。
また、在宅勤務者が増えたことにより、従業員の運動不足が懸念されたため、仕事中のリフレッシュになるような、簡単にできるエクササイズ動画を配信。「頭が冴える!血流アップエクササイズ」、「眠気スッキリ、脳内リフレッシュ体操」等々。今後毎月1で動画を配信し、のちに健康セミナー動画や難易度をあげたストレッチなども配信予定。



東京海上日動火災保険株式会社



障がい者スポーツ支援活動～「知る」「見る」「体験する」～

東京海上日動は障がい者スポーツの支援を通して、誰もがお互いの人格や個性を尊重して支え合う「共生社会」の実現を目指し、障がい者スポーツを「知る」、「見る」、「体験する」を軸として取組を続けている。
また、2020年度は新規の取組としてオンラインでの「障がい者スポーツの観戦応援」、「障がい者スポーツの体験会」、「アスリートと一緒に障がい者スポーツを通して多様性を学ぶ学習ツールの展開」などを行っている。



東京海上日動システムズ株式会社



参加・観戦・応援の機会の提供で社員のスポーツにおける「新しい日常」を実現することを支援

昨年同様、今年の健康増進月間では参加しやすいウォーキングイベントを実施し、フロア対抗で競い合い楽しみながら、運動する機会を提供している。
また、年3回ダイエット企画を開催し、日ごろ運動習慣のない社員もエントリーを機に、運動する機会が増え、健康意識の変化に繋がっている。
そのほか、社員間のコミュニケーションの機会や健康保持・増進を目的として、社内にクラブ活動を設置し、週末のクラブ活動を通じて、心身の健康保持・増進を図っている。
そして、バラスポーツを盛り上げるべく、スポーツ観戦を通じて応援支援を行っている。今年度はコロナ禍の影響もあり、オンライン観戦を行いながら障害者スポーツへの理解を深める活動を行っている。

東京海上日動リスクコンサルティング

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社



**健康づくりと社内コミュニケーション活性化/
在宅勤務中でもオンラインを活用し
継続した取組を実施**

毎朝8:55~社内衛星放送のラジオ体操を放映し、職場で実施。今年度はコロナ禍で在宅勤務者も多くなったため、ラジオ体操動画をメールで配信することも始めた。

また、職場ウェルネスプログラムでは、専門のトレーナーが週に1回来社し、就業時間内に執務室にてストレッチや軽い筋トレ、有酸素運動を実施している。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、動画のライブ配信を行う形に切り替え、毎日同時刻の配信に先立ち、全社員に動きかけるメールを配信。運動機会を提供し、出勤勤務者のみならず、在宅勤務者の健康維持・増進にも取り組んでいる。同じ時間に一緒に取組むことで従業員同士のコミュニケーションも生まれている。

**エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS**

東京ガス株式会社



**在宅勤務者にストレッチのオンライン動画を
配信/社内ウォーキングイベントを実施し
健康維持向上を推進**

コロナ禍で在宅勤務者が増加した時期に、社内スポーツ部3部(硬式野球部、ラグビー部、アメリカンフットボール部)によるストレッチ動画をオンラインで定期配信した。各スポーツ仲間ならではの動きも取入れながら、デスクワークの合間に簡単にできる内容で構成され、多くの社員が閲覧し運動不足解消を図った。

また、健康の維持向上を目的として2015年から実施しているウォーキングキャンペーンは、今年過去最高の2,000名超が参加。個人で取組める手頃さに加え、在宅でも職場の仲間と目標や進捗を共有できることから、職場単位での参加も多数あり、歩いた場所やその時の気持ちなど仕事とは違った話題が多様な交流につながった。



東京地下鉄株式会社



**女子駅伝部及び障害者スポーツの活動を通じて
スポーツ選手が活躍できる環境づくりや
社会・地域の活性化に貢献**

2020年4月に発足した女子駅伝部「東京メトロ マーキュリー」の活動を通じて、スポーツ選手が活躍できる環境づくりや各種イベントを通じて社会・地域の活性化に貢献している。

また、2020年7月及び12月にチーム合宿地である銚路町にて、地元自治体と連携し、かけこ教室を開催。

そのほか、2017年10月に車いすフェンシング選手の安直樹を採用し、スポーツを通じた障害者支援・スポーツ振興に向けた取組や地域・社会貢献を実施している。その一環として、「JFAこころのプロジェクト 夢の夢」に安直樹選手を「夢先生」として小学校に派遣し、夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さなどを伝える特別授業を実施している。

TOKYO DOME SPORTS

株式会社東京ドームスポーツ



**各種アスリートの雇用支援と協賛チームの観戦推進/
エクササイズ動画の作成と社員への提供**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社員の多くが在宅勤務や自宅待機となったが、運動不足解消を目的に自宅でも実施できるストレッチ系動画を作成し、社内イントラで動画をいつでも見られる環境を提供した。さらに、各種アスリートの雇用支援と雇用したバスケットボール選手のリーグ戦応援を継続で実施した。

また、本年は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、例年は「障害児を対象に障害者バスケットボール教室の開催」、「自社グループ敷地内で夏休みラジオ体操の実施」、「地方自治体等で開催される各種スポーツ大会の社員参加」なども行っている。

TSH 東京システムハウス株式会社

東京システムハウス株式会社



**社内クラブ活動やスポーツ観戦イベントを通じ
「コミュニケーションの活性化」、
「心身の健康増進」、「社員の幸福」を目指す**

コロナ禍により全体のイベント事は中止。各サークル活動も全体としての活動を休止しているが、メンバー同士、オンラインを活用しコミュニケーションをとりながら自主練習を重ね、再開時に備えている。

また、自社開発ゴルフアプリで子ども競技大会の支援やオンラインでのゴルフコンペも実施。離れていても楽しめる、離れているからこそ楽しめる工夫を行った。

挑みつづける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所

東京商工会議所



**社員の運動習慣のきっかけ作り、
健康意識の向上**

職員の健康増進・スポーツ習慣の定着に取組むため、毎朝のラジオ体操を実施している。職員の中にはスポーツ習慣のある者もいれば、ほとんどスポーツをすることがない者もいるため、全員が取組むことができるラジオ体操を実施することで各人の健康づくりのきっかけとすることを目的としている。

また、職員各人のスポーツ意識向上及び健康増進の観点から2階上、3階下までの移動に関しては階段を使うことを推奨し、多くの職員が実践している。

**TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学**

東京都立大学法人



**スポーツ・パラスポーツの普及及び
理解促進**

東京2020パラリンピックへの機運醸成や障害者スポーツへの理解促進、裾野拡大のため、パラアスリートへのインタビュー動画等の配信によるオンライン企画を実施している。

また、本年はコロナ禍で中止したが、例年は都民向けに、障害の有無に関係なく参加できるポッチャ体験教室、パラスポーツ体験教室、ユニバーサルスポーツ体験教室、親子でパラスポーツ体験教室等を実施している。さらに、学生向けのボランティアプログラムを実施し、スポーツボランティアリーダーを育成している。

そのほか、近隣の社会福祉協議会と連携し、地域住民を対象としたオンラインスポーツイベントの実施等、スポーツボランティア経験を活かした企画及び活動機会の創出に取り組んでいる。



東京都職員共済組合



**清瀬運動場のテニスコート及び
野球場を一般に開放**

東京都職員共済組合が保有する清瀬運動場のテニスコートと野球場を広く一般の方に開放している。

また、近隣の保育園、幼稚園に野球場の芝生部分を開放し、天然芝の上を走り回る楽しみを味わってもらっている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内各箇所消毒・飛沫感染予防対策を実施しているほか、施設利用者には、使用前に体調管理のためのチェックシートに記入してもらった後、個別に消毒シート(手指用消毒液、設備用消毒液、タオル)を貸出し備品等の消毒をお願いしている。



東京都鉄二健康保険組合



健康づくりは1日8,000歩・速歩20分で、みんな元気!!

毎日、勤務開始時刻に全職員でストレッチを行い13時にはラジオ体操を行っている。
また、全職員が活動量計を携帯しており、活動量計を活用した中強度運動(速歩)を意識してウォーキングを実施。毎月データ取込を行い1日平均スコア等を算出している。



公益財団法人 東京都予防医学協会



空気を身体もリフレッシュ
体操や部署対抗ウォーキング&運動キャンペーン等を実施

オフィスに二酸化炭素濃度測定器を設置し、換気状況をモニタリングしながら、15時には窓の全開と同時にストレッチ体操を行い、身心のリフレッシュを図っている。
また、平成30年度から、部署対抗によるウォーキングキャンペーンを実施している。本年度は1日30分以上の運動、スタンディングデスクの使用もポイント加算することで、より一層スポーツ活動の推進に繋げ、日常生活に運動を取り入れられるようにした。
さらに、各フロアの階段の段数と、一往復した場合に消費するカロリーや半年間継続した場合に消費するカロリーを掲示し、職員の積極的な階段使用を推奨している。



東武鉄道株式会社



東武鉄道杯少年野球・少年サッカー大会を通じた次世代を担う少年・少女の育成支援

東武鉄道では、(一財)東武博物館が主催する東武線沿線地域における少年野球大会、少年サッカー大会に、2019年度までに延べ13,000名を超えるボランティアスタッフを派遣し、会場準備、試合応援等を通じて、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から大会の開催を断念する運びとなったが、コロナ禍で活動の場を奪われている子どもたちを応援したいとの思いから、少年野球大会においては東武鉄道杯への出場を目指していた沿線の全チームに対するスポーツタオルの贈呈や、抽選での東京スカイツリー®・東武動物公園への無料招待などを行うことで支援している。



株式会社トーシンパートナーズ



朝のラジオ体操実施、サッカー部・野球部の部活活動、ウォーキングイベント実施

今年から健康経営プロジェクトが始動し、参加者全員に万歩計を配布した一週間のウォーキングイベントを実施した。
また、朝のラジオ体操とサッカー部・野球部の部活活動は今年も継続的に実施している。



東京西サトー製品販売株式会社



離れていてもリモート朝礼で一緒に体操! ストレッチバンド配布で不調を予防!

4月から段階的に始めたりもリモートワーク。運動不足とコミュニケーション不足の防止策として「リモート朝礼」を開始した。いつもの体操を、画面越しに行くことで皆が自然と笑顔に。
また、オフィスワークでの肩こり解消に共用していたストレッチバンドは、感染症対策で1人1本を個人所有に。デスクに常備して肩こり等の重症化を予防している。
一方、これまで地域の子どもたち向けに開催していた体操教室は、依然として再開が未定となっている。教室スペースは従業員向けのヨガ教室として、少人数で入れ替わり活用している。こちらも運動不足とコミュニケーション不足の防止に一役買っている。



東京東信用金庫



コロナ禍の中地域の子どもたちに
応援メッセージやトレーニング方法の動画を配信

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントが中止、延期になっている中、バレーボール部員から「学校や遊びに行けない」、「友だちに会えないそんな日が続いている子どもたちへ応援・励ましのメッセージ動画を制作した。その中で、自宅のできる3つのトレーニング方法の紹介とともに、「新型コロナウイルスに負けるな」という元気な応援メッセージを発信した。
また、地域の小・中学校の児童・生徒に対しては、バレーボールを通じてスポーツの楽しさを体験してもらうことを主にバレーボール教室を開催している。



株式会社ドクタートラスト



ウォーキングイベント初開催!
ラジオ体操とジム利用で運動機会を提供

スマートウォッチやスマホを活用したウォーキングイベントを全社で初開催。社員は歩数ランキングを毎日見ることができ、互いに競いながら交流を深めていた。会社からスマートウォッチの購入費の補助を受けることもでき、利用した社員も多かった。
また、集中力が落ち気味の15時にラジオ体操を全員で毎日実施。今年度はソーシャルディスタンスを確保しながら行い、心身をリフレッシュできる貴重な時間となっている。
さらに、日常の運動とは別に積極的な運動機会を提供するべく、大手スポーツジムと法人契約。従業員は毎月一定回数まで無料で利用可能。店舗数も多く、各社員の自宅近隣の施設にも通えるため、利用率増加に繋がっている。



凸版印刷株式会社



スポーツ専従社員による「筋トレ&ストレッチ動画」の配信や、オンライン交流会を実施

在宅勤務による社員の運動不足解消のため、スポーツ専従社員による、「筋トレ&ストレッチ動画」を社内向けに配信。好評だったため、社員の家族や顧客企業も見られるように「トッパン公式YouTubeチャンネル」にも動画を掲載した。
また、例年は地域の学校に赴き、スポーツ専従社員による講演活動などを行ってきたが、今年は社内のスタジオを活用し、オンライン交流会を実施した。
そのほか、パラスポーツの認知拡大・普及・発展を図るサイト「SPORTRAIT」の運営や、パラスポーツ写真展を行うなどパラスポーツの認知拡大に寄与している。

TOPPAN FORMS

トッパン・フォームズ株式会社



毎朝のラジオ体操の実施・社内の部活動(スポーツ関連)へ支援継続

始業前に毎日ラジオ体操を社内放送で流し、実施している。今年はコロナ禍での取組として、普段会議室等に利用している部屋も利用し、フロア内の人数を減らし実施している。
また、毎年社内で従業員とそのご家族が参加できる野球大会やフットサル大会を実施している。2020年度は大会の実施はできなかったが、大会を企画・運営する野球部やサッカー部を初めとする社内のクラブに対し、活動支援を継続して行った。
スポーツを通じて従業員とその家族の健康増進も推進している。

トヨタ西東京カラオラ

トヨタ西東京カラオラ株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動を展開し、地域の将来を担う子ども達の健全な育成を応援

野球、フットサル、バスケットボール等の独自のイベントを開催することで、地域社会へ貢献する。
また、地元自治体主催のポッチャ大会のメインスポンサーとして特別協賛及び社員チームを創設し同大会へ競技者として参加する等、パラスポーツの認知度向上や理解を深める活動を展開。スポーツ・子ども・地域という言葉はキーとして積極的な社会貢献活動を行い、地域の次世代を担う子ども達の健全な育成を応援する。



ナガセケンコー株式会社



全国で行われている軟式野球等のイベントへ協賛を行い、競技の普及発展に協力

新型コロナ対策として、全国各地のジュニア向けソフトテニスの講習会を地域ごとに実施。さらに、今年は全国の小学生を対象にしたナガセケンコーカップ大会(軟式野球大会)が開催できなかったため、代替として関東地方の小学生を対象に講習会を2日間の日程で実施した。
また、昨年より継続して、社員の健康増進策として、毎日午後3時の休憩時に社員全員で体操を実施している。
さらに、緊急事態宣言解除後には、健康増進のための社内スポーツクラブ(軟式野球、ポッチャ)の活動を一部再開した。



株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー



コロナ禍での三密を避けた運動意識の向上への取組

コロナ禍で在宅勤務が多くなったが、社内にポスターを掲示し、出社時には階段の利用を推奨し、実践した社員へは社内ポイントを付与している。なお、貯まったポイントは、健康グッズなどと交換が可能。
また、正午のラジオ体操やスタンディングミーティングなどを推奨。体を動かすことへの啓発活動を行い、健康経営を推進していく。
そのほか、コロナ禍で実施の自粛中のもの、現在公認クラブとして、フットサル部、ゴルフ部が活動中。社内公認クラブ活動に対し、費用の一部を部費として補助。
また、積極的に部員の勧誘、部員家族の参加も促し、活動の輪を広げる取組を行っている。



株式会社トラック



アスリートの正社員雇用/SNSを活用した市民ランナーへの情報発信

当社はTRACK TOKYOランニングクラブを運営している。陸上のアスリート選手を正社員として雇用し、毎年元旦に開催されるニューイヤークエストの出場を目指して活動中。
さらに、ランニングインストラクターとしても活動し、市民ランナーや小学生・中学生に向けてランニングレッスンを提供している。
また、2020年4月～5月の緊急事態宣言中にSNSやオンラインを通じて、市民ランナーの方へ当社のアスリート選手が無料でトレーニング方法、栄養アドバイス、個別カウンセリングを行った。



株式会社トンポ



全日本空手道連盟、スポーツ大会等の協賛支援

全日本空手道連盟に協賛しており、連盟に所属している選手に講師になってもらい、中学校を対象に、空手の模擬授業を実施。中学校武道必修化における空手道の授業の採用を応援している。
また、小学校、中学校、高等学校を対象とした、各種スポーツ大会の開催・協賛を行い、生徒・児童のスポーツを通じた心と体の育成や交流を支援している。



西松建設株式会社



様々なスポーツイベントの実施による社員一人ひとりの健康意識を向上

アプリを利用したウォーキングイベントを会社が定期的に開催することで、社員一人ひとりの健康に対する意識が向上。自発的にオフィスヨガを企画開催したり、積極的にマラソン大会へ参加したりするなど、スポーツの輪が広がっている。
また、プロバスケットボールチームへの協賛や、港区が主催するマラソン大会への協賛など、スポーツ活動の支援にも力を入れている。



株式会社ニチレイ



ウォーキングキャンペーン、健康増進イベント実施、部活動奨励、ストレッチ・ラジオ体操動画配信

テレワークの増加に伴う日常活動量の低下を補うため、保健師によるラジオ体操やストレッチ動画を作成し、グループ従業員が自宅からでも閲覧できるイントラネット上掲示板に掲載して活用を推進している。
体験型健康支援プログラム「ニチレイ健康塾」では健康運動指導士による効果的で簡単な運動実践や保健師による病態生理、管理栄養士による食習慣改善などの解説をオンラインセミナー形式で実施。
また、運動習慣のきっかけづくりのため、春と秋には「ニチレイ健康保険組合ウォーキングキャンペーン」を開催している。
さらに、グループ内コミュニケーション活性化のため、「体育活動」などのクラブ活動を支援している。



日建総業株式会社



**ダイバーシティ・パーク代替イベント
「ダイバーシティ推進イベント・ポッチャ体験」の実施**

毎年1回、新宿中央公園において「ダイバーシティ・パーク in 新宿」を開催していたが、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同イベントの内容と規模を大幅に縮小し、「ダイバーシティ推進イベント・ポッチャ体験」を実施した。
東京パラリンピックの正式種目であり、障害者と健常者が一緒にプレイすることができるため、同競技の選手(障害者)のコーチングを受けながら競技自体を楽しみ、ダイバーシティの概念を社会に根付かせる一助となることを目的として開催した。



日産化学株式会社



**スポーツ活動の支援を通じて、
従業員の健康づくりを推進**

当社は、従業員の健康が「健全な企業の成長を支える基盤」という考えのもと、スポーツ活動の奨励に力を入れている。
本年はコロナ禍で活動が難しかったが、本社では、フットサル、テニス、水泳などのクラブ活動を支援しており、健康増進に加えて、世代や部門をまたいだ従業員同士のコミュニケーションの場となっている。
また、仕事の合間のリフレッシュを目的にストレッチ体操を毎日実施しているほか、本年は簡単に取組めるストレッチ方法を社内報に掲載し、在宅勤務時の運動を促進している。



商工組合 日本医療機器協会



**運動不足解消を目的として協会職員の
階段利用の推進と朝の体操を実施**

毎年開催している野球、ボウリング、フットサル大会等の大人数が集まるような大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本年度は見送り。本年度から新たな取組として密になりやすいエレベーターの利用を控えるのと同時に、協会職員の運動不足解消を目的とした階段利用を推進。さらには毎朝業務開始前に朝の体操(ラジオ体操)の実施も始めた。
今後、新たな取組は継続しつつ、新型コロナウイルス感染症が収束した際には野球、ボウリング、フットサル大会を再開する。



日本化薬株式会社



**各種イベントを通じ、従業員の健康づくり・
活気ある働き方をサポート**

各部署での毎日15時のラジオ体操は本年度はマスクをして実施した。
例年、2カ月間の実施期間を設けて、例えば15分ストレッチコース、毎日8,000歩コースなど全24コースの中から、従業員それぞれが自分に合った目標を設定しチャレンジする健康保険組合主催のマイヘルスアップキャンペーンを実施している。そのコロナヘルス活動の一環として当社では健診結果の改善につながるようなコースを実施するように推奨している。
本年度は手洗い・うがいコースや3密を避けようコースも新規設定し、新しい日常を意識した取組にした。これらを通じて、社員が健康維持し、活気ある働き方ができるように取組んでいる。



日清食品ホールディングス株式会社



**三密を避け、感染症対策を徹底して
「日清食品カップ」全国小学生陸上競技
交流大会」を開催・協賛**

「食とスポーツは健康を支える両輪である」という創業者理念のもと、1985年から「日清食品カップ」[全国小学生陸上競技交流大会]に協賛している。
本年度は、陸上競技連盟が策定する「陸上競技活動再開についてのガイドンス」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して大会を開催した。[全国大会]を中止し、地域ごとの感染者数の状況に応じて、大会の中止や規模縮小、無観客での実施など臨機応変に対応した。



日都産業株式会社



**スポーツによる
社員の健康づくりをサポート**

毎朝の始業前にラジオ体操を継続して実施している。
また、本年度はコロナ禍で大勢が集まるイベント等が中止となってしまったため、運動不足解消や健康維持を目的に、個人でランニングやウォーキングを楽しむ社員が増えた。
ランニングアプリを活用し、コースやタイム等の情報を共有することにより、社員同士のコミュニケーション活性化にも役立っている。
例年は、ランニング同好会が地域のランニングイベントに参加したり、社内ゴルフコンペを開催しており、それぞれの活動支援を継続的に実施している。



日本航空株式会社



**社員の健康推進プロジェクト「JAL Wellness」の
取組を通して、企業理念の実現を目指す**

「本気のラジオ体操」をはじめとした様々な運動の動画コンテンツを作成し、社内サイトやテレワークコンテンツにして海外を含め全社員に共有。当社アスリートやフィットネストレーナーも各種動画を作成・配信、また客室乗務員等のテレワークのプログラムに入れ込み、社員の運動不足解消に寄与した。
全国各事業所における「ウェルネスリーダー」は令和2年12月時点で383名、同リーダーを中心にウォーキング、ヨガ、ラジオ体操など、各職場の健康課題に見合った健康増進活動「JAL Wellness」を日々実施している。
CWO(最高健康責任者)は日々14階から24階を階段で昇降し、社内サイトにその様子の動画をアップし運動を推奨している。



日本交通株式会社 赤羽営業所



**感染予防対策をしながら実施した
毎朝の体操と清掃ボランティア**

新型コロナ感染症拡大により、事前に検温を行い、マスク着用のうえ、三密を避けて、始業前の体操を実施している。
そのほか、感染症予防対策をしながら、ゴルフ部の活動を再開した。また、創設以来、ウォーキングを兼ねた清掃ボランティアも継続して実施している。現在は、限られた人数での取組となっているが、参加者は事前に検温を行うなど、感染予防対策を徹底して実施している。なお、初参加者は、仲所長の歩き方ガイダンスを受け、正しい歩き方を学ぶところから始めている。

MOVE EARTH, MOVE EVERYTHING
日本国土開発株式会社

日本国土開発株式会社



"密"を避けて行える運動支援や
主体的な運動活動の仕組みづくりを実施

密を避けてできる運動活動を支援・毎月の目標歩数を達成した社員には、抽選で賞品を送付する「日々の歩くサポート」を実施、事前にコロナ感染対策に関して案内を行っている。
ご自宅でお子様と一緒にできる運動動画や肩こり・腰痛対策動画を配信。
また、健康経営サポーター制度の導入、運動気運を高めるため、自ら健康に対する目標を社内宣言し健康活動を行い、職場における健康推進の先駆者として活躍いただく「健康経営サポーター制度」を導入した。当初は35名だったが現在では経営トップも含め201名の方が参加している。そのほか、運動サークルの支援全国各地にある10の運動サークルに対して費用支援を実施している。



JAPAN CYCLE SPORTS PROMOTION ASSOCIATION

一般財団法人 日本サイクルスポーツ振興会



サイクリススポーツの
普及・自転車文化の醸成

コロナ禍で各種自転車レースの開催が延期や中止となる中、「2020 JCS PAジュニアサイクリススポーツ大会全国大会・令和2年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会中止に伴う全国大会」を主催するなど、選手・サイクリストのためにコロナ対策を徹底した上で様々な大会やイベント実施した。
そのほか、今年度から青少年の健全な育成・トップアスリート輩出等を目的とした「JCS PA BMX ACADEMY」が始動。さらに、日本初となる都市型公園で行うマウンテンバイク日本一決定戦【第33回全日本自転車競技選手権大会(マウンテンバイク)XC / XCE】を主管するなど、サイクリススポーツを幅広くサポート。



日本通運株式会社



自社スポーツ施設の
大学等への利用提供

企業や大学などの各団体からの利用申請に基づき、本社ビルB1Fの武道場(柔道場、剣道場、相撲場)を利用提供している。
また、自社の運動部との合同練習や交流試合なども実施しており、こうした取組を通じて、地域のスポーツ振興を図っている。
そのほか、日々各職場で独自の体操(日通体操)を実施しているが、朝礼時にオンラインコミュニケーションツール(Teams)により、在宅勤務者にも配信を行い、出社社員同様に体操を実施している。

Orchestrating a brighter world



日本電気株式会社(NECグループ)



オンラインを駆使した1人ひとりの
知識と行動を、東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会へつなぐ

COVID-19の影響を考慮し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた各種セミナー・イベント等の取組をオンラインで実施することで、全国のNECグループ社員に対して、「健康」や「スポーツ」に関する意識啓発を行った。
例えば、在宅勤務で運動不足になっている社員の体を動かすきっかけづくりや外出自粛でたまたストレスの解消を目的に、NECグリーンロケッツの選手が、社内で実施しているリフレッシュ体操の様子を撮影して録画配信した。
また、NECボッチャ部ではリアルな活動が出来ない中、オンラインを駆使し、部員同士でオンライン「審判勉強会」を開催。1人ひとりのスキルと知識のアップを図った。



日本シグマックス株式会社



活動費支給制度と活動情報の社内発信を
通じて社員のスポーツ活動促進に取り組んでいます。

昨年10月より開始したスポーツ活動支援金支給制度「スポサポ」を継続運用した。社員一人当たり年間最大16,000円(3ヶ月ごとに4,000円×4)を支給。元々の制度ではスポーツ活動実態を伴うことを条件として、用具の購入には支給を認めていなかったが、緊急事態宣言を受けて、自宅及び近隣での活動のための運動用具は対象とした。
屋内トレーニング用品(各種ウエイト・ストレッチ用品・トランポリン・縄跳びなど)の購入、ウォーキングシューズ・ランニングシューズ・ウェアの購入となったマラソン大会のキャンセル料の補助なども実施。
※「スポサポ」の支援金は会社の福利厚生費として支給。



Japan Photo Finish

日本写真判定株式会社

日本写真判定株式会社



オフロードバイクの普及活動や
所属アスリートの活躍

現役のマウンテンバイクプロライダーである松本太を社員として採用し、松本を中心にマウンテンバイク(オフロードバイク)の普及に取り組んでいる。
まずは、社員が魅力を知る、「体験する」必要があるということで、山梨県で新入社員対象の社内マウンテンバイク研修を実施した。
また、競技者枠社員として入社した自転車トラック競技・中距離の中村妃智とパラトライアスロン競技の梶鉄輝も著しい成長を遂げている。中村が東京2020オリンピックの代表内定が決定したことで、活躍に刺激を受けた社員が多く、業務のモチベーションも向上している。



日本郵政株式会社



自社福利厚生施設の利用提供

近隣にお住まいの方などからの利用申請に基づき、自社の福利厚生施設である高井戸レクリエーションセンターの野球グラウンド、テニスコート及び弓道場を利用提供している。



日本郵船株式会社



健康推進への取組が社会貢献につながる
「チャリティRUN+WALK+α」、
今年はオンラインを活用して実施

身近なスポーツであるランニングやウォーキングを通して、グループ社員の健康増進を目指すとともに、チャリティ文化の社内浸透を図るため、2017年より毎年実施している3か月間のイベントを実施した。
今年は新型コロナウイルスの影響による外出自粛や在宅勤務の増加を考慮して、従来の「RUN、WALK」に加え、自宅でも気軽に取組める「ダンス、エアロビ、縄跳び」を対象運動に追加。
例年、本店で開催するプロコーチによるレッスンを、動画配信に変更し、日常的な体力づくりへの意識啓発を行った。
また、社員による参加費に加えて、全体の運動量に応じたマッチングギフトを会社上乗せて「国境なき医師団」に寄付することで、参加者のモチベーション向上を図っている。



株式会社ニュー・オータニ



従業員の健康増進のため、職場環境に合わせたストレッチ体操の指導やスポーツ大会の実施

職場毎の労働環境に応じたインストラクターによるストレッチ体操の巡回、スポーツジムやスポーツ部活動の支援。
 部署対抗スポーツ大会(フットサル大会・野球大会・バスケットボール大会)やマラソン大会への出場などを実施、補助、グループホテル全体のウォーキングイベントをアプリを使用して開催。2up3down活動の奨励、地球運動会へ参加を奨励している。
 本年度はコロナ禍のため、独自のストレッチ動画を作成し運動不足とならないよう従業員全員へweb配信をした。



ねぶクリニック



ウォーキングサッカーを利用した、障害者や疾病のある方への運動療法を行う医療を実践

2020年度はコロナの影響で、集団でのワイワイしゃべったり、汗をかきながら行うウォーキングサッカーを医療と運動療法の一環として行う取組はあまりになわず、それを家庭や小さな集団で行えるような指導に一貫した。
 コロナ終息後は、再び集団での運動療法により層モチベーションを上げていけたらと準備中。
 オンライン診療では家庭内でビーチボールで行う小さなウォーキングサッカーの指導をしたことが今年の思い出の一つである。



野村不動産ライフ&スポーツ株式会社



地域連携による子どものスポーツ企画や従業員向けの健康増進企画

コロナ禍の小学校休校に伴い、学校での水泳授業は続々と中止になったことから、今年度は2020年7月23日～9月21日の期間中、当クラブ18店舗で無料水泳教室を実施。
 このほかにも服を着たまま実施する着衣泳の授業や、幼稚園・保育園向けに「顔付け・水慣れイベント」も実施している。10月から12月にはオンラインLIVEで無料のダンス、体操教室を実施し、約500名が参加した。
 また、同期間中、教職員に対してのサポートもっており、水難事故に対する心構えの一貫として、当社が作成した水難事故防止指導DVDの配布や心肺蘇生法(CPR)研修を実施した。
 さらに、従業員向けには朝のオンライン体操を毎週実施している。



野村ホールディングス株式会社



社会貢献と役職員の健康促進を主な目的に、バーチャルチャリティランイベントをグローバルで開催

グローバルで同時開催のチャリティイベントを実施。コロナ禍において、実際に集まって行うボランティア活動の開催が世界中で難しくなる中、社会貢献活動への寄付と、役職員の健康促進を主な目的に企画。参加者は、期間内の任意の時間と場所でランニング、ウォーキング、サイクリングのいずれかに挑戦し、参加費として、各拠点が定めたチャリティ団体に寄付を行った。
 イベント実施後は、その成果(グローバルでの参加人数、実施総距離、寄付額等)や、参加者から提供された写真をインターネット等で共有し、一体感の醸成やこういった支援活動に世界中の役職員が連携し参加する意義を改めて意識することができた。

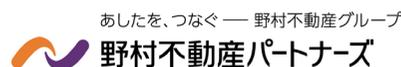


株式会社ネットラーニング



オンラインでのラジオ体操、ストレッチ、筋トレの実施

コロナ禍での在宅勤務中、従業員への運動機会の提供とコミュニケーションの活性化のために、オンラインでラジオ体操やストレッチ、筋トレを実施した。



野村不動産パートナーズ株式会社



パラアスリートの雇用及び従業員の運動機会の提供

2020年4月にパラアスリート1名(水泳)を一般社員枠で採用し、雇用パラアスリート合計2名の競技に関わる費用や競技に集中できる勤務体系による仕事と競技の両立を支援。
 本年度は、コロナ禍で実施出来なかったものの、雇用パラアスリートが出場する大会を社員が観戦・応援、及び雇用アスリートを地域イベントに派遣し子どもへの障害者スポーツを知ってもらう活動等を例年実施。
 また、社員の運動機会提供のため、フィットネスクラブの利用促進、及びスポーツ同好会活動の支援も実施している。



株式会社バイタルエリア



プロを目指していた選手の積極的な新卒採用。サッカー部×ITでの社会人としての成功を目指す

日本サッカー名門会と連携。(アスリートたちのセカンドキャリアを支援するプロジェクト)
 大学4年間スポーツや運動に打ち込んできた学生の新卒採用。プロサッカーを目指し大学4年生まで活動、全国レベルのチームでレギュラー出場し、プロになれなかった選手の積極的な新卒採用。サッカー部×ITでの社会人としての成功を目指す取組を行っている。
 また、清水市がなくなることに伴い開催している、静岡県静岡清水区での年に1回行われる草サッカー大会「清水フレンドリーカップ」に毎年参戦していたがコロナにより実施できなかった。結婚し家族が増えた社員の家族も含めて来年こそ参加!



長谷川体育施設株式会社



所属アスリートの競技活動支援や陸上教室、朝のラジオ体操やスポーツサークル等で社員のスポーツ参加を促進

社員の健康のため、毎朝ラジオ体操を行っている。
 また、スポーツサークル活動を支援し、スポーツに親しむ・参加する機会を設けている。
 そのほか、社会貢献活動として、所属アスリートが自治体主催の陸上教室に講師として参加し、スポーツ交流を図っている。本年度はコロナ禍で無観客が多くほとんど実施できなかったが、例年所属アスリートの出場する陸上大会へ社員が観戦応援に行っている。



株式会社長谷工コミュニティ



野球部の運営支援

長谷工コミュニティ主催の「HASEKO CUP」を毎年開催し、管理組合野球チームとリーグ戦を開催。
 今年はコロナ禍により2021年2月に開催延期、大会に向け各自で練習に取組んでいる。
 また、フットサル部は大会が中止となり活動を自粛しているが、例年大会へ向けて練習や交流試合を実施している。
 そのほか、各部署4人1チームにて一定期間の合計歩数を競うウォーキングイベントを長谷工グループ全体で開催しており、今年度はウォーキングからエクササイズに内容を変更し12月に開催、健康的なからどづくりに取組んでいる。



株式会社パナソニックグループ



社員自ら発案したパナソニック体操を朝礼にて全社員で実施

2020年度の新規取組として、社員自ら発案したパナソニック体操の実施やオンラインを活用したエクササイズやイベントを社員やエキスパートスタッフ向けに実施。(主なもの:「オンライン5min リフレッシュエクササイズ」、「30min エクササイズレッスン」…パナソニック社内の在宅勤務者をはじめとした従業員・エキスパートスタッフ向けに実施した自宅で行える短時間運動プログラム)
 また、本年はコロナ禍で実施出来なかったが、例年は兵庫県淡路島で「LUNDOKAI World Cup」を開催し、地方創生と健康社会の実現を目指す取組にも注力している。



株式会社バリューHR



生活習慣改善イベント「くうねるあるく+ふせぐ」で安全な歩き方をテーマとした動画配信やウォーキングの実施

生活習慣バージョンアップチャレンジ「くうねるあるく」のイベントを開催。
 イベントに参画する健康保険組合の組合員とともに従業員も参加し、団体対抗ウォーキングを年2回実施した。参加者のスマートフォン計測データの歩数を専用アプリ経由でWEB画面に反映。
 また、ランキングに応じたインセンティブを付与するなど、従業員を含めた参加者の運動習慣の定着を支援。
 令和2年度では「新しい生活様式」として「くうねるあるく+ふせぐ」を開催し、動画配信や健康づくりウォーキングを実施。



株式会社バリュー・エージェント



テレワーク中でもZoomを使用して朝礼でのラジオ体操実施。社内での階段利用等、社員の健康維持への取組を推奨

テレワーク中社員を含めて毎日の朝礼時にラジオ体操を実施。(新型コロナウイルスが蔓延する前は各事業場ごとに週一回ストレッチ体操を行っていたが、Zoomを利用して社内全体で行うようになった。)本年度はコロナ禍で実施が不定期になってあまり取組めなかったが、就業後、希望者のみで皇居ラン&ワークを毎週火曜日に実施。
 また、社内での階段利用を推奨。10月には、「階段利用促進キャンペーン月間」とし、従業員全員が体を動かすように推奨した。



株式会社葉山国際カントリー倶楽部



就業前の体操、ゴルフプレー推奨、地域のスポーツイベントへの協賛

キャディは業務前、神奈川労働局「ころはNICEかながわ体操」DVDを見ながら全員で体操を行っている。従業員とその家族等には費用補助をして、プレーの機会を提供し、気軽なゴルフプレーを推奨。HPやYouTubeで自社アプリによるストレッチ動画レッスン動画を無料で公開し、社員にとどまらずゴルフを身近に感じてもらえるよう取組んでいる。
 また、神奈川県アマチュアゴルフ選手権へ協賛。今年は中止になったが、葉山町町民ゴルフ大会、神奈川レディース会、葉山国際プロゴルフ大会など10年以上協賛を継続している。
 ゴルフのみならず、スポーツ振興を目的に全日本420級選手権大会やみなとラビー祭り、MINATOシティハーフマラソンに協賛出展している。



バリューアディッド・ジャパン株式会社



社員の運動習慣定着に向けた取組と健康づくりを提唱

社員全員で行うラジオ体操の実施やバランスボール、ゴルフセットを設置し、社員の運動習慣の定着を推進している。
 在宅勤務中は参加できる人でオンラインでラジオ体操を実施し、工夫しながら運動の継続に取組んだ。
 また、社内のフリースペースにスポーツクラブで使用するものと同レベルのエアロバイクを設置しており、業務の合間の利用及びコロナ禍におけるスポーツクラブ等施設利用の自粛の際に社員の運動不足解消、ストレス解消、気分転換に使用することができた。
 社員間でも社内の安全な場所での運動機会が得られることで運動への関心が高まり新たな運動器具購入の提案が出てくるようになり社員の健康意識が高まった。



PHC株式会社



「オンライン健康プログラム」による心身の健康と社内コミュニケーションの保持増進

オフィスヨガ、AJT、リレーマラソンといった、以前からある集合型の健康イベントは、新型コロナウイルス感染防止の観点からやむなく開催を見送った。多くの社員が在宅勤務を続ける状況を鑑み、健康状態に関する従業員アンケートを実施したところ、運動不足に加えて同僚とのコミュニケーションが少ないなどの悩みを抱えていることが判明した。
 そこで、普段の健康情報の発信とは別に、3回構成の「オンライン健康プログラム」を企画。
 第1回は、座りながらもできるストレッチ講座で、多数の社員が自宅から参加した。第2回はVD作業時の注意点や疲労回復術、第3回では心をリラックスさせる方法を紹介する予定である。



株式会社ピーエスシー



健康維持増進、組織を超えた社員間のコミュニケーションの活性化を目的とし、各種スポーツサークル活動を実施

スポーツサークル活動(9種類のスポーツ)にて毎月1回活動を実施、ITS健康保険組合主催の大会に参加。オンラインヨガの実施・テレワークによる運動不足解消を目的とした運動促進補助手当支給を実施した。
 また、PSC体操の実施(朝礼の際に、肩甲骨などの上半身のストレッチを中心とした独自の体操を約3分間にわたって実施)



BSP社会保険労務士法人



職員全員に万歩計を支給し、歩数や順位に応じた四半期ごとのボーナス支給ができる賞金規定を制定

従業員全員に万歩計を持たせ、「ウォーキングボーナス制度」として、最も歩数の多い者に対し月額3,000円を支給している。
 仕事が座ったままであるため、毎日歩くこと(隣駅下車や階段使用奨励、休日の外出・運動奨励)を推奨した。さらに、モチベーションを保つため、歩数や順位によって、四半期ごとにボーナスが支給されるよう賞金規定に定め制度化。
 従業員も毎日デスクワークのため腰痛に苦しみ、メタボへの懸念もあったため、取組みやすい運動で、皆が今まで以上元気になることができた。顧客企業へも勧めていきたいと思っている。お陰様でホワイトマークの認定も得られた。



ビジネス・ブレイン

株式会社ビジネス・ブレイン



健康維持促進を事務所から支援

社員の健康維持及びリフレッシュなども踏まえて、早朝研修時のラジオ体操の実施。本年はオンライン・リモートで開催。
 2020年はコロナ禍の影響により、中止や自粛を行っているが、例年では、ビジネス・ブレイン運動部の活動はマラソン大会への参加やスキー合宿など、身体を使う機会を支援している。



F O R I T

株式会社フォーイト



コロナ禍における従業員への新たな健康づくりを促進

「ニューノーマル」な働き方としてフルリモート化し、オンラインMTGサービス「Zoom」を活用したリモートラジオ体操を実施。3密を避けることが重視されるが運動不足が慢性化したため、5分ほどのラジオ体操でも社員の健康意識・管理の源にもなっている。



株式会社フォーバル



フォーバルグループ健康経営方針を実現するため、WEBを活用した運動機会を提供

2020年度の新規の取組として、WEBを活用した運動機会の提供や生活習慣改善の施策を推進した。
 フォーバルグループ健康経営方針の中から、本年度の生活習慣改善目標として「1日30分以上の運動を週2回以上実施」、「1日あたり睡眠時間6時間以上の実施」、「喫煙率の低減」の3項目の目標値を設定。約3カ月間、個々人の取組をポイント化して、全員参加型の事業部対抗「フォーバル健康UPマラソン大会」を開催した。
 また、「5分間WEBエクササイズ」として平日14時30分から毎日、専門トレーナーによるストレッチをライブ配信。主にリモートワークに切り替わった社員の運動不足解消や気分転換に活用した。



株式会社ビックカメラ



アスリート(ソフトボール、競歩)の雇用及び普及推進活動ほか、従業員向け健康促進の提案

アスリートの「お家でできるトレーニング動画」をSNSで配信し自宅での運動促進に向けた取組の実施と、ソフトボール及び、陸上競歩選手を雇用支援するとともに、従業員が参加できる応援ツアー、ソフトボール教室を開催した。
 また、市区と運動し小中高生が対象のスポーツ教室を行い、技術力向上・基礎体力構築に向けた取組を積極的に実施した。
 そのほか、従業員向けに軽運動動画の紹介やスポーツクラブ、リラクゼーション施設の優待情報を配信し、運動機会向上の取組を実施している。



株式会社フィナンシャル・エージェンシー



部活動・サークル活動支援、社内プロ選手の活動支援のほか、スポーツ交流会などの取組を実施

誰でもサークルや部活動を立ち上げることができるアスリート制度を2013年に制定し、今年度新たにマラソン部が発足した。2020年の新入社員が代表、構成員も全員新入社員で活動しており、本制度は当社のロイヤリティの一つになっている。
 また、2018年からバスケットボールのプロ契約をしている今泉選手は、2020年から学生向けにバスケットクリニックを主宰し、社外へのスポーツ推進活動に取組んでいる。2019年より終業後にスポーツ交流会を不定期開催しているが、今年も希望の声があり、感染防止として参加人数を限定しての開催に至った。従業員の健康増進に加え、部門や役職を超えたコミュニケーション活性化につながっている。



FUJIKURA COMPOSITES

藤倉コンポジット株式会社



在宅勤務中でもみんなが「つながる」。アプリを活用したウォーキングイベントを開催

コロナ禍における運動不足の解消を図るため、希望者にウェアラブル端末を無料配布。自身の活動量を意識し、こまめな運動習慣を奨励。あわせて、4月より発足した健康経営プロジェクトによる健康情報の発信や運動の意識付けを定期的に行い、10月にはアプリ上での事業所対抗ウォーキングラリーを開催。チーム戦とすることで、モチベーションの強化、コミュニケーションの活性化を図る。
 そのほか、ゴルフ、ノルディックウォーキング、ボウリング、登山、バスケット、フットサルなど様々なスポーツへの取組を奨励し、費用の一部の補助をしている。



株式会社 フジサワ・コーポレーション



スポーツチーム支援と多様なスポーツを通して社内の活性化

コロナ禍でなかなか集まっての運動が出来ない中、業務中に適宜バランスポールを使うことで、各自筋力UPに励んでいる。
 今年は開催できなかったが年に数回フットサルを実施。運動はもちろん、社員同士の交流の場ともなっている。従来から弊社でサポートしているスフィード世田谷が今年、なでしこリーグで優勝し社員一同喜んだ。



富士ネットシステムズ株式会社



スポーツ活動の応援、アスリート及び指導者の積極的な雇用の推進

学校説明会などを積極的に活用し、アスリートの雇用に推進している。
また、採用後もスポーツ活動への取組の積極的な応援を実施。アスリート選手やコーチ、指導者の練習日、試合日や指導日は全従業員やお客様の理解を得る職場環境の構築に取組んでいる。アスリート社員が所属するアメリカンフットボールチームの試合の時、当社の従業員やその家族は試合会場に行き、応援も行っている。



株式会社フュービック



コロナ禍でもオンラインストレッチやヨガ瞑想など健康増進と生産性向上につながる取組を実施

社員の健康維持のために、朝礼時のストレッチやヨガを実施中。生産性を向上させるために、デスクワークでの悩みが多い、腰の痛みや肩のコリを緩和するストレッチや体操、ヨガ瞑想など、リモートワークのメンバーも実施しやすいヘルスワークを取り入れ、今年はコロナ禍のためオンライン化も積極的に進めた。



ブリヂストンスポーツ株式会社



健康的に働けるオフィス環境のサービスから、オンラインを活用した健康サービスのデジタルシフト

グループイントラネットを利用し、健康増進コンテンツ動画のアップを行い、オンデマンドでの利用環境を整えた。
また、WEB会議システムを利用し、Liveでの健康増進サービスを実施。
例年行っているウォーキングラリーイベントも、グループ会社対抗、チーム対抗で競い合い、各個人の参加ながら一体感を醸成させる工夫で実施した。



文化シャッター株式会社



自社実業団チームによるスポーツ教室の開催やアスリートのセカンドキャリア支援

地方公共団体と連携し、アルティメット実業団チーム「文化シャッター Buzz Bullets (バズ・バレット)」によるフライングディスク体験教室&アルティメット大会を実施。
そのほか、特別支援学校でのフライングディスク教室の開催や、一般社団法人ドッチビー協会の活動支援など、次世代育成や障害者スポーツ支援を中心に活動を進めている。(2020年度はコロナ禍により、一部活動が未実施)
また、アスリートのセカンドキャリア支援にも力を入れており、2020年度は1名を採用(従業員として働く元アスリートは、営業部門で優秀セールス賞を受賞するなど、スポーツで培った経験を活かして活躍している。



フリービット株式会社



テレワークにおけるストレッチや運動の推奨促進、スニーカー通勤等の実施

テレワークの割合が高くなったことから、電子掲示板にて散歩やストレッチの効果を紹介するなど、健康に関する掲示を定期的に実施。
また、座った状態で軽い運動ができる「プラクティス会議室」、法人契約をしているスポーツジムの費用補助や、ジムを利用している社員を対象に、ヨガまたは、ピラティスの出張教室が受けられる「連貫公のヘルスケア」、椅子をバランスボールに置き換えた「バランスボールミーティングスペース」、及びスニーカー通勤の推奨など、従業員の健康維持・増進に向け様々な取組を行っている。



ブリヂストン健康保険組合



毎日の歩数を個人やチームで楽しく競いながら記録するウォーキングキャンペーン

個人またはチームで、1日5,000歩を目標に、約2か月間歩数を記録して、参加者全員に参加賞ポイントを付与するほか、目標達成した個人とチームには、抽選でボーナスポイントを付与した。



平和不動産株式会社



健康や運動、食事に関するセミナーをオンラインにて実施

職員の健康増進を図るため、食事や筋トレなど、様々なテーマの中から職員が興味のあるものを選ぶ、選択型のセミナーを実施した。
コロナ禍のためオンラインでのセミナーを実施し、職員が在宅勤務においても参加できる環境を整え、職員の健康意識の向上、運動習慣のきっかけ作りに寄与した。
また、事務所、会議室が複数階に分かれており、各階の移動については健康増進を目的に階段を利用するように社内告知を行っている。



ホグレ株式会社



野球で培った身体動作と知識を活かして社会貢献「ホグレレ硬式野球部」

選手は都市対抗本戦出場を目指し、週3日間、荒川河川敷にある板橋区の戸田橋グラウンドで日々練習に励んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2020年4月緊急事態宣言発令後は社員が多くが在宅勤務となり、練習グラウンドの戸田橋野球場も閉鎖のため、一時、野球部の活動も休止していたが、その間もオンラインを活用したMTGでコミュニケーションを回り自主練に励んだ。
緊急事態宣言解除後9月より週3回の練習を再開。
また、試合も無観客の中実施。現在も日々仕事と野球を両立し、野球で培った身体動作と知識を活かし、社会貢献を目指している。



株式会社 保健同人社



社屋の階段を有効に活用して、運動不足解消を推進、エレベーターを使わないことで感染予防にも!

健康経営の目標を「従業員及びその家族のWell-beingの実現」とし、取組のひとつとして、「3up5down (スリーアップ ファイブダウン)」キャンペーンを実施。社屋の階段を活用し、上りは3階分、下りは5階分、階段を使って体を動かすことを推奨するもので、全社員が一丸となって取り組んだ。

階段利用のモチベーションアップを図るため、事前に社内から寄せられた健康情報や標語、運動に関するおすすめ動画や本などコンテンツ紹介を階段スペースに掲示。このイベントの実施により、社内コミュニケーションの活性化や、エレベーター不使用によるコロナウイルス感染症予防にも大いに役立っている。



株式会社ボディワーククリエイティブ



陸上部の運営とランイベントの運営

2019年度から陸上部の認知、交流を行うためランイベントの運営を始めた。



真韻株式会社



自転車通勤の推奨、建物内移動に際しての階段の積極的な利用等を推進

全社員の健康こそが企業の成長発展に繋がると考え、「自転車通勤」、「移動時の階段利用」、「定期的な体操&ストレッチ」を実施した。特に今年度は、コロナ対策(密を避ける)という意味からも、「自転車通勤」、「移動時の階段利用」を積極的に実施した。来年度からは会社でカヌーを購入し、全社員のさらなる体力増進を目指し荒川にて定期的に社内レクリエーションを実施する予定。



株式会社マッシュホールディングス



障害者アスリートの雇用と支援

グループ内で雇用している障害者アスリートの活動を、社内に向けて定期的に発信。競技会の開催情報や、成績、近況などを共有している。また、アスリートが講演会へ参加しやすい環境を整える等、競技活動と広報活動の両面をサポートしている。社内においては、アスリートが社内イベント等に参加することで、社員のバラスポーツへの関心を高めるとともに、従業員の一体感醸成に寄与している。



株式会社マースグループホールディングス



毎朝ラジオ体操を実施。階段利用・徒歩通勤の推奨。健康奨励金の支給で社員の健康促進を支援

毎朝のラジオ体操を始めて20数年。役員を含め、全国各地の社員が参加している。また、日頃からの運動促進のため、エレベーターの内外等にポスターを貼付し、階段利用を推奨。

コロナ禍では通勤時の混雑を避けるため、徒歩通勤も推奨している。そのほか、社内イベントとして、スマホウォーキングやソフトボール大会を実施。

社員の健康目標と実績を確認し、健康維持者には年2回の健康奨励金を支給。社員の健康促進を支援している。



株式会社マイナビ



アスリートの雇用・支援、スポーツイベントの協賛を通じて夢や目標に向けてチャレンジする人を応援

サーフィン、女子サッカー、フェンシング、近代五種など様々なスポーツのアスリート社員を雇用し、競技に励む環境の提供を実施。そのほか、アスリートやチームへの支援を積極的に実施。また、スポーツイベントや大会、競技団体へのスポンサードを行うことにより、アスリートへの活躍の場を提供し続けている。



株式会社松永製作所



日本車いすバスケットボール連盟の競技用車いすのサポートなど障害者スポーツの普及・発展に寄与

2013年から日本車いすバスケットボール連盟に対して協賛を行い、2014年から男子日本代表、2019年から女子日本代表の国際大会に社員を派遣。

また、車いすバスケットボールの理解やスポーツ観戦の機会提供を目的に、社員主催で観戦バスツアーを実施している。



マニユライフ生命保険株式会社



オンラインでのランニングイベントとアプリを活用した健康増進の取組

コロナ禍においても、プロランナー・大迫傑選手のオンラインでのランニングイベントを開催し、小中学生と一緒に体を動かし、自宅で行えるトレーニング方法を提供した。

また、健康増進と社会貢献を同時に行うことができるアプリ「マニユライフワーク」を活用した継続的な取組を推進し、社員の健康増進はもちろん、広く社会に向けて、健康で豊かな将来と心身の健康促進に積極的に取り組んでいる。



美津濃株式会社



従業員のスポーツ実践奨励及び地域のスポーツ振興活動の実施

社員の健康増進の一環として、社内外のスポーツイベントへの従業員参加奨励や、弊社独自の運動・体操プログラムの社内展開などにより、従業員のスポーツ実践を支援している。

20年度はオンライン参加型企画や、社内イントラヘミズノオリジナルの運動・体操プログラム動画をアップロードすることで、いつでも、どこでも、誰でも、運動・スポーツに取組める新しいスタイルでの施策を展開した。

また、地域のスポーツ振興として、社員によるスポーツボランティアに関する表彰制度を構築、第一線で活躍したアスリートOB / O Gによる実技指導を行う「ミズノピクトリアルニック」の開催等に継続して取り組んでいる。

※写真は19年度以前の取組画像です。



株式会社みずほフィナンシャルグループ



障害者スポーツを含めたスポーツの推進・普及に社員向けオンライン講座など新しい取組を実施

スポーツ大会協賛、スポーツ団体協賛を通じた支援を継続している。社員とその家族を対象とし、例年は、障害者スポーツ競技を含めたスポーツ観戦イベントを実施し会場を盛り上げていたが、今年度は開催を自粛。

障害者アスリート社員による社員向けオンラインランニング講座を開講し、社員の一体感や健康経営に向けた取組を実施している。



三井不動産レジデンシャル株式会社



スポーツ文化の浸透と地域コミュニティ醸成を目指したスポーツ施設の提供・イベントの開催

全ての方を最大限サポートし、ストレスなくスポーツを楽しむことができるようインクルーシブデザインを取入れた新時代のsportsパークを期間限定(2020年10月10日~2021年9月20日)でオープン。スポーツ文化の浸透とスポーツを通じた地域コミュニティ醸成を目指し、誰もがスポーツを楽しめる公園をコンセプトとする無料のスポーツパークをナイキジャパングループ合同会社とともに提供。(小中学生向けイベント等を開催)

今年度は開催を見送ったが、例年、ザ・コーポレートゲームズ東京の企画運営を行っており、スポーツを通じたSDGs・コミュニケーションや健康促進・地域活性化に取り組んでいる。



公益財団法人 三菱養和会



自社スポーツ施設の地域への開放

東京都が行なう「TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業」の目的に賛同し、令和元年10月1日より当会が保有する奥鴨スポーツセンター(豊島区)と調布グラウンド(調布市)の一部施設を地域開放した。

また、令和2年9月までの1年間は、途中コロナ禍による施設利用休止もあったが、奥鴨スポーツセンターで延べ12団体・530人、調布グラウンドでは延べ7団体・74人が利用した。



三井化学株式会社



運動量等によって得られるマイルを貯めるヘルシーマイレージ合戦!

3~6名のチームまたは個人でエントリーし、運動量や健康的な生活によって得られるマイルを、ゲーム感覚で楽しみながら貯め、貯まったマイルに応じて賞品が獲得できる3か月間のプログラム(2回/年)。2020年5月~7月は、対象者の42%に当たる約4,000名が参加した。

コロナ禍での新しい日常でも、自宅で短時間でできる運動やテレワーク中の座位中断を日々の健康目標に追加することで、マイルを獲得しやす化した。期間中はポータルサイトに、自宅で簡単にできる運動を紹介、その運動にマイルを特別付与した。



三井住友海上火災保険株式会社



【信じる未来へ】柔軟かつ新たな挑戦で、いつでもどこでも明るく活力ある社員に!

スポーツは健康で健全な社会づくりに繋がるものであり「挑戦スポーツマンシップ、諦めない姿勢、感動の共有・共感」といったスポーツが持つ意味は、当社の経営理念に通じるものがあることから、アスリートによるラジオ体操動画の作成、全社員の健康マイレージ参加、オンラインでの新しい応援のカチチなど、様々なスポーツ振興活動を展開し、社員の健康増進を進めている。

また、アスリートによるCSV活動も継続的に実施している。これからはポータルサイトに、スポーツ振興活動に取組み、活力ある企業文化を社内外に発信していく。



株式会社ムラウチドットコム スポーツ編集部



スポーツイベントの開催や参加など、全社でスポーツを奨励してブログで共有

トップアスリートのスポンサー支援などといったスポーツ奨励の土壌がある。

2020年度はオンラインでチャリティーマラソンも開催した。

また、朝礼での体操時間の設定やスポーツイベント参加や応援など、定期的に身体を動かす機会も提案している。加えて、その体験を自社運営サービス「にほんブログ村」や「ムラゴン」、「インクリッチ」などのブログサービスで社員が自由に発信できる環境を作っている。



一般財団法人 明治安田健康開発財団



「ナッジ」でピンチをチャンスに。運動も防疫も楽しんで目指す「働く」と気づけば健康になる職場!

新しい生活様式よりできた「習慣」、「設備」を利用する「防疫しながら活動量アップ!」コロナナッジプロジェクト等、複数のプロジェクトを実施。「コロナナッジ」はコロナとナッジから成るオリジナル造語。キャラクターも作成。掲載写真のように、「足跡があったら乗る習慣」を利用した、手指消毒と歩数アップを促す仕掛けのほか、コロナ禍を機にスタンディングデスクに設置した机上パーテーションを利用し、顔はパネル用のモチーフ等を、立つと面白い位置に設置し、座りすぎ防止対策を講じる等、コストをかけず楽しく実施。

日常生活に潜む、立ち上がる・歩く・筋肉を使うチャンスを最大限活用し、笑顔になれる取組を実践・アップデート中。



公益財団法人 明治安田厚生事業団



**密を避け、誰でも参加できるイベント開催、
リフティング大会と自律神経バランス測定、体操**

職場の部署を超えたつながりを求めて、「リフティング大会」を実施。密にならないよう各自練習が基本。月1回練習会を実施し、成果を可視化できる記録票に記入した。
本番では、ワンバウンドOK、プラスサイコロ振りによって偶然性をもたせ、誰でも一番になれるゲーム性を加味。スマホ参加の部署もあり、ストレスフルな職場環境改善のため、「自律神経バランス測定」を実施。
今回は新しく「自律神経に働きかける体操」をメニューに加え、効果を「心の表情」アンケートでセルフチェックした。



明和地所株式会社



**社内に従業員専用のトレーニングジムを完備
フロア移動は階段利用を促進**

グループ会社も含めた従業員の健康維持と活力増進を目的に、就業前・昼休み・就業後に自社内に設置したトレーニングジムを開放し、気軽にスポーツに取り組める環境を整えている。
また、運動前に脈拍計測を行うなど、健康状態の管理と、健康への意識を高める利用を促している。
本年度は、感染症予防対策として、社内のエレベーターの利用は定員を4人までとしており、エレベーターホールや階段入口に階段利用による消費カロリーを表示したポスターを掲出し、運動不足の解消や健康づくりのための運動を普及啓発している。



株式会社モリサワ 東京本社



パラアスリートによるオンライン講演・ホームストレッチ講座など、コロナ禍におけるスポーツと健康増進との関わり合いへの取組を実施

コロナ禍により従来のスポーツ観戦企画は行えなかったが、パラアスリートやパラリンピアンの方によるオンライン講演会を3回実施。パラアスリートによるホームストレッチ講座やマスク寄贈をきっかけとしたメッセージ交換など、オンラインでの企画にシフトした。
また、小学校でのパラスポーツ大会を支援するなど、地域との交流も可能な限り展開した。



矢崎総業株式会社



**スポーツを通じて、従業員同士の
コミュニケーションアップと健康意識アップ**

従業員とその家族を対象にした社内運動会「オール矢崎体育大会」の年1回開催（本年はコロナ禍で中止）や、各事業所で実施するボウリング大会やウォーキング等の「体づくりイベント」を通じ、従業員同士のコミュニケーション促進や心身のリフレッシュに役立てている。
また、勤務時間外の自主的なクラブ（野球部・サッカー部・陸上部・バレーボール部・卓球部等）に会社から費用を補助し、活動を支援している。



株式会社メディヴァ



**情報発信と運動機会を絶やさず、
あらゆる状況においてアクセスしやすい
環境整備とコンテンツの提供**

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、社内でリモートワークが本格導入され定着した。
そこで、社員の自主運営により「こんなときだからこそ運動を！」をキャッチフレーズに社内HPを開設。
運動不足解消や適切な屋外活動を推進するため、緊急ウォークラリーの実施やジョギング中のマスク着用の検証、社員交流の投稿サイトなど、情報発信を中心に展開している。
また、オンラインシステムを活用した朝ヨガを定期的な実施し、手軽な運動のあり方としてその機会を提供している。
そのほか、協力企業との連携によるWEBジム利用の整備など、コロナ禍での運動機会を通じて、社員同士、そして会社組織との繋がりを意識した環境を整備している。



株式会社メディカルネット



**モットーは文武両道。
部活動を奨励し、仕事もスポーツも
真剣に楽しむ環境を整備**

感染対策のため民間のスポーツジムが利用できず、運動機会が失われたという社員の声を受けて会議室をストレッチルームに変更。
ストレッチマット、バランスボール、腹筋ローラーなどを従業員が自由に利用することができる。
また、本年はコロナ禍で実施が困難だったが、例年はグループ全体から希望者を募り、皇居ランを月一回実施している。



株式会社YAZ



**自宅で行うトレーニング動画の配信や
運動部活動に対する活動支援、歩数制度の導入**

自宅で実施しているトレーニングの動画を社員から募集し、全社員に配信することで、運動や健康維持を意識するきっかけづくりを行った。
また、運動部活動に対して活動支援費用を支給している。参加者は社員だけでなく、家族や知人、取引先など幅広く募集し、お互いに励ましあったり、競い合ったりしながら運動を楽しんでもらえるようにしている。
さらに、1ヶ月間で最も歩いた日の歩数を毎月申告し、年の累計歩数を競う歩数ポイント制度を導入して、社員が歩く機会づくりを行っている。



ヤスマ株式会社



**毎朝始業前にラジオ体操の実施、
月に1度外部の講師を招いてヨガ教室を開催**

2020年度の新規取組としてヨガ教室を実施。感染者の動向を見て開催の有無の判断をし、実施する際はソーシャルディスタンスを保ち、マスクの着用と、窓の開放を行った。
ラジオ体操は感染者の動向を見て3月から社内で同時に行うことは中止した。
以前より継続的に行っている取組としては、全ての事業所の社員が参加するフットサル大会、事業所単位で実施するボウリング大会、ヨガ教室を実施。
また、本年度はコロナ禍で実施が出来なかったものの、例年積極的に行っている取組としてフットサル大会、ボウリング大会、ポッチャ大会がある。



ヤフー株式会社



障害者アスリート雇用の支援/全社員対象のオンライン体操・健康イベントの実施

パラアスリートを雇用し、スポーツ選手としての活動と業務において努力し、夢に挑戦することを応援している。
また、Web会議システム「Zoom」やチャットサービス「Slack」を活用し、自宅やオフィスなどからどこでも健康イベントへ参加できる環境を構築。10月に実施した1年に1度の健康を振り返る月間「UPDATE コンディション月間」では、オンラインイベントをメインとし、従業員に対してセルフコンディションの大切さをCEO含む経営層が発信した。
さらに、歩数向上を目指した「歩数UPキャンペーン」、「ウォークラリー」を実施。1日の目標歩数を前年の8,000歩からコロナ禍での歩数減少を踏まえ、メンタルヘルス予防に期待される4,000歩に変更して実施した。



山本光学株式会社



ラジオ体操を全社員で実施、ウォーキング階段使用を推奨、各種スポーツ選手と各スポーツ業界へのサポートを実施

当社アドバイザースタッフである、芹沢信雄プロ、石川遼プロを通じて日本ゴルフ協会、日本プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構の国内3団体へ新型コロナウイルス感染症対策品の「フェースシールドグラス」を寄贈。さらに当社アドバイザースタッフである、埼玉西武ライオンズ 源田壮亮選手を通じて同球団に対して「フェースシールドグラス」を寄贈した。
また、アスリート社員(水泳1500m、オープンウォーター、森山産美)を雇用し、延期となった東京オリンピック出場を目指し、全社で応援している。
そのほか、全社員参加で始業前のラジオ体操を実施、オンラインで全事業所社員参加のウォーキングラリーを実施し、上位チーム、個人を表彰した。



株式会社 横引シャッター

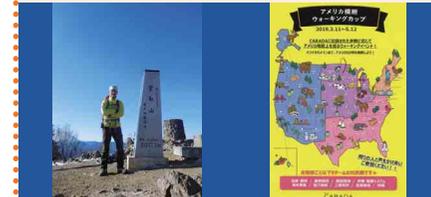


近隣社員への徒歩・自転車通勤の推進

元々自転車通勤の社員が数名居たが、新型コロナウイルス感染症対策として、近隣社員への徒歩・自転車通勤を促し運動の機会を増やしている。
また、コロナ禍で3月以降は実施出来なかったが、1月、2月、3月と講師の方にご来社いただき、社内で無料の希望参加者によるヨガ教室を開催。(例年は毎月1回の実施)



株式会社ヨネイ



社員のスポーツ活動の費用を会社が一部補助

スポーツや運動の機会を増やすため、1日8,000歩を目標とした社内ウォーキングラリー、スポーツ活動の費用を会社が一部補助する奨励金の支給、スポーツ観戦(Jリーグ) 機会の提供を行った。



株式会社ユカ



本社で希望者に提携先のスポーツジムチケットの配布/例年は各支店対抗の野球大会/フットサル大会

本社で希望者に提携先のスポーツジムチケットの配布を実施。ジムでマシンやプールを使いトレーニングをしている。
また、今年はコロナ禍で中止となってしまったが、例年は各支店が参加する野球大会やフットサル大会を実施している。
大会を通じて、社員の健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションの円滑化を図っている。



横河電機株式会社



健康支援プログラム「健康開発」の実施や、隙間時間を使った「オフィスポ」を展開

社員が3年に一回、就業時間内に取組む70分の健康支援プログラム「健康開発」は、実施前1週間分の歩数データと当日の体組成、血管年齢、骨密度、体力測定及び、過去の健診記録をもとに産業医のアドバイスを受けるというプログラム。平成27年より実施しており、現在2回目となっている。
また、「オフィスポ」と名づけた、業務の隙間時間を使って「体を動かす」、「ストレッチをする」活動を推進。イントラネットに各種エクササイズやラジオ体操等を掲載し、オフィス及びテレワークの隙間時間での運動を促している。



ヨネックス株式会社



スポーツを通じ、社内での健康増進やイベントへの参加、社外での様々なサポートを実施

スポーツを愛する全ての人に寄り添う存在として、アスリートを雇用し、競技と業務共にサポートを実施。
また、社員の健康増進のため、感染予防対策を実施の上で、ラジオ体操やバドミントンの練習等を行い、スポーツイベントを通じ、社外の幅広い年代の方へスポーツの楽しさを広げる活動も行った。



ライトウェイプロダクツジャパン株式会社



スポーツ自転車を用いた自転車通勤を推奨/安全講習会の開催や、自転車消費手当を支給

密を避け、健康増進のため毎日の通勤に公共交通機関に代わり、自転車通勤を推奨している。
また、自転車通勤へ取組みたくなる自転車通勤規定を作成。自転車安全利用管理者を定め、自転車の安全利用に関する講習を実施。自転車通勤をする従業員には特別通勤手当・自転車保険への加入補助手当・消耗品の購入補助手当を支給。警視庁と協力し、より自転車を安全に利用できる自転車通勤規定は無料で公開し、他社での導入も推奨している。
そのほか、感染拡大防止のため見送ったが、社内サイクリング大会などの取組も計画。



株式会社ライフィ



テレワーク中もオンラインでラジオ体操やストレッチタイムを継続実施。歩数競争による運動不足解消も

週2回のオンライン朝礼にて、Zoomの画面共有機能を使い全員でラジオ体操を実施。今年の連休には外出自粛による運動不足解消のため、ラジオ体操カードでの記録も行った。
また、毎日15時にはストレッチタイムとして、テレワーク中の社員も一緒に社内チャットシステムを用いて声を掛け合い全員でストレッチを実施。時には健康推進担当者がストレッチの動画を画面共有機能で社員に共有しながらのストレッチも行っている。
そのほか、会社から社員全員に貸与しているウェアラブルデバイスを用いて、社員同士・チーム対抗で歩数競争を昨年より実施。優勝チームには健康に留意した賞品を授与して運動と健康への関心を高めている。



ライフネット生命保険株式会社



雇用する障害者アスリート考案の体操実施や部活動促進により、社員の健康を増進

社員の心身の健康増進のため、雇用するデフリンピック出場経験のあるアスリート考案の体操動画を配信し、肩こりや腰痛などの改善・予防につながる自席でできる体操を紹介している。
また、テレワークになったことにより、リモートで体操を社内SNSから継続配信している。



Link to Good Living

株式会社LIXIL



在宅勤務が中心となる中、オンラインによる運動機会の提供及び情報発信を実施

コロナ禍で外出が難しい状況であっても健康を維持するため、社内保健師が、運動を含めた健康情報を社内イントラネットにて発信している。
また、社内研修の機会を活用し勤務中にできるストレッチを紹介したり労働組合によるオンラインセミナーを実施しているほか、健康保険組合主体で「健康づくりキャンペーン」を年2回実施している。密を避け手軽に取組めるコース等、23の多彩なコースを用意し各個人ごとに目標を設定して取組むことで、健康づくりを奨励している。
出社時はいつでも身体を動かすことができるよう、執務スペースに体幹を鍛えることができるボールチェアやぶら下がついて背筋を伸ばすことができる打合せスペースを設置。



リクルートオフィスサポート

株式会社リクルートオフィスサポート



従業員のアスリート活動を、時間と金銭面で支援

東京2020パラリンピック競技大会出場を目指しアスリート活動に取り組む従業員に対して「アスリート支援制度」を設けている。出場可能性や戦績など一定の条件を満たせば、練習時間確保のための勤務時間調整や業務調整、大会参加費や遠征費の支給などを行う。
また、近隣で試合があるときは、広報のかけ声のもと従業員で応援団を組み観戦している。



ラディックス株式会社



スポーツで「健康で活力のある会社」を従業員で作っていく!!

コロナ禍でいくつかの大会が中止になったが、練習や大会参加前に検温とアルコール消毒を必須とし、行動していた。従業員が主体的・積極的に社内サークルの企画運営に取り組むような環境であり、営業所や役職という垣根を超えた交流を持つことができている。
また、新入社員が入社前に見学に訪れ、社内の雰囲気を知る良いきっかけにもなっている。
健康優良企業としてさらなる健康づくりのために従業員が運動をする場をより多くしていくことと引き続き考えていく。



リーフラス株式会社



障害者アスリートの雇用、新たな生活様式にあわせた運動機会の提供

運動の機会が少ない本社の社員は、健康増進のため、毎朝、会社周辺の清掃を兼ねてウォーキングを実施している。毎朝行うことで運動習慣を身につけることができ、社員同士のコミュニケーションの場にもなっている。
そのほか、新型コロナウイルスの流行を受けて学校の休校やテレワークによって在宅時間が長くなり、大人も子どもも運動不足になってしまふことを懸念し、近くの広場やご家庭内でもできる運動や競技スポーツの練習メニューを動画で紹介する「いえスポ!」を開発。



株式会社リバース東京



市民ランナー向けに陸上競技場にてランニングイベントを開催

月に1~2回、陸上競技場にてランニングアドバイザーを招き、市民ランナー向けにランニングイベントを開催した。初心者から上級者まで幅広いペース設定でグループが分かれており、各グループにはペーサーが付き、スピード感覚を養う等、ランナーをサポートした。



株式会社リブワークス



休憩時間にスポーツ、社員同士のスポーツを通じたコミュニケーション

スポーツを通じて社員の健康を促進したいという思いから、社内スポーツ活動支援制度を設けてフットサルクラブ、ゴルフクラブが現在活動中。従業員、役員問わず積極的に参加し職位や年功、支店に関係なくクラブ活動を通じて心と体のコミュニケーション促進ができ、より良い企業風土づくりができている。
2020年度はコロナ禍を鑑み、少人数で休憩時間に練習を実施していく。



株式会社ルネサンス



自社スポーツ施設を利用した運動実践と健康アドバイスの活用やオンラインによる健康づくりの推進

従業員は自社のスポーツクラブを無料で利用でき、日常的に運動が可能な環境となっている。コロナ禍では安全安心に施設が利用できるような感染防止対策を徹底するほか、YouTubeで健康情報やトレーニングの動画配信、オンラインでのレッスンを実施し、在宅でも運動が楽しめる環境を整備。

また、法人・スポーツクラブの会員に導入している健康アプリを従業員向けにも活用し、食事や運動、睡眠記録の入力により、日々の健康管理に役立てるほか、部署間で健康スコアを競うイベントも定期的に開催している。

そのほか、水泳やマラソンなどの各種スポーツイベントへの参加促進、社内各部活動の支援など、多様な取組を継続的に推進した。



株式会社ローソン



スポーツ大会と元気チャレンジを毎年実施し健康増進と運動を推奨

2020年度は、コロナ禍のため、過去10年間毎年行っているリアルでのスポーツ大会（運動会やソフトボール大会など）を、健康アプリ（食事・運動・睡眠管理）を利用した健康増進策である「元気チャレンジ」と運動した「リモートスポーツ大会」とした。7つの新幹線コースを設定し、各新幹線の距離をチーム平均歩数で完走することを目標に、各チームで1コースを選び、インセンティブを付与する8週間の取組で、社員の約70%となる3,600名が参加し、そのうちの70%となる2,500名が継続稼働した。インセンティブも、過去8回実施の「元気チャレンジ！」の中で過去最高の実績となった。



株式会社Wiz



スポーツチームのスポンサーや会社設立を通じ、スポーツ界を盛り上げた

スポーツクラブのスポンサーや、スポーツ業界との合併会社設立など、スポーツに特化した取組を積極的に取入れた。



湧永製薬株式会社



ワクナガレオリックハンドボールチームを中心に、社外のスポーツにも関心を

選手は「一流のスポーツマンは一流の企業人であれ、社会人であれ」をモットーに、日々トレーニングに励んだ。

また、社員にスポーツ活動を推奨するため、以前より継続している湧永満之記念体育館及びトレーニングルームの社員への開放に加え、OFFICIAL PARTNERを務めるアイスホッケーのクラブチーム「HC栃木 日光アイスバックス」のポスターをオフィスに掲載し、自社スポーツ団体以外の競技にも興味を持っていただく取組を開始した。

東京都スポーツ推進企業 認定マーク



頁	企業名	頁	企業名	頁	企業名
028	株式会社 IHI エスキューブ	041	株式会社エフビコ	054	株式会社サニーサイドアップグループ
006	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	041	MS&AD インターリスク総研株式会社	054	株式会社サンアメニティ
028	アキレス株式会社	041	株式会社エムステージ	054	医療法人社団 三医会
008	アクサ生命保険株式会社	041	株式会社エムティーアイ	055	サンウィン株式会社
028	株式会社浅野製版所	042	株式会社MPandC	055	サンシン電気株式会社
028	アサヒ飲料株式会社	042	青梅信用金庫	055	株式会社GA technologies
029	株式会社朝日新聞社	042	株式会社オーエルシージャパン	020	株式会社CAC Holdings
029	朝日信用金庫	042	株式会社オーエンス	055	JK ホールディングス株式会社
029	朝日生命保険相互会社	010	大塚製薬株式会社	056	株式会社JTB
029	株式会社アスポ	043	株式会社オートバックスセブン	056	株式会社JP ホールディングス 東京本部
030	株式会社アセットリード	043	オリパステルポイオマテリアル株式会社	056	ジェレックス・コーポレーション株式会社
030	アデコ株式会社	043	オントフ株式会社	056	株式会社じげん
030	アドバンスソフト株式会社	043	株式会社カープスジャパン	057	株式会社ジップス
030	株式会社アドバンテッジリスクマネジメント	044	金井大道具株式会社	057	清水建設株式会社
031	アビームコンサルティング株式会社	044	管清工業株式会社	057	株式会社シモン
031	アフラック生命保険株式会社	044	株式会社キャプティ	057	株式会社JALサンライト
031	アポメディカルホールディングス株式会社	044	株式会社キャリアコンサルティング	058	株式会社JALスカイ
031	株式会社アマックグループ	045	株式会社協栄	058	株式会社JALUX
032	株式会社アメディア	045	株式会社ぎょうせい	058	株式会社JALナビア
032	株式会社ALIGHT	045	共同カイトック株式会社	058	株式会社ジャルパック
032	アルケア株式会社	045	株式会社 協和	059	出版健康保険組合
032	アルフレッサ株式会社	046	株式会社きらぼし銀行	059	城北信用金庫
033	株式会社アロー	046	錦城護謨株式会社 東京支社	059	株式会社シンカーミクスセル
033	株式会社ANSIN-LINK	046	クワリード株式会社	059	株式会社シンク
033	株式会社イーウェル	046	株式会社 久慈設計東京支社	060	株式会社THINK フィットネス
033	イーオクト株式会社	047	株式会社グッピーズ	060	信号器材株式会社 東京支店
034	イオンシグナススポーツユナイテッド株式会社	047	株式会社クボタ 東京本社	060	株式会社スヴェンソンホールディングス
034	いちご株式会社	047	株式会社Criacao	060	SK8INSOLL 株式会社
034	いちよしビジネスサービス株式会社	047	株式会社グリーンハウス	061	株式会社スタイル・エッジ
034	出光ユニテック株式会社	048	株式会社グリーンハウスフーズ	061	株式会社STEAM Sports Laboratory
035	伊藤忠エネクス株式会社	048	ケイアイスター不動産株式会社	061	株式会社スパイス
035	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	048	京王観光株式会社	061	株式会社スポーツインダストリー
035	伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	048	計機健康保険組合	062	スポーツコミュニティ株式会社 東京支社
035	株式会社イトー	049	株式会社KSK	062	株式会社スポーツビズ
036	株式会社イトーキ	049	KNT-CT ホールディングス株式会社	062	株式会社スポーツフィールド
036	INSIGHT LAB 株式会社	049	医療法人財団 健真会 総合東京病院	062	株式会社スマートスポーツエンターテイメント
036	株式会社インテック	049	医療法人社団 清泉会 山王ハビリ・クリニック	063	住友生命保険相互会社
036	株式会社ヴィクトリア	050	高栄警備保障株式会社	063	住友不動産エスフォルタ株式会社
037	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社	050	公益財団法人 江東区健康スポーツ公社	063	医療法人社団 せいおう会
037	株式会社ウェルネスファームひょうたん島	050	広友サービス株式会社	063	セコム医療システム株式会社
037	一般社団法人A-wear 協会	050	広友物産株式会社	064	株式会社ゼットン
037	ANA テレマート株式会社	051	株式会社光和	064	株式会社セノン
038	AGC 株式会社	051	株式会社co-step	064	株式会社セブン銀行
038	エムサービス株式会社	051	株式会社ゴールドウイン	064	株式会社セレスポ
038	エムサービスジャパン株式会社	051	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	065	セロトレ株式会社
038	株式会社エコ・プラン	052	国際ソフトウェア株式会社	065	セントラルスポーツ株式会社
039	SMBC 日興証券株式会社	052	コナミスポーツ株式会社	065	セントラル警備保障株式会社
039	SMBC ファイナンスサービス株式会社	052	コニカミノルタ株式会社	065	全日本空輸株式会社
039	株式会社エスワリ	052	株式会社コロブラ	066	総合警備保障株式会社
039	SG ホールディングス株式会社	053	CSスポーツ備コンディショニングサポートウイズ	022	損害保険ジャパン株式会社
040	株式会社NSD	053	株式会社KOMPEITO	066	SOMPO ひまわり生命保険株式会社
040	NOK株式会社	053	サーチファーム・ジャパン株式会社	066	ダイヤモンドヘッド株式会社
040	株式会社NTT 東日本一南関東 東京事業部	053	サイショウ・エクスプレス株式会社	066	第一生命保険株式会社
040	NTT クラリティ株式会社	054	サトーホールディングス株式会社	067	株式会社第一テクノ

頁	企業名	頁	企業名	頁	企業名
067	大樹生命保険株式会社	080	トッパン・フォームズ株式会社	093	文化シヤッター株式会社
067	大成温調株式会社	080	トヨタ西東京カローラ株式会社	093	平和不動産株式会社
067	株式会社ダイテックス	080	株式会社トラック	093	ホクレイ株式会社
068	大東建設不動産株式会社	080	株式会社トンボ	094	株式会社 保健同人社
068	大東建託パートナーズ株式会社	081	ナガセケンコー株式会社	094	株式会社ボディワーククリエイティブ
068	大日本印刷株式会社	081	株式会社ナレッジソリューションテクノロジー	094	株式会社マースグループホールディングス
068	太陽生命保険株式会社	081	西松建設株式会社	094	株式会社マイナビ
069	株式会社タクト・マシン・サービス	081	株式会社ニチレイ	095	真韻株式会社
024	株式会社立飛ホールディングス	082	日建総業株式会社	095	株式会社マッシュホールディングス
069	タツミ産業株式会社	082	日産化学株式会社	095	株式会社松永製作所
069	TANAKA ホールディングス株式会社	082	日清食品ホールディングス株式会社	095	マニユライフ生命保険株式会社
012	株式会社タニタヘルスリンク	082	日都産業株式会社	016	株式会社丸井グループ
069	株式会社丹青社	083	商工組合 日本医療機器協会	096	美津濃株式会社
070	中外製薬株式会社	083	日本化薬株式会社	096	株式会社みずほフィナンシャルグループ
070	通信機器産業健康保険組合	083	日本航空株式会社	096	三井化学株式会社
070	都築電気株式会社 赤羽営業所	083	日本交通株式会社 赤羽営業所	096	三井住友海上火災保険株式会社
070	株式会社つなひるワールド	084	日本国土開発株式会社	097	三井不動産レジデンシャル株式会社
071	DIC 株式会社	084	一般財団法人 日本サイクルスポーツ振興会	097	公益財団法人 三菱養和会
071	T&D フィナンシャル生命保険株式会社	084	日本シグマックス株式会社	097	株式会社ムラウチドットコム スポーツ編集部
071	株式会社ティエーガイア	084	日本写真判定株式会社	097	一般財団法人 明治安田健康開発財団
071	ティーベック株式会社	026	出版健康保険組合	098	公益財団法人 明治安田厚生事業団
072	株式会社DYM	085	日本通運株式会社	018	明治安田生命保険相互会社
072	帝人株式会社	085	日本電気株式会社(NECグループ)	098	明和地所株式会社
072	デサントジャパン株式会社	085	日本郵政株式会社	098	株式会社メディアヴァ
072	株式会社デュアルタップ	085	日本郵船株式会社	098	株式会社メディカルネット
073	テルモ株式会社	086	株式会社ニュー・オータニ	099	株式会社モリサワ 東京本社
073	株式会社TENTIAL	086	ねづクリニック	099	矢崎総業株式会社
073	株式会社 電通	086	株式会社ネットラーニング	099	株式会社YAZ
073	TOiRO 株式会社	086	野村不動産パートナーズ株式会社	099	ヤスマ株式会社
074	東亜ディー・ケー・ケー株式会社	087	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	100	ヤフー株式会社
074	東亜道路工業株式会社	087	野村ホールディングス株式会社	100	山本光学株式会社
074	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	087	株式会社バイタルエリア	100	株式会社ユカ
014	東急株式会社	087	長谷川川体育施設株式会社	100	横河電機株式会社
074	東急スポーツシステム株式会社	088	株式会社長谷工コミュニティ	101	株式会社横引シャッター
075	東急電鉄株式会社	088	株式会社パソナグループ	101	株式会社ヨネイ
075	株式会社東京アスレティッククラブ	088	株式会社葉山国際カンツリー倶楽部	101	ヨネックス株式会社
075	東京海上日動火災保険株式会社	088	バリューアディッド・ジャパン株式会社	101	ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
075	東京海上日動システムズ株式会社	089	株式会社バリューHR	102	株式会社ライフィ
076	東京海上日動リスクコンサルティング株式会社	089	株式会社バリュー・エージェンツ	102	ライフネット生命保険株式会社
076	東京ガス株式会社	089	PHC株式会社	102	ラディックス株式会社
076	東京システムハウス株式会社	089	株式会社ピーエスシー	102	リーフラス株式会社
076	東京商工会議所	090	BSP 社会保険労務士法人	103	株式会社LIXIL
077	株式会社東鉄株式会社	090	株式会社リクルートオフィスサポート	103	株式会社リバーズ東京
077	株式会社東都ドームスポーツ	090	株式会社ピックカメラ	103	株式会社リブワークス
077	東京都立大学法人	090	株式会社フィナンシャル・エージェンシー	103	株式会社ルネサンス
077	東京都職員共済組合	091	株式会社フォーイット	104	株式会社ローソフ
078	東京都鉄二健康保険組合	091	株式会社フォーバル	104	株式会社WIZ
078	公益財団法人 東京都予防医学協会	091	藤倉コンポジット株式会社	104	株式会社WIZ
078	東京西サトー製品販売株式会社	091	株式会社 フジサワ・コーポレーション	104	湧永製薬株式会社
078	東京東信用金庫	092	富士ネットシステムズ株式会社		以上319社
078	東武鉄道株式会社	092	株式会社フュービック		
079	株式会社トーションパートナーズ	092	フリービット株式会社		
079	株式会社ドクタートラスト	092	プリヂェストン健康保険組合		
079	凸版印刷株式会社	093	プリヂェストンスポーツ株式会社		

令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会

令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会委員名簿

	氏名	役職
1	きむら かずひこ 木村 和彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
2	はつせ ゆうすけ 初瀬 勇輔	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事
3	まるやま ただし 丸山 正	公益財団法人日本レクリエーション協会副理事長
4	ふじた よしぞう 藤田 善三	東京商工会議所ビジネス交流部長
5	うえやま あきこ 上山 亜紀子	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部障害者スポーツ課長
6	ながみね みちこ 長嶺 路子	東京都福祉保健局保健政策部健康推進課長

委員からの主なコメント

- 毎日の体操や社内イントラへの従業員投稿型連載記事など、在宅勤務時の活動支援がなされている。
- 学生・アスリート・障害者スポーツへの取組など、多種多様で総合的に優れている。
- 社員向けのオンライン健康セミナーの開催は、コロナ禍における対応として意義が大きい。
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、「健康診断」や「ウォーキング」を組織業績評価にしていることが良い。
- コロナ禍において、Web会議システムを用いた体操の取組など、社員のコミュニケーション不足への配慮が行われている。
- 地域密着型でボールゲームフェスタを各地で開催し、コロナ禍における動画配信やスポーツイベントへの応援発信することは、社会貢献度が高い。

令和2年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

令和3年3月発行

- 発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話：03(5320)7847
ホームページ <https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/>
- 編集 株式会社ヒト・コミュニケーションズ
(令和2年度東京都スポーツ推進企業認定制度事務局)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-9-6
電話：03(5957)3572
ホームページ <https://hitocom.co.jp/>
- 印刷 正和商事株式会社
〒161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号
電話：03(3952)2154 FAX：03(3952)2158